Panasonic®

取扱説明書　操作・設定編

ネットワークカメラ

品番　DG-SW155/DG-SW155M
DG-SF135/DG-SF132

DG-SW155

DG-SF135

はじめに

取扱説明書について

本機の取扱説明書は本書と基本編の2部構成になっています。
本書は、ネットワークを経由してパーソナルコンピューター（以下、PC）から本機を操作する方法と、PCから本機を設定する方法について説明しています。
本書で使用しているカメラの画面は、DG-SW155を代表として記載しています。
本機の設置のしかたやネットワーク機器との接続方法については、取扱説明書 基本編をお読みください。

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。
本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。
SW155：DG-SW155／DG-SW155Mで使用できる機能です。
SF135：DG-SF135で使用できる機能です。
SF132：DG-SF132で使用できる機能です。

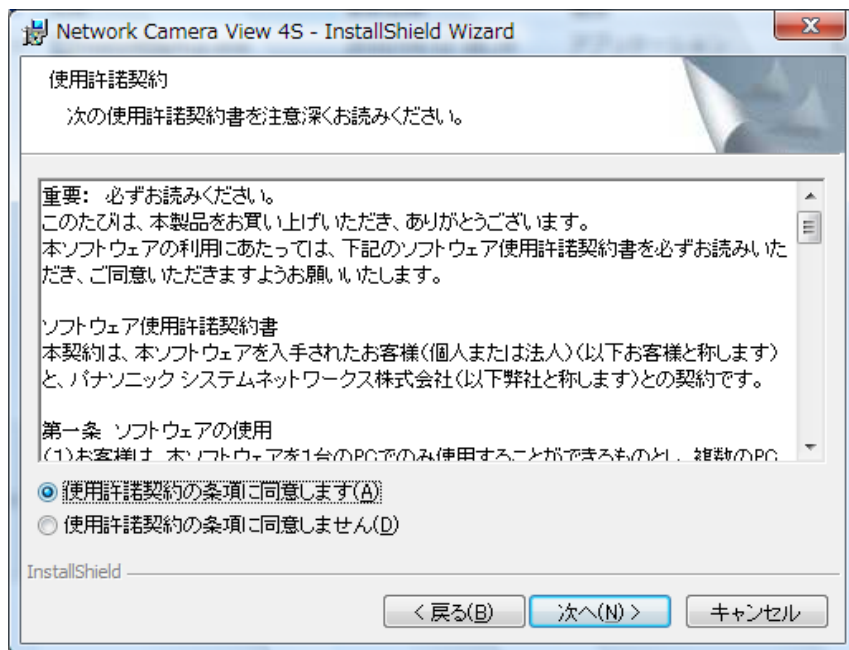
商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Internet Explorer、ActiveX及びDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。
Microsoft® Windows® 7日本語版をWindows 7と表記しています。
Microsoft® Windows Vista® 日本語版をWindows Vista と表記しています。
Microsoft® Windows® XP SP3日本語版をWindows XPと表記しています。
Windows® Internet Explorer® 9.0日本語版、Windows® Internet Explorer® 8.0日本語版、Windows® Internet Explorer® 7.0日本語版、Microsoft® Internet Explorer® 6.0日本語版をInternet Explorerと表記しています。
SDHC／SDメモリーカードをSDカードまたはSDメモリーカードと表記しています。
Universal Plug and PlayをUPnP™またはUPnPと表記しています。

表示用プラグインソフトウェアについて

本機で画像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」をインストールする必要があります。表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールするか、付属のCD-ROMのメニューで「表示用プラグインソフトウェア」の［インストール］ボタンをクリックして、画面の指示に従ってインストールしてください。

重要

- お買い上げ時は、「プラグインソフトウェアの自動インストール」を「許可する」に設定されています。ブラウザーの情報バーにメッセージが表示される場合は、158 ページをお読みください。
- 最初にPCからライブ画ページを表示すると、カメラ画像の表示に必要なActiveXのインストール画面が表示されます。画面に従ってインストールしてください。
- ActiveXのインストールが完了しても、画面を切り換えるたびにインストール画面が表示される場合は、PCを再起動してください。
- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、「メンテナンス」ページの［バージョンアップ］タブで確認できます（→140 ページ）。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

もくじ

1 操作

1.1 PCから画像を見る

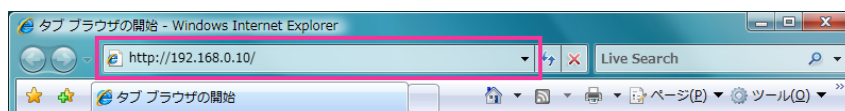
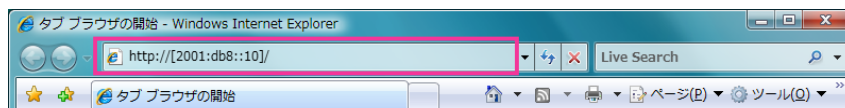
ここでは、PCからカメラの画像を見る方法を説明します。

1.1.1 1台のカメラの画像を見る

1 PCのウェブブラウザーを起動します。

2 IP簡単設定ソフトウェアで設定したIPアドレスを、ウェブブラウザーの［アドレス］ボックスに入力します。

IPv4アドレスの入力例：
http://IPv4アドレスで登録したURL
http://192.168.0.10/

IPv6アドレスの入力例：
http://[IPv6アドレスで登録したURL]
http://[2001:db8::10]/

〈IPv4アクセス例〉

〈IPv6アクセス例〉

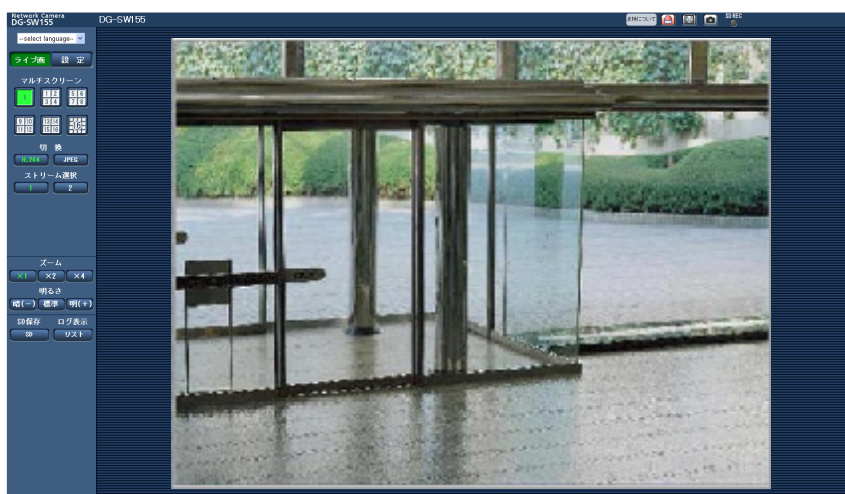
重要

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://カメラのIPアドレス:ポート番号」を［アドレス］ボックスに入力してください。
例：ポート番号が8080に設定されている場合：**http://192.168.0.11:8080**
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、ウェブブラウザー（メニューバーの［ツール］－［インターネットオプション］）からプロキシサーバーの設定を行ってください。

お知らせ

- ネットワークページ（→103 ページ）の［ネットワーク］タブの［HTTPS］－［接続方法］で［HTTPS］を設定している場合については、「HTTPSでカメラにアクセスする」（→118 ページ）を参照してください。

3 ［Enter］キーを押します。

→ ライブ画ページが表示されます。ライブ画ページについての詳細は、9 ページをお読みください。

「ユーザー認証」を「On」に設定した場合、ライブ画ページが表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。初期設定のユーザー名とパスワードは以下のとおりです。
ユーザー名：admin
パスワード：12345

重要

- セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。パスワードは定期的に変更することをお勧めします。
- 1台のPCで複数のH.264画像を表示しようとした場合、PCの性能により、画像が表示されない場合があります。

お知らせ

- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、H.264画像を受信しているユーザーとJPEG画像を受信しているユーザーとを合計した最大14人までです。ただし、「配信量制御(ビットレート)」、「1クライアントあたりのビットレート *」の設定によっては、アクセスできるユーザー数が14人以下に制限される場合があります。アクセスできる最大ユーザー数14人を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。「H.264」の「配信方式」を「マルチキャスト」に設定したとき、H.264画像を受信している2人目以降のユーザーはアクセス数にカウントされません。
- 「H.264配信」（→63 ページ）を「On」に設定すると、H.264画像が表示されます。「Off」に設定すると、JPEG画像が表示されます。「H.264配信」を「On」に設定した場合でも、JPEG画像の表示は可能です。しかしこの場合、JPEG画像の画像更新速度は最大5 fpsに制限されます。
- JPEG画像の画像更新速度はネットワークの環境、PCの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。
  〈JPEG画像更新速度〉
  「H.264配信」が「On」の場合：最大5 fps
  「H.264配信」が「Off」の場合：最大30 fps

1.1.2 ライブ画ページについて

① ［select language］プルダウンメニュー

画面に表示される言語を切り換えることができます。また、カメラにアクセスしたときに表示される最初の言語を「基本設定」の「言語選択」で設定することができます。(→39 ページ)

② ［設定］ボタン*1

設定メニューを表示します。ボタンが緑色に変わり、設定メニューが表示されます。

③ ［ライブ画］ボタン

ライブ画ページを表示します。ボタンが緑色に変わり、ライブ画ページが表示されます。

④ ［マルチスクリーン］ボタン

設定メニューでマルチスクリーン表示するカメラを設定すると、1画面で複数の画像を見ることができます。(→13 ページ)

⑤ ［切換］ボタン

- **［H.264］ボタン**：ボタン上の「H.264」の文字が緑色に変わり、H.264画像が表示されます。設定メニューで「H.264(1)」、「H.264(2)」の「H.264配信」を「On」に設定すると、［H.264］ボタンが表示されます。(→63 ページ)
- **［JPEG］ボタン**：ボタン上の「JPEG」の文字が緑色に変わり、JPEG画像が表示されます。

⑥ ［ストリーム選択］ボタン

このボタンは、H.264画像が表示されているときのみ表示されます。

- **［1］ボタン**：ボタン上の「1」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が、H.264(1)で設定した内容（→63 ページ）に従って表示されます。
- **［2］ボタン**：ボタン上の「2」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が、H.264(2)で設定した内容（→63 ページ）に従って表示されます。

⑦［解像度］ボタン
このボタンは、JPEG画像が表示されているときのみ表示されます。
- **［VGA］ボタン**：「VGA」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がVGAサイズで表示されます。
- **［QVGA］ボタン**：「QVGA」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がQVGAサイズで表示されます。
- **［1280×960］ボタン** SW155 SF135：「1280×960」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が1280×960サイズで表示されます。
- **［640×360］ボタン**：［640×360］の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が640×360サイズで表示されます。
- **［320×180］ボタン**：［320×180］の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が320×180サイズで表示されます。
- **［1280×720］ボタン** SW155 SF135：［1280×720］の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が1280×720サイズで表示されます。

お知らせ
- ［VGA］［QVGA］［1280×960］*2ボタンは、「アスペクト比」の設定が「4:3」に設定されているときのみ表示されます。
- ［640×360］［320×180］［1280×720］*2ボタンは、「アスペクト比」の設定が「16:9」に設定されているときのみ表示されます。

SW155 SF135：
- 解像度が「1280×960」または「1280×720」の場合、ウェブブラウザー画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小される場合があります。

⑧［画質選択］ボタン
このボタンは、JPEG画像が表示されているときのみ表示されます。
- **［1］ボタン**：JPEGの画質設定の画質1で設定した内容（→61 ページ）に従って表示されます。
- **［2］ボタン**：JPEGの画質設定の画質2で設定した内容に従って表示されます。

⑨［ズーム］ボタン
表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View4S」によりデジタルズームを行います。
- **［×1］ボタン**：「×1」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がズーム（倍率）1倍で表示されます。
- **［×2］ボタン**：「×2」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がズーム（倍率）2倍で表示されます。
- **［×4］ボタン**：「×4」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がズーム（倍率）4倍で表示されます。

⑩［明るさ］ボタン*3
0～255 SW155 SF135／0～127 SF132 で調節できます。
- **［暗(－)］ボタン**：画像が暗くなります。
- **［標準］ボタン**：初期設定（64）の明るさに戻ります。
- **［明(＋)］ボタン**：画像が明るくなります。

お知らせ
- 以下の場合には、「明るさ」ボタンをクリックしても画像の明るさが変化しないときがあります。
  - 屋外等明るい被写体を撮影した場合

– 光量制御モードをフリッカレスに設定した場合

SF132 :

– 最長露光時間の設定を1/2000 s以下に設定した場合

⑪ **[SD保存] ボタン[*3]** SW155

[SD] ボタンは、設定メニューで「保存モード」を「手動保存」に設定している場合のみ表示されます。(→45 ページ)

ボタンをクリックすると、手動でSDメモリーカードに画像を保存できます。SDメモリーカードに手動で画像を保存する方法は18 ページをお読みください。

⑫ **[ログ表示] ボタン[*1]** SW155

[リスト] ボタンは、設定メニューで「ログ保存」を「On」に設定している場合のみ表示されます。(→56 ページ) ボタンをクリックすると、ログリストが表示され、SDメモリーカードに保存されている画像を再生できます。ログリストの詳細と画像の再生のしかたについては24 ページをお読みください。

⑬ **カメラタイトル**

[基本] タブの「カメラタイトル」で入力したカメラタイトルが表示されます。(→39 ページ)

⑭ **経過年数警告表示ボタン**

製造してからの経過年数に応じて、本機の点検時期を点滅表示でお知らせします。

- **6年目:** ボタンをクリックすると、消灯します。
- **11年目以降:** ボタンをクリックすると、点灯表示に変わります。

⑮ **アラーム発生通知ボタン[*3]**

アラームが発生すると、点滅表示します。ボタンをクリックすると、表示が消えます。(→20 ページ)

⑯ **全画面表示ボタン**

画像が全画面で表示されます。ライブ画ページに戻るには、PCのキーボードの [Esc] キーを押します。表示される画面のアスペクト比は、モニターに合わせて調整されます。

⑰ **スナップショットボタン**

スナップショット (静止画1枚) を取得し、その画像が別ウインドウで表示されます。画像上で右クリックすると、ポップアップメニューが表示され、「Save」を選択すると、PCに画像を保存できます。
また、「Print」を選択すると、プリンターに出力できます。

お知らせ

- Windows 7またはWindows Vistaの場合には、以下の設定が必要になることがあります。Internet Explorerのメニューバーの [ツール] − [インターネットオプション] − [セキュリティ] タブにある [信頼済みサイト] を選択し、[サイト] をクリックします。表示される信頼済みウインドウの「Webサイト」にカメラのアドレスを登録してください。

⑱ **SD保存状態表示** SW155

SDメモリーカードへの保存状態を表示します。
保存が開始されると、SD保存状態表示が赤点灯します。保存が停止すると、消灯します。
この表示は、設定メニューの「保存モード」が「手動保存」、「スケジュール保存」に設定されている場合に表示されます。(→42 ページ)

⑲ **メインエリア**

カメラの画像を表示します。
設定した「時刻表示形式」と「日付表示形式」に従って現在の日時が表示されます (→39 ページ)。

設定した画面内文字（→39 ページ）や操作したときに明るさ（→39 ページ）を表示します。
マウスホイール操作でデジタルズーム表示ができます。デジタルズーム表示時のみ、メインエリア内で画角の中心としたい位置をクリックすると、クリックした位置を中心に画像が表示されます。

お知らせ

- アクセスレベルが低いユーザーが操作すると、一時的に画面上の表示が変わる場合がありますが、カメラの動作には影響ありません。
- PCによっては、撮影シーンが大きく変わる際に、OSの描画処理（GDI）の制約により、ティアリング（画面の一部がずれて表示される現象）が発生することがあります。

---

*1 アクセスレベルが「1.管理者」に設定されているユーザーのみ操作できます。

*2 SW155 SF135

*3 「ユーザー認証」が「On」に設定（→95 ページ）されているときは、アクセスレベルが「1.管理者」または「2.カメラ制御」に設定されているユーザーのみ操作できます。

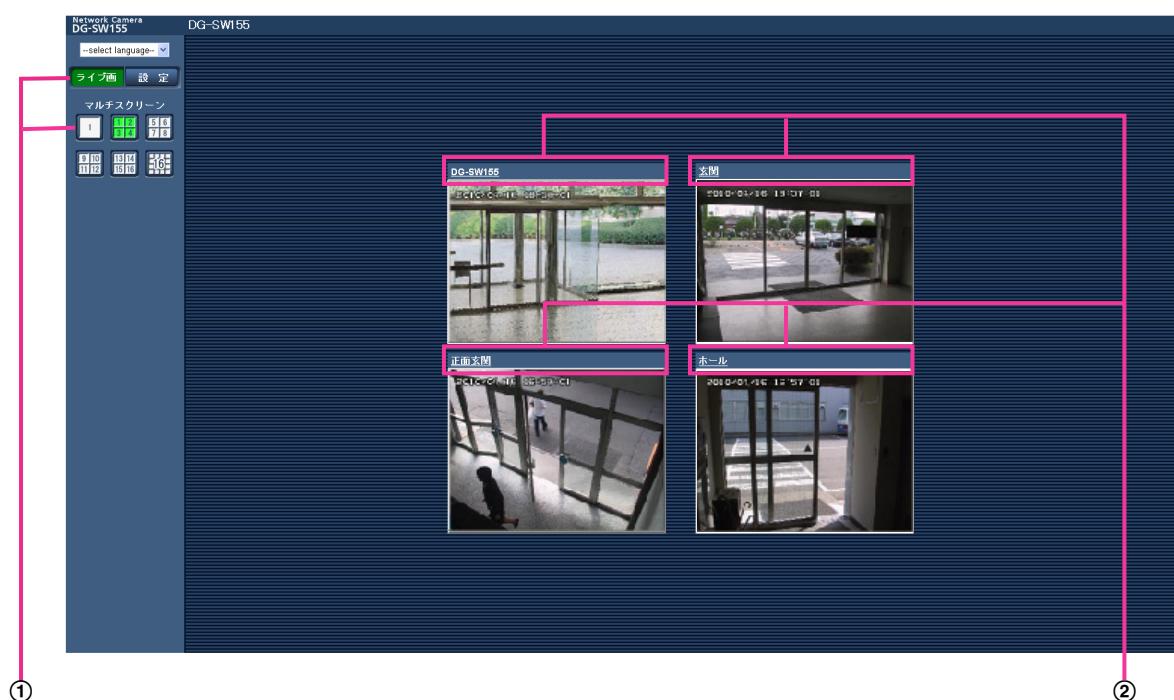
1.1.3 複数台のカメラの画像を見る

複数台のカメラの画像を1つの画面（マルチスクリーン）で確認します。一度に4台（最大16台）までのカメラの画像を確認できます。マルチスクリーンを使用するには、マルチスクリーンで表示させるカメラの設定が必要です。4台を1グループとして、最大4グループ（合計16台）まで登録することができます。（→80 ページ）

重要

- 16画面表示の場合、PTZカメラ（パン・チルト・ズーム機能対応のカメラ）からの画像をパン・チルト・ズーム操作できなくなります。
- 4画面表示の場合、PTZカメラからの画像のみパン・チルト・ズーム操作が可能です。PTZカメラの対応機種、バージョンについては、付属CD-ROM内の「はじめにお読みください（Readmeファイル）」をお読みください。
- 画像の表示中に本機の電源を切った場合やネットワークケーブルを抜いた場合は、ライブ画ページからマルチスクリーンに移動することはできません。
- 「アスペクト比」が「16:9」に設定されているカメラをマルチスクリーンで表示すると、「アスペクト比」が「4:3」の表示枠に合わせて、縦に引き延ばした映像になります。

1 ［マルチスクリーン］ボタンをクリックします。

→ カメラの画像が多画面（最大16画面）で表示されます。以下は4画面の場合です。

① 1画面表示にするには、［ライブ画］ボタンをクリックします。

② カメラタイトルをクリックすると、対応するカメラのライブ画像が、別ウインドウのライブ画ページに表示されます。

1.2 携帯電話・携帯端末から画像を見る

1.2.1 携帯電話から画像を見る

携帯電話からインターネットを経由して本機に接続し、本機の画像（JPEG形式のみ）を表示します。最新画像に更新することもできます。

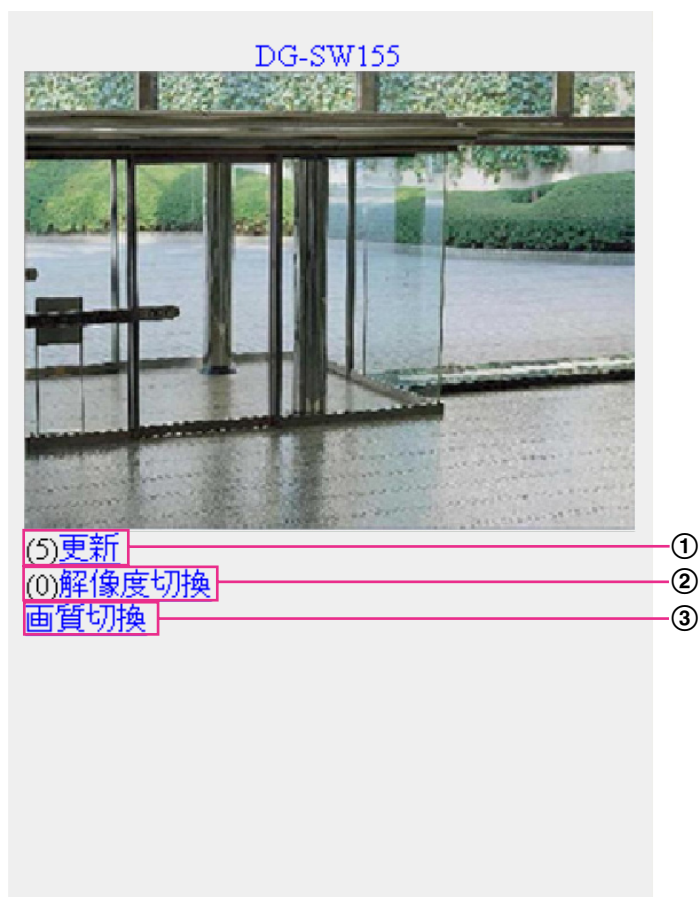
重要

- 認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名とパスワードの初期設定は以下になります。
  ユーザー名：admin
  パスワード：12345
  セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。
  (→95 ページ)
- 携帯電話が文字コードUTF-8に対応していない場合、正常に表示することができません。

お知らせ

- 携帯電話から本機の画像を見るには、あらかじめインターネットに接続するためのネットワーク設定が必要です。(→103 ページ)

1 携帯電話で「http://IPアドレス/mobile」*1 または「http://DDNSサーバーに登録したホスト名/mobile」を入力し、決定ボタンを押します。

→ 本機の画像が表示されます。

① 更新
ダイヤルキーの「5」を押すと、カメラ画像が更新されます。

② 解像度切換
ダイヤルキーの「0」を押すと、解像度を切り換えます。
※アスペクト比4:3時：320×240ドット（工場出荷値）と640×480ドットの切り換え
※アスペクト比16:9時：320×180ドット（工場出荷値）と640×360ドットの切り換え

③ 画質切換
画質1／画質2（→61 ページ）を切り換えることができます。

お知らせ

- 「解像度切換」を行っても、表示される解像度は変わりますが、画像サイズが変わらない携帯電話があります。
- HTTPポート番号が80から変更されている場合は、「http://IPアドレス:ポート番号/mobile」*1を入力して、本機のポート番号を指定してください。
- DDNS機能を使用している場合は、「http://DDNSサーバーに登録したホスト名:ポート番号/mobile」を入力してください。

- ネットワークページの［ネットワーク］タブの[HTTPS]－[接続方法]で[HTTPS]を設定している場合は、下記のように入力してください。
  「https://IPアドレス:ポート番号/mobile」または、「https://DDNSサーバーに登録したホスト名:ポート番号/mobile」
- 認証ダイアログが表示されたときは、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。携帯電話によっては、画面が切り換わるたびにパスワードの入力が必要になる場合があります。
- 携帯電話によっては、画像のサイズが大きい場合に画像の表示ができないことがあります。その場合は、「JPEG」の「画質設定」（→61 ページ）を低画質に近づけると表示されることがあります。
- お使いの携帯電話および契約プランによってはアクセスできない場合があります。

[*1] IPアドレスは、インターネットからアクセスできるルーターのWAN側のグローバルIPアドレスです。

1.2.2 携帯端末から画像を見る

携帯端末から本機に接続し、本機の画像（H.264形式のみ）を表示します。自動で最新画像に更新されます。
対象機種は、次のとおりです。(2011年5月現在)
iPad、iPhone、iPod touch

重要

- 認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名とパスワードの初期設定は以下になります。
  ユーザー名：admin
  パスワード：12345
  セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。

1 携帯端末で「http://IPアドレス/cam」[*1]または「http://DDNSサーバーに登録したホスト名/cam」[*2]を入力し、決定ボタンを押します。

→ 本機の画像が表示されます。

お知らせ

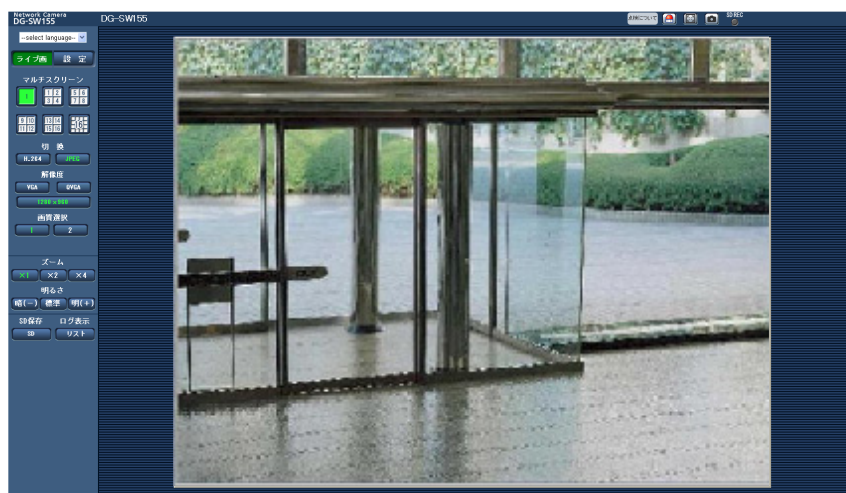
- HTTPポート番号が80から変更されている場合は、「http://IPアドレス:ポート番号/cam」[*1]を入力して、本機のポート番号を指定してください。
- DDNS機能を使用している場合は、「http://DDNSサーバーに登録したホスト名:ポート番号/cam」[*2]を入力してください。
- ネットワークページの［ネットワーク］タブの[HTTPS]－[接続方法]で[HTTPS]を設定している場合は、下記のように入力してください。
  「https://IPアドレス:ポート番号/cam」または、「https://DDNSサーバーに登録したホスト名:ポート番号/cam」
- お使いの携帯端末および契約プランによってはアクセスできない場合があります。

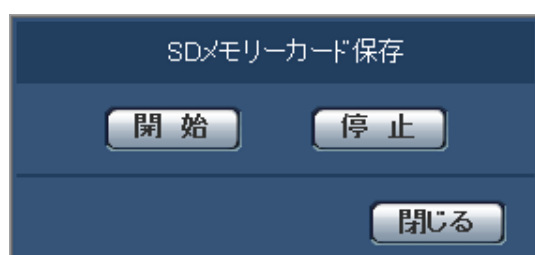
[*1] IPアドレスは、インターネットからアクセスできるルーターのWAN側のグローバルIPアドレスです。ただし、無線接続対応の携帯端末で、同じLAN内の本機にアクセスする場合は、ローカルIPアドレスです。

[*2] インターネットを経由して、本機にアクセスする場合のみです。

1.3 手動でSDメモリーカードに画像を保存する（DG-SW155／DG-SW155M）

ライブ画ページの画像を手動でSDメモリーカードに保存します。
設定メニューの基本ページの［SDメモリーカード］タブをクリックし、「保存モード」が「手動保存」に設定されている場合にのみ操作できます。（→45 ページ）
設定メニューの「録画圧縮方式」で、保存する対象を「JPEG」または「H.264」のどちらかに設定できます（→43 ページ）。「録画圧縮方式」で「JPEG」を選択している場合は静止画が保存され、「H.264」を選択している場合は動画が保存されます。
SDメモリーカード内の画像は、PCに保存して見ることができます。（→49 ページ）

1 ライブ画ページを表示します。（→7 ページ）

2 ［SD］ボタンをクリックします。

→ SDメモリーカード保存画面が別ウインドウで表示されます。

3 ［開始］ボタンをクリックし、SDメモリーカードへの保存を開始します。保存中はSD保存状態表示が赤点灯します。（→9 ページ）
保存間隔の設定は、基本ページの［SDメモリーカード］タブで行います。（→42 ページ）

4 SDメモリーカードへの画像の保存を停止するには［停止］ボタンをクリックします。

5 ［閉じる］ボタンをクリックし、画面を閉じます。

お知らせ

- Bドライブに保存された画像データは、基本ページの［SDメモリーカード］タブで、「画像取得」を実行し、ユーザー認証画面からログインすることで取得できます。（→49 ページ）

画像データの保存先は、Bドライブの固定のディレクトリーになります。「Bドライブのディレクトリー構造について」（→160 ページ）をお読みください。

- ［停止］ボタンをクリックしたあと、すぐに［開始］ボタンをクリックすると、画像の保存が開始されないことがあります。そのときは、再度、［開始］ボタンをクリックしてください。

1.4 アラーム発生時の動作について

本機は以下のアラームが発生すると、設定に従いアラーム動作（アラーム発生にともなうカメラ動作）を行います。

1.4.1 アラームの種類について

- **動作検知アラーム**：設定した動作検知エリアの画像に変化（動き）が検出されると、アラーム動作を行います。
  ※動作検知：VMD（Video Motion Detector）＝動き検出、モーションディテクター機能
- **コマンドアラーム**：ネットワークを経由して接続機器からの独自アラーム通知を受信すると、アラーム動作を行います。

1.4.2 アラーム発生時の動作について

ライブ画ページに［アラーム発生通知］ボタンを表示する

アラームが発生すると、「ライブ画」ページに［アラーム発生通知］ボタンが表示されます。（→9 ページ）

重要

- 「状態通知間隔」（→39 ページ）を「定期(30s)」に設定した場合、［アラーム発生通知］ボタンは30秒ごとに更新されます。このため、アラーム発生後、ライブ画ページにボタンが表示されるまで、最大30秒の遅れが発生する場合があります。

SDメモリーカードに画像を保存する SW155

アラームが発生すると、SDメモリーカードに画像（JPEG／H.264）が保存されます。SDメモリーカードに画像を保存する設定は、基本ページの［SDメモリーカード］タブ（→42 ページ）、アラームページの［アラーム］タブ（→82 ページ）で行います。

画像を自動的にサーバーへ送信する

アラームが発生すると、あらかじめ指定したサーバーへ画像が送信されます。サーバーへ画像を送信する設定は、アラームページの［アラーム］タブ（→82 ページ）、サーバーページの［FTP］タブ（→100 ページ）で行います。

重要

SW155：

- SDメモリーカードを使用する場合、［SDメモリーカード］タブの「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください。「アラーム発生時」または「手動保存」に設定すると、アラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信することができません。

Eメールでアラーム発生を通知する

アラームが発生すると、アラームの発生を知らせるメール（アラーム発生通知）を、あらかじめ登録してあるメールアドレスに送信します。アラームメールの送信先は4件まで登録することができます。また、アラー

ムメール送信時に静止画像を1枚添付して送信することもできます。アラームメールの設定は、アラームページの［通知］タブ（→89 ページ）、サーバーページの［メール］タブ（→99 ページ）で行います。

指定したIPアドレスにアラームが発生したことを通知する（独自アラーム通知）

この機能は、弊社製機器（ネットワークディスクレコーダーなど）を使用する場合に有効な機能です。「独自アラーム通知」を「On」に設定すると、本機がアラーム状態であることを通知することができます。独自アラームの設定は、アラームページの［通知］タブで行います。（→90 ページ）

1.5 FTPサーバーに画像を送信する

FTPサーバーに接続し画像を送信します。以下の設定を行うと、アラーム発生時や指定した時間間隔ごとに、撮影した画像をFTPサーバーへ送信できます。

重要

- FTPサーバーに画像を送信する場合、FTPサーバーにログインできるユーザーを制限するため、FTPサーバーにユーザー名とパスワードを設定してください。
  SW155：
  FTPサーバーに画像を送信する場合、基本ページの［SDメモリーカード］タブで「SDメモリーカード」を「使用しない」、または、［録画圧縮方式］が「JPEG」の場合は「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください。(→43 ページ)

1.5.1 アラーム発生時に画像を送信する（アラーム画像送信）

アラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信します。アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、あらかじめ設定が必要です。
FTPサーバーの設定は、サーバーページの［FTP］タブで行います。(→100 ページ)
アラーム画像送信を行うかどうか、送信画像に関する設定は、アラームページの［アラーム］タブで行います。(→82 ページ)

お知らせ

- ネットワークの回線速度または状態によっては、設定した枚数を送信できないことがあります。

SW155：

- アラーム画像送信の場合、FTPサーバーへの送信に失敗した画像はSDメモリーカードには保存されません。ただし、FTP定期送信に失敗した画像は保存されます。

1.5.2 指定した時間間隔で画像を送信する（定期送信）

時間間隔を指定して定期的に画像を送信します。画像を送信するには、あらかじめ設定が必要です。
送信先のFTPサーバーの設定は、サーバーページの［FTP］タブで行います。(→100 ページ)
FTP定期送信を行うかどうか、送信画像とスケジュールの設定は、ネットワークページの［FTP定期］タブで行います。(→132 ページ)

お知らせ

- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できないことがあります。
- アラーム画像送信と定期送信を同時に設定すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、定期送信で設定した間隔で画像が送信されないことがあります。

1.5.3 定期送信に失敗した画像をSDメモリーカードへ保存する（DG-SW155／DG-SW155M）

定期送信に失敗した画像を、SDメモリーカードに自動的に保存できます。SDメモリーカード内の画像の保存方法は、基本ページの［SDメモリーカード］タブで設定します。(→42 ページ)

弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使用する場合は、「定期送信」を「Off」（→133 ページ）、SDメモリーカードの「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」（→45 ページ）に設定してください。

重要

- SDメモリーカード内に記録された内容は、故障や障害発生時、原因にかかわらず保証いたしかねます。

お知らせ

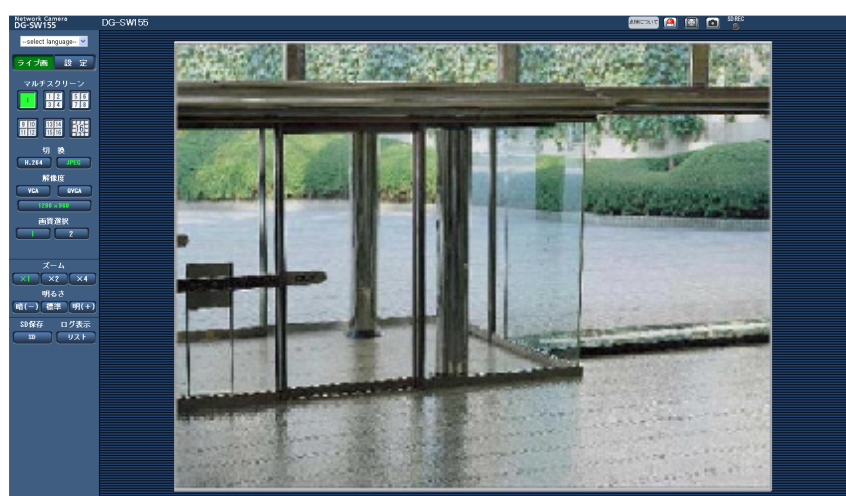
- ログリストから「FTP定期送信エラー時」の画像を参照する場合は、「ログ保存」を「On」にしておく必要があります。（→56 ページ）

1.6 ログリストを表示する（DG-SW155／DG-SW155M）

以下の履歴を一覧で表示します。

- **アラームログ**：アラーム発生日時、アラームの要因を確認できます。
- **手動/スケジュール保存ログ**：手動またはスケジュール設定でSDメモリーカードへ画像を保存したときのログを確認できます。
- **FTP定期送信エラーログ**：FTP定期送信に失敗したときのログを確認できます。

基本ページの［ログ］タブ（→56 ページ）で「ログ保存」が「On」に設定されている場合にのみ、ログリストを表示できます。

1 ライブ画ページを表示します。（→7 ページ）

2 ［リスト］ボタンをクリックします。

→ ログリスト表示画面が別ウインドウで表示されます。

① リスト件数

重要

- ログリスト表示画面に複数のユーザーが同時にアクセスすることはできません。

お知らせ

- 「SDメモリーカード」が「使用しない」に設定されている場合、「手動/スケジュール保存ログ」と「FTP定期送信エラーログ」は表示されません。
- SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264」に設定されている場合、「FTP定期送信エラーログ」は表示されません。

3 「ログ表示」から表示したいログリストをクリックします。

→ 選択したログリストが表示されます。

お知らせ

- 設定メニューの「録画圧縮方式」が「JPEG」に設定され、SDメモリーカードに画像が保存されている場合、時間をクリックすると画像を表示できます。(→42 ページ)

ログリスト表示画面について

- **リスト件数**
  リストアップされたログの総件数と現在先頭に表示されているログの番号を表示します。

  お知らせ

  - 表示したいログの番号を入力してキーボードの［Enter］キーを押します。指定した番号のログが画面の1番上に表示されます。

- **［先頭］ボタン**
  先頭のログを表示します。
- **［前ページ］ボタン**
  前のページのログリストを表示します。

  お知らせ

  - ［前ページ］ボタンにマウスのポインターを合わせてボタンを長押しすると、件数がカウントダウンされます。ボタンを離すと、ボタンを離したときの番号のログが画面の1番目に表示されます。

- **［次ページ］ボタン**
  次のページのログリストを表示します。

  お知らせ

  - ［次ページ］ボタンにマウスのポインターを合わせてボタンを長押しすると、件数がカウントアップされます。ボタンを離すと、ボタンを離したときの番号のログが画面の1番目に表示されます。

- **［最後］ボタン**
  最後のログを表示します。
- **［時間］**
  ログが記録された日時を表示します。

  お知らせ

  - 「時刻表示形式」(→39 ページ)を「Off」に設定した場合、アラームの発生日時が24時間形式で表示されます。
  - ログが記録されるタイミングは以下になります。
    - **アラームログ：**アラーム発生の日時がログとして記録されます。
    - **手動/スケジュール保存ログ：**手動またはスケジュール設定でSDメモリーカードへ保存を開始した日時がログとして記録されます。連続してJPEG保存する場合は、1時間ごとにログが記録されます。
    - **FTP定期送信エラーログ：**1時間ごとにログが記録されます。

- **［要因］**
  アラームが発生した要因を表示します。アラームログリストの場合のみ表示されます。
  - **VMD：**動作検知アラームによるアラーム
  - **COM：**コマンドアラームによるアラーム
- **［SDメモリーカード］**
  SDメモリーカードの残容量と総容量を表示します。

表示内容は、［SDメモリーカード］タブの「容量表示」と同じです。（→47 ページ）

- **［削除］ボタン**
  表示中のログリストを削除します。
  SDメモリーカードを使用している場合、ログリストに関連付けされている画像も削除されます。

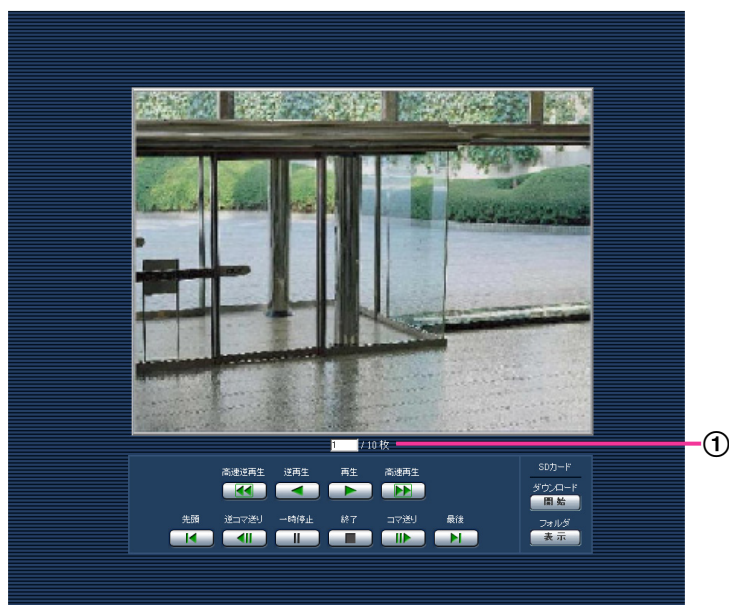
  重要

  - SDメモリーカードに保存されている画像の枚数が多い場合、削除完了までに数時間がかかることがあります。（例えば、JPEG画像で1 GBを削除の場合、約1時間かかることがあります。）
    その場合はフォーマットしてください。ただし、すべての画像が削除されます。（→47 ページ）
  - 削除中はログのみが保存され、画像を新しく保存することはできません。
  - 削除が完了するまで本機の電源を切らないでください。
    途中で本機の電源が切れた場合は、SDメモリーカードに画像が残ったままになることがあります。
    この場合、削除操作を行ったログリストの画面で、再度［削除］ボタンをクリックしてください。
- **［ダウンロード］ボタン**
  表示されているログリストの総件数分を1つのファイルとしてPCにダウンロードできます。
  ダウンロード先のディレクトリーは、基本ページの[ログ] タブで設定できます。（→56 ページ）
- **［閉じる］ボタン**
  ログリスト表示画面を閉じます。

1.7 SDメモリーカードの画像を再生する（DG-SW155／DG-SW155M）

ログリスト表示画面で時間をクリックすると、ライブ画ページが再生ページに切り換わります。
クリックした日時の画像がSDメモリーカードに保存されている場合、選択した日時の先頭の画像が表示されます。

重要

- 本機能はSDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「JPEG」に設定されている場合のみ使用できます。「H.264」に設定されている場合は、再生ページは表示されません。ただし、画像のダウンロードは行えます。操作方法については、30 ページをお読みください。
- 画像の再生中やダウンロード中は、画像更新速度が遅くなることがあります。
- SDメモリーカードに保存されている画像の枚数が多い場合、再生ページに画像が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- SDメモリーカードに保存されている画像の解像度が「QVGA」の場合でも、再生ページではVGAサイズで表示されます。また、「アスペクト比」が「16:9」の場合、SDメモリーカードに保存されている画像の解像度が「320×180」の場合でも再生ページは「640×360」で表示されます。そのため、再生ページでは粗く見える場合があります。
- ［FTP定期］タブの「送信間隔」が1分以下に設定されている場合、FTP定期送信エラーのログリストからの画像再生時は、SDメモリーカードに保存された画像が順番どおりに再生されないことがあります。

① 画像枚数

再生ページについて

画像枚数

クリックした時間に保存された画像の総枚数と表示中の画像の番号が表示されます。

お知らせ

- 表示したい画像の番号を入力してキーボードの［Enter］キーを押します。指定した番号の画像が画面に表示されます。

- **［高速逆再生］ボタン**
  ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。
  高速再生中に［再生］ボタン、［逆再生］ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。
- **［逆再生］ボタン**
  前の画像へ順番に再生します。
- **［再生］ボタン**
  画像を順番に再生します。
- **［高速再生］ボタン**
  ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。
  高速再生中に［再生］ボタン、［逆再生］ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。
- **［先頭］ボタン**
  先頭の画像を表示します。
- **［逆コマ送り］ボタン**
  再生中にボタンをクリックすると、前の画像を表示したあと、一時停止します。
  一時停止中にクリックすると、ボタンをクリックするたびに前の画像が表示されます。

お知らせ

- ボタンを長押しすると、画像枚数の数値がカウントダウンされます。
  ボタンを離すと、画像番号のカウントダウンが止まり、ボタンを離したときの番号の画像が表示されます。

- **［一時停止］ボタン**
  再生中にクリックすると、再生が一時停止します。
  一時停止中にクリックすると再生が再開します。
- **［終了］ボタン**
  再生を終了し、ライブ画ページに戻ります。
- **［コマ送り］ボタン**
  再生中にボタンをクリックすると、次の画像を表示したあと、一時停止します。
  一時停止中にクリックすると、ボタンをクリックするたびに次の画像が表示されます。

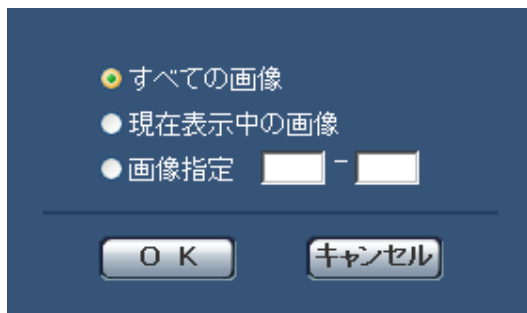
お知らせ

- ボタンを長押しすると、画像枚数の数値がカウントアップされます。
  ボタンを離すと、画像番号のカウントアップが止まり、ボタンを離したときの番号の画像が表示されます。

- **［最後］ボタン**
  最後の画像を表示します。

SDカード

- **［開始］ボタン**
  選択した画像がPCにダウンロードされます。
  PCの保存先ディレクトリーを、あらかじめ設定してください。（→56 ページ）
  ［開始］ボタンをクリックすると、以下のような画面が表示されます。

ダウンロードする画像の対象を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

- **すべての画像**：選択した時間の画像をすべてダウンロードします。
- **現在表示中の画像**：表示中の画像のみをダウンロードします。
- **画像指定**：画像の範囲を指定してダウンロードします。

お知らせ

- ダウンロード中に [キャンセル] ボタンをクリックすると、ダウンロードが中止されます。
  [キャンセル] ボタンをクリックする前にダウンロードした画像は、PCに保存されます。

- **[表示] ボタン**
  ユーザー認証後、SDメモリーカード内の画像を保存したフォルダーが表示されます。(→49 ページ)

1.7.1 画像をダウンロードする（SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264」に設定されている場合）（DG-SW155／DG-SW155M）

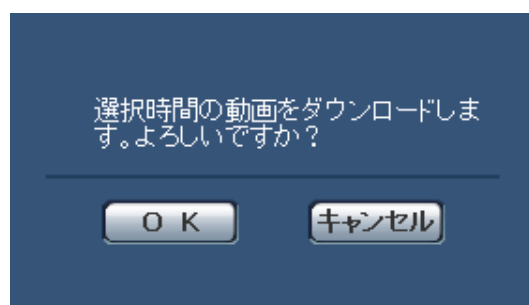
重要

- ご使用のネットワーク環境によっては、動画のダウンロードに失敗する場合があります。

SDメモリーカードに保存した動画を再生するには、再生したいデータをダウンロードし、PCに保存します。
動画は再生ページでは再生できませんので、下記の手順に従って操作してください。

1 ログリスト表示画面（→24 ページ）で時間をクリックします。

→ ダウンロード画面が表示されます。

2 ［OK］をクリックすると、選択した時間の動画のダウンロードを開始します。

お知らせ

- ダウンロード中に［キャンセル］ボタンをクリックすると、ダウンロードが中止されます。

［キャンセル］ボタンをクリックする前にダウンロードした画像は、PCに保存されます。

- 選択した時間に関する動画データのダウンロードが開始されます。
  - ダウンロード開始後に［キャンセル］ボタンをクリックした場合、キャンセルに時間がかかることがあります。
  - 動画データは、約2 MB単位のファイルに保存されるため、2 MBを超える容量のデータの場合は、複数のファイルがダウンロードされます。

  PCに保存した動画は、QuickTime® PlayerやWindows Media® Player[*1] などを使用して再生することができます。ただし、これらのソフトウェアの動作について、弊社は一切の保証をいたしません。
- SDメモリーカードの状態や、QuickTime Player、Windows Media Playerの状態によっては、動画を再生できない場合があります。

[*1] 対応OSは、Windows 7のみです。

2 設定

2.1 ネットワークセキュリティについて

2.1.1 本機に装備されているセキュリティ機能

本機には、以下のセキュリティ機能が装備されています。

① ユーザー認証／ホスト認証によるアクセスの制限
ユーザー認証／ホスト認証の設定を「On」にすると、カメラにアクセスするユーザーを制限することができます。(→95 ページ、96 ページ)

② HTTPポートの変更によるアクセスの制限
HTTPポート番号を変更することで、ポートスキャニングなどの不正アクセスを防止できます。
(→106 ページ)

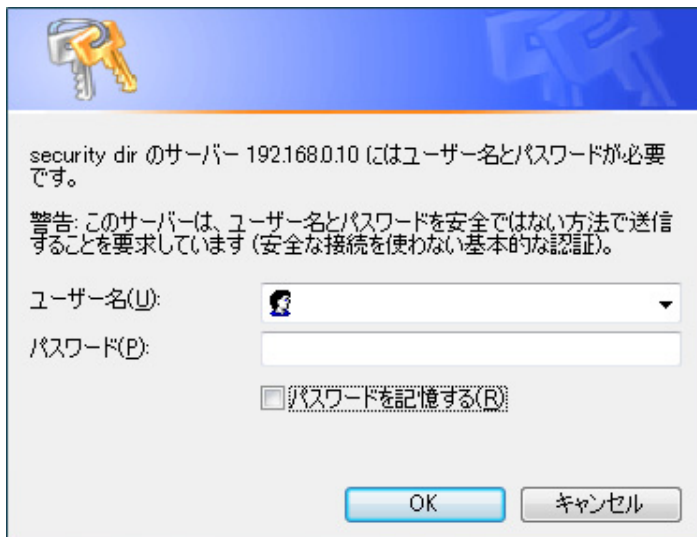
③ HTTPS機能によるアクセスの暗号化
HTTPS機能を使用することで、カメラへのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。(→110 ページ)

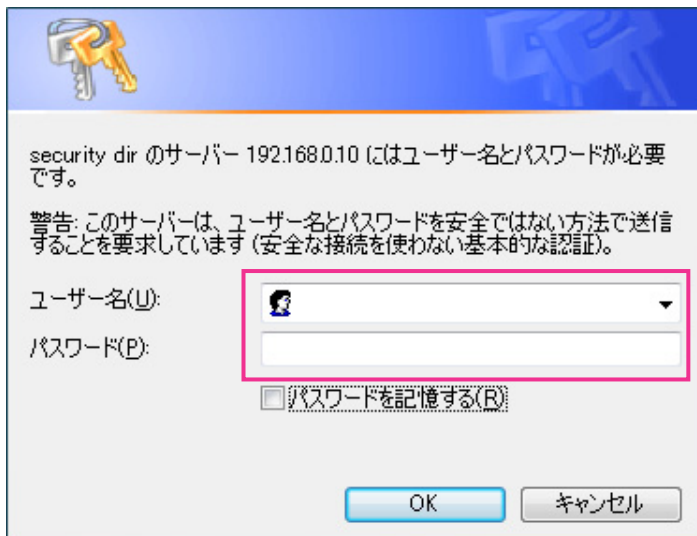
重要

- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証でアクセス制限する、HTTPS機能でアクセスを暗号化するなどの対策を実施してください。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、セキュリティ強化のため、必ずすべてのブラウザーを閉じてください。
- 管理者のパスワードはセキュリティ強化のため、定期的に変更してください。

お知らせ

- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合は、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

2.2 PCから設定メニューを表示する

カメラの設定は設定メニューで行います。

重要

- 設定メニューはアクセスレベルが「1.管理者」のユーザーのみ操作できます。アクセスレベルの設定方法については、95 ページをお読みください。

2.2.1 表示のしかた

1 ライブ画ページを表示します。(→7 ページ)

2 ライブ画ページの［設定］ボタンをクリックします。

→ ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

3 ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックします。

→ 設定メニューが表示されます。

本メニューについての詳細は、37 ページをお読みください。

2.2.2 操作のしかた

① メニューボタン

② 設定ページ

1 画面左側のメニューボタンをクリックして、設定ページを表示します。
ページが複数のタブで構成されている場合は、各タブをクリックします。

2 設定ページの各項目を入力します。

3 入力が終了したら、［設定］ボタンをクリックして入力内容を確定します。

重要

- ［設定］、［登録］、「実行」ボタンがページ内に複数ある場合は、項目ごとに［設定］、［登録］、「実行」ボタンをクリックしてください。
  <例>

A欄の項目の設定が終了したら、A欄の下の［設定］ボタン（A-1）をクリックします。
A欄の下の［設定］ボタン（A-1）をクリックしないと、設定内容が確定されません。
上記と同様にB欄の項目の設定が終了したら、B欄の下の［設定］ボタン（B-1）をクリックします。

2.2.3 設定メニューの画面について

① ［設定］ボタン
設定メニューを表示します。

② ［ライブ画］ボタン
ライブ画ページを表示します。

③ ［基本］ボタン
基本ページを表示します。基本ページでは、日時やカメラタイトルなどの基本設定やSDメモリーカード SW155 に関する情報を設定します。(→39 ページ)

④ ［カメラ］ボタン
カメラページを表示します。カメラページでは、JPEG／H.264画像の画質・解像度などカメラに関する設定を行います。(→61 ページ)

⑤ ［マルチスクリーン］ボタン
マルチスクリーンページを表示します。マルチスクリーンページでは、マルチスクリーンで表示するカメラを登録します。(→80 ページ)

⑥ ［アラーム］ボタン
アラームページを表示します。アラームページでは、アラーム発生時のアラーム動作や動作検知エリアの設定、アラーム通知に関する設定を行います。(→82 ページ)

⑦ ［画像認識］ボタン
画像認識ページを表示します。画像認識ページでは、XML通知の設定、顔検出に関する情報の通知先、顔検出に関する設定を行います。(→92 ページ)

⑧ ［ユーザー管理］ボタン
ユーザー管理ページを表示します。ユーザー管理ページでは、本機にアクセスするユーザーやPCを制限する認証登録を行います。(→95 ページ)

⑨ ［サーバー］ボタン
サーバーページを表示します。サーバーページでは、本機がアクセスするメールサーバーとFTPサーバー、NTPサーバーに関する設定を行います。（→99 ページ）

⑩ ［ネットワーク］ボタン
ネットワークページを表示します。ネットワークページでは、本機のネットワークに関する設定やDDNS（Dynamic DNS）、SNMP（Simple Network Management Protocol）、FTP（File Transfer Protocol）定期送信に関する設定を行います。（→103 ページ）

⑪ ［スケジュール］ボタン
スケジュールページが表示されます。スケジュールページでは、動作検知許可などを行うスケジュールを設定します。（→137 ページ）

⑫ ［メンテナンス］ボタン
メンテナンスページを表示します。メンテナンスページでは、システムログの確認やソフトウェアバージョンアップ、ステータスの確認、本機の設定内容の初期化などを行うことができます。（→139 ページ）

⑬ カメラタイトル
現在設定しているカメラタイトルを表示します。

⑭ 設定ページ
各設定メニューのページを表示します。メニューによっては、複数のタブで構成されているページもあります。

2.3 本機の基本設定を行う［基本］

基本ページでは、カメラタイトルや日時設定、SDメモリーカード *1、ログ *1に関する設定を行います。
基本ページは、［基本］タブ、［SDメモリーカード］タブ *1、［ログ］タブ *1の3つのタブで構成されています。

---

*1 SW155

2.3.1 基本設定を行う［基本］

基本ページの［基本］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作のしかた：34 ページ、35 ページ）
ここでは、カメラタイトルおよび日時などの設定を行います。

［カメラタイトル］

本機の名称を入力します。入力後、［設定］ボタンをクリックすると、入力した名称がカメラタイトルに表示されます。
入力可能文字数：0～20文字
入力不可文字：半角記号" &

初期設定: 機種によって以下のようになります。
DG-SW155 SW155 ／DG-SF135 SF135 ／DG-SF132 SF132

[日時]

現在の日付時刻を入力します。「時刻表示形式」で「12h」を選択した場合は、「AM」または「PM」を選択します。
設定可能範囲：2010/01/01 00:00:00～2035/12/31 23:59:59

重要

- システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合、NTPサーバーを使用してください。(→101 ページ)

[時刻表示形式]

時刻の表示方法を24h／12h／Offから選択します。「日時」は、この設定にあわせて入力してください。日付時刻を表示しない場合は、「Off」に設定してください。
初期設定：24h

[日付表示形式]

日付の表示形式を選択します。「日時」を「2010年4月1日　13時10分00秒」に設定した場合、それぞれの表示形式は次のようになります。

- **DD/MM/YYYY：**01/04/2010 13:10:00
- **MM/DD/YYYY**：04/01/2010 13:10:00
- **DD/Mmm/YYYY：**01/Apr/2010 13:10:00
- **YYYY/MM/DD：**2010/04/01 13:10:00
- **Mmm/DD/YYYY：**Apr/01/2010 13:10:00

初期設定：YYYY/MM/DD

[サマータイム]

サマータイムを使用するかどうかをIn／Out／Autoで設定します。サマータイムを使用する地域で設定します。

- **In：**時刻をサマータイムにします。時刻表示に「*」が表示されます。
- **Out：**サマータイムを解除します。
- **Auto：**開始日時、終了日時設定（月、週、曜日、時刻）に従って、サマータイム時刻に切り換えます。

初期設定：Out

[NTP/タイムゾーン]

[NTP設定へ] をクリックすると、サーバーページの［NTP］タブが表示されます。(→101 ページ)

[開始日時] [終了日時]

[サマータイム] 設定で「Auto」を選択したとき、サマータイムの開始日時、終了日時を月、週、曜日、時刻で設定します。

[画面内文字表示]

画像上に文字列を表示するかどうかをOn／Offで設定します。
「On」に設定すると、「画面内文字(A～Z、0～9、カナ)」で入力した文字列が、「表示位置」で選択した位置に表示されます。
初期設定：Off

[画面内文字(A～Z、0～9、カナ)]
画像内で表示する文字列を入力します。
入力可能文字数：0～20文字
入力可能文字：0～9（半角）、A～Z（半角、大文字）、全角カナ、半角記号（! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; = ?）
初期設定：なし（空白）

[表示位置]
ライブ画ページの画像内で、日時と画像内に表示される文字列を表示する位置を選択します。
- **左上：**画面内の左上に表示します。
- **左下：**画面内の左下に表示します。
- **右上：**画面内の右上に表示します。
- **右下：**画面内の右下に表示します。

初期設定：左上

[明るさ状態表示]
明るさ調整時にライブ画ページの画像内に明るさ状態を表示するかどうかをOn／Offで設定します。
初期設定：On

[上下反転]
画像を上下反転させるかどうかをOn／Offで設定します。
初期設定：Off

[ランプ表示]
以下のランプの点灯／消灯を選択します。動作状態をランプで確認したいときは、「点灯」を選択します。通常は「消灯」を選択し、ランプを消灯します。
- リンクランプ
- アクセスランプ
- SDメモリーカードエラーランプ SW155

初期設定：点灯

お知らせ
- **リンクランプ（橙色）：**接続機器と通信可能になると点灯します。
- **アクセスランプ（緑色）：**ネットワークにアクセスしているときに点灯します。
- **SDメモリーカードエラーランプ（赤色）** SW155 **：**SDメモリーカードに保存できないときに点灯します。

[状態通知間隔]
本機の状態を通知する間隔を以下から選択します。
本機の状態に変化があったときは、ライブ画ページに、[アラーム発生通知] ボタン、[SD保存状態表示] SW155 を表示して、知らせます。
- **定期(30s)：**30秒ごとに状態を更新し、通知します。
- **リアルタイム：**状態に変化があった場合に通知します。

初期設定：リアルタイム

お知らせ
- ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。

[状態通知受信ポート番号]

「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定している場合のみ、状態を通知する通知先の受信ポート番号を入力します。
設定可能ポート番号：1～65535
初期設定：31004
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、59000～61000

[プラグインソフトウェアの自動インストール]

表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールするかどうかを設定します。

- **許可する：**表示用プラグインソフトウェアを本機からPCへ自動的にインストールします。
- **許可しない：**表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールできません。

初期設定：許可する

重要

- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされていないPCでは、画像を表示できません。
- プラグインソフトウェアのインストール回数は、本機ブラウザーメニュー画面のメンテナンスページの［バージョンアップ］タブで確認できます。

[言語選択]

カメラにアクセスしたときに表示される最初の言語を設定します。
ライブ画面でも表示言語を切り換えることができます。(→9 ページ)

2.3.2 SDメモリーカードを設定する［SDメモリーカード］(DG-SW155／DG-SW155M)

基本ページの［SDメモリーカード］タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：34 ページ、35 ページ)

ここでは、SDメモリーカードに関する設定を行います。

SDメモリーカード

[SDメモリーカード]

SDメモリーカードを使用するかどうかを、使用する／使用しないで設定します。
初期設定：使用する

重要

- SDメモリーカードを使用しない場合は、「使用しない」に設定してください。

- 「使用する」／「使用しない」の設定を切り換えたときに、他のユーザーが操作中の場合、その操作が中断されます。
- 本機からSDメモリーカードを取り外すときは、必ず「使用しない」に設定してから、SDメモリーカードを取り外してください。
- SDメモリーカードを取り付けたあとは、「使用する」に設定してください。
- SDメモリーカードに保存された画像を再生またはダウンロードする場合は、［ログ］タブ（→56 ページ）で「ログ保存」を「On」に設定してください。
- 画像更新速度が速いと、通知や録画のタイミング・間隔がずれることがあります。また、複数のユーザーが画像を受信する場合、通知や録画が設定どおりに行われないことがあります。その場合は、画像更新速度を遅くしてください。
- SDメモリーカードの書き換え回数には限度があります。書き換え頻度が高いと、寿命が短くなることがあります。
- SDメモリーカードの寿命は、SDメモリーカードに保存する画像ファイルの数とログ書き込みの数の影響を受けます。「録画圧縮方式」で「H.264」を選択することにより、SDメモリーカードに保存するファイル数を減らすことができます。
- SDメモリーカードの書き込み回数が増えると、書き込み速度が低下します。

[録画圧縮方式]

SDメモリーカードに保存する映像データの種類をJPEG／H.264から選択します。

- **JPEG**：静止画を保存します。
- **H.264**：動画をMP4フォーマットで保存します。

初期設定：JPEG

お知らせ

- 「H.264」選択時は、H.264(2)の配信ができません。
- 「H.264」を選択すると、カメラページの［JPEG/H.264］タブの「H.264(2)」設定が、「H.264動画録画」設定に切り換わります。
- ユーザー管理ページの［システム］タブの「優先ストリーム－ストリーム種別」で「H.264 (2)」を設定している場合、その優先帯域は確保されません。
- 弊社のネットワークディスクレコーダーのSDメモリーカード録画機能を使用する場合は、「録画圧縮方式」を「JPEG」に設定してください。
- 設定を「JPEG」と「H.264」で切り換えた場合は、SDメモリーカードをフォーマットしてください（→47 ページ）。
- 「JPEG」の場合と「H.264」の場合では、ファイルの保存形式が異なるため、SDメモリーカードの残容量表示が異なります。
- 「録画圧縮方式」を「H.264」に設定変更した場合、「H.264 動画録画」の「解像度」、「フレームレート」、「ビットレート」、「画質」、「リフレッシュ間隔」の設定は、H.264(2)で設定されていた値が最初に設定されます。H.264(2)で「リフレッシュ間隔」が「2 s」、「3 s」、「4 s」、「5 s」に設定されていた場合、「録画圧縮方式」を「H.264」に設定変更すると、「H.264 動画録画」の「リフレッシュ間隔」は、「1 s」が最初に設定されます。
- 「録画圧縮方式」を「H.264」に設定変更した場合、「ログ保存」（基本ページの[ログ]タブ→56 ページ）の設定も連動して切り換わります。
- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、アラーム画像の保存は、［アラーム］－［アラーム］タブの「プレアラーム」「ポストアラーム時間」の設定に従って動作します。
- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、保存するファイルのファイルの名称は自動で付与されます。

JPEG/H.264共通

[SDメモリーカード残容量通知]

メール通知機能や独自アラーム通知機能を使用してSDメモリーカードの残容量を通知する場合に、空き容量が何%になった場合に通知を開始するかを以下から選択します。
50%／20%／10%／5%／2%
初期設定：50%

お知らせ

- SDメモリーカード残容量通知は、設定した値以下の残容量値ごとに通知されます。
  例えば、「50%」に設定した場合、残容量が50 %、20 %、10 %、5 %、2 %になったときにそれぞれ通知します。通知するタイミングは多少ずれる場合があります。

[保存モード]

SDメモリーカードへ画像を保存する方法を以下から選択します。

- **FTP定期送信エラー時**：FTPサーバーへの定期送信が失敗したときに画像を保存します。JPEGのみ有効。
- **アラーム発生時**：アラームが発生したときに画像を保存します。
- **手動保存**：画像を手動で保存します。
- **スケジュール保存**：スケジュール設定（→137 ページ）に従って、画像を保存します。H.264のみ有効。

初期設定：FTP定期送信エラー時

お知らせ

- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「FTP定期送信エラー時」は設定できません。
- FTP定期送信機能を使用する場合、およびアラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信する場合は、「FTP定期送信エラー時」に設定してください。
- 「録画圧縮方式」が「JPEG」の場合、「スケジュール保存」は設定できません。

[上書き]

SDメモリーカードの空き容量が少なくなったときに、画像を上書きして保存するかどうかを設定します。
「保存モード」で「手動保存」または「スケジュール保存」が選択されている場合のみ設定できます。

- **上書きあり**：SDメモリーカードの空き容量が少なくなった場合、古い画像から上書きして繰り返し保存します。
- **上書きなし**：SDメモリーカードの空き容量がなくなった場合、SDメモリーカードへの保存を停止します。

初期設定：上書きなし

お知らせ

- 「保存モード」設定によって、上書きの設定が以下のようになります。
  - **FTP定期送信エラー時**：上書きされません。
  - **アラーム発生時**：上書きして保存されます。
  - **手動保存時、スケジュール保存時**：「上書き」で上書きあり／上書きなしを設定できます。

JPEG録画

SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「JPEG」に設定されている場合のみ設定できます。

[ファイル名]

SDメモリーカードへ画像を保存するときのファイル名を入力します。実際に保存されるときのファイル名は、以下のようになります。
ファイル名：入力したファイル名＋日時（年月日時分秒）＋連続番号
入力可能文字数：1～8文字

お知らせ

- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、保存するファイルのファイルの名称は自動で付与されます。
- 「保存モード」が「FTP定期送信エラー時」に設定されている場合は、ネットワークページの［FTP定期］タブで設定されているファイル名で保存されます。

[保存間隔・枚数　保存間隔]

「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合に、SDメモリーカードへ画像を保存するときの間隔を以下から選択します。
0.1fps／0.2fps／0.33fps／0.5fps／1fps
初期設定：1fps

[保存間隔・枚数　保存枚数]

アラームが発生したときに、SDメモリーカードへ保存するアラーム画像の枚数を以下から選択します。
10枚／20枚／30枚／50枚／100枚／200枚／300枚／500枚／1000枚／2000枚／3000枚
初期設定：100枚

お知らせ

- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「プレアラーム」、「ポストアラーム時間」は、［アラーム］タブの「H.264 動画録画」で設定されます。
- 「保存枚数」は「保存モード」が「アラーム発生時」に設定されている場合のみ設定できます。

[解像度]

「保存モード」を「手動保存」に設定し、かつ、「録画圧縮方式」が「JPEG」の場合に、SDメモリーカードへ保存する画像の解像度を以下から選択します。

- **「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合**
  QVGA／VGA／1280×960
- **「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合**
  320×180／640×360／1280×720

初期設定：VGA

お知らせ

- 「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定している場合、ネットワークページの［FTP定期］タブで設定した解像度で保存されます。
- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「解像度」は、［SDメモリーカード］タブの「H.264 動画録画」の「解像度」で設定されます。
- 「保存モード」を「アラーム発生時」に設定している場合、アラームページの［アラーム］タブで設定した解像度で保存されます。

H.264 動画録画

SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264」に設定されている場合のみ設定できます。
設定画面の上から2つ目の［設定］ボタンをクリックすると、下部に「H.264 動画録画」が表示されます。

[解像度]
H.264画像の解像度を以下から選択します。
- **「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合**
  QVGA／VGA
- **「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合**
  320×180／640×360

初期設定：VGA

[モード]
録画するH.264を固定ビットレート／フレームレート指定のどちらかに設定します。
- **固定ビットレート**：H.264画像を「ビットレート」で設定したビットレートで録画します。
- **フレームレート指定**：H.264画像を「フレームレート *」で設定したフレームレートで録画します。

初期設定：フレームレート指定

[フレームレート *]
録画するH.264のフレームレートを以下から設定します。
1fps／3fps／5fps *／7.5fps *／10fps *／15fps *／20fps *／30fps *
初期設定：30fps *

お知らせ
- 「フレームレート *」は、「モード」で「フレームレート指定」を選択したときのみ設定できます。
- 「フレームレート *」は、「ビットレート」に制限されます。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

[ビットレート]
録画するH.264のビットレートを以下から選択します。
64kbps／128kbps／256kbps／384kbps／512kbps／768kbps／1024kbps／1536kbps／2048kbps／3072kbps／4096kbps
初期設定：1536kbps

[画質]
録画するH.264の画質を以下から選択します。
動き優先／標準／画質優先
初期設定：標準

お知らせ
- 「モード」で「固定ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。

[リフレッシュ間隔]
録画するH.264をリフレッシュする間隔（Iフレーム間隔：0.2〜1秒）を以下から選択します。
0.2s ／0.25s ／ 0.33s ／ 0.5s ／ 1s
初期設定：1s

SDメモリーカード情報

[容量表示]
SDメモリーカードの残容量と総容量が表示されます。
SDメモリーカードの状態によって、次のように表示される場合があります。

表示内容	説明
--------KB/--------KB	SDメモリーカードを挿入していない。その他、読み取りエラーにより残容量を取得できない。
********KB/********KB	SDメモリーカードがフォーマットされていない、またはロックされている。

お知らせ

- 「上書き」が「上書きなし」に設定されているときや、SDメモリーカードの残容量が「0 KB」になると、SDメモリーカードに画像が保存されません。通知機能を使用すると、SDメモリーカードの空き容量がなくなったときに、設定したメールアドレスや独自アラーム通知先に通知することができます。(→89 ページ、90 ページ)

[フォーマット]

SDメモリーカードをフォーマットする場合は、[実行] ボタンをクリックします。

重要

- フォーマットを実行する前に、基本ページの「SDメモリーカード」を「使用する」(→42 ページ)、ネットワークページの「FTP定期送信」を「Off」(→133 ページ)に設定してください。
- SDメモリーカードは、必ず [SDメモリーカード] タブでフォーマットしてから使用してください。[SDメモリーカード] タブ以外でフォーマットした場合、以下の機能が正常に動作しないことがあります。
  - FTP定期送信に失敗した画像の保存／取得
  - アラーム発生時の画像の保存／取得
  - 手動保存時の画像の保存／取得
  - スケジュール機能による画像の保存／取得
  - アラームログ、手動／スケジュール保存ログ、FTP定期送信エラーログ、システムログの保存／取得
  - 弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使った画像の保存／取得
  - SDメモリーカード内の画像の再生／ダウンロード
- フォーマットを実行したときに、他のユーザーが操作中の場合、その操作が中断されます。
- フォーマット中は、SDメモリーカードに書き込みできません。
- フォーマットを実行すると、SDメモリーカードに保存されていたデータはすべて消去されます。
- フォーマット中は、本機の電源を切らないでください。
- 「録画圧縮方式」の設定を変更した場合、SDメモリーカードをフォーマットすることをお勧めします。
- フォーマット後は、SDメモリーカード内に、動作するために必要な初期ディレクトリーが作成されるため、残容量は総容量よりも少なく表示されます。
- 推奨SDメモリーカード
  パナソニック株式会社製(別売り)
  SDHCメモリーカード:4 GB、8 GB、16 GB、32 GB
  SDメモリーカード:256 MB、512 MB、1 GB、2 GB(miniSDカード、microSDカードは除く)

- SDメモリーカードはお買い上げ時の状態が、SD規格準拠でフォーマットされているものを使用してください。

SDメモリーカード画像取得

[画像取得]

SDメモリーカードから画像を取得します。[実行] ボタンをクリックします。画像の取得のしかたについて詳しくは49 ページをお読みください。

2.3.3 SDメモリーカード内の画像をPCに保存する [SDメモリーカード画像取得] (DG-SW155／DG-SW155M)

基本ページの [SDメモリーカード] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：34 ページ、35 ページ)

ここでは、SDメモリーカードに保存した画像をPCに保存する方法を説明します。あらかじめ、ネットワークページの [ネットワーク] タブにある「カメラへのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。(→103 ページ)

重要

- 他のユーザーがSDメモリーカードから画像を取得しているときは、操作できないことがあります。しばらくしてから画像取得を実行してください。
- インターネット経由で画像取得を行う場合、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、画像取得の操作ができないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 「画像取得」の [実行] ボタンをクリックします。

→ ユーザー認証画面が表示されます。

2 本機の管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

→ SDメモリーカード内の画像が保存されているフォルダーが表示されます。

お知らせ

- 画像を取得するために本機のFTPサーバーにログインすると、SDメモリーカードをBドライブに割り当てます。
  「保存モード」の設定に応じて、それぞれのディレクトリーに画像が保存されています。
  それぞれのディレクトリーに移動して画像を取得してください。
  ディレクトリー構造について詳しくは、160 ページをお読みください。

SDメモリーカードへの保存可能枚数（目安）：JPEG保存時

重要

- 下記の表の保存枚数は、目安であり実際に保存できる枚数を保証するものではありません。保存できる枚数は、被写体により変わります。

解像度：1280×960

単位：枚

SDメモリーカードの容量	画質				
	0 最高画質	1 高画質	2	3	4
32GB	64 000	80 000	96 000	112 000	128 000
16GB	32 000	40 000	48 000	56 000	64 000
8GB	16 000	20 000	24 000	28 000	32 000
4GB	8 000	10 000	12 000	14 000	16 000
2GB	4 000	5 000	6 000	7 000	8 000
1GB	2 000	2 500	3 000	3 500	4 000
512MB	1 000	1 250	1 500	1 750	2 000
256MB	500	625	750	875	1 000

SDメモリーカードの容量	画質				
	5 標準	6	7	8	9 低画質
32GB	160 000	224 000	256 000	288 000	320 000
16GB	80 000	112 000	128 000	144 000	160 000
8GB	40 000	56 000	64 000	72 000	80 000
4GB	20 000	28 000	32 000	36 000	40 000
2GB	10 000	14 000	16 000	18 000	20 000
1GB	5 000	7 000	8 000	9 000	10 000
512MB	2 500	3 500	4 000	4 500	5 000
256MB	1 250	1 750	2 000	2 250	2 500

解像度：1280×720

単位：枚

SDメモリーカードの容量	画質				
	0 最高画質	1 高画質	2	3	4
32GB	76 800	102 400	128 000	140 800	166 400
16GB	38 400	51 200	64 000	70 400	83 200
8GB	19 200	25 600	32 000	35 200	41 600
4GB	9 600	12 800	16 000	17 600	20 800
2GB	4 800	6 400	8 000	8 800	10 400
1GB	2 400	3 200	4 000	4 400	5 200
512MB	1 200	1 600	2 000	2 200	2 600
256MB	600	800	1 000	1 100	1 300

SDメモリーカードの容量	画質				
	5 標準	6	7	8	9 低画質
32GB	230 400	294 400	358 400	384 000	409 600
16GB	115 200	147 200	179 200	192 000	204 800
8GB	57 600	73 600	89 600	96 000	102 400
4GB	28 800	36 800	44 800	48 000	51 200
2GB	14 400	18 400	22 400	24 000	25 600
1GB	7 200	9 200	11 200	12 000	12 800
512MB	3 600	4 600	5 600	6 000	6 400
256MB	1 800	2 300	2 800	3 000	3 200

解像度：VGA

単位：枚

SDメモリーカードの容量	画質				
	0 最高画質	1 高画質	2	3	4
32GB	160 000	224 000	256 000	288 000	320 000
16GB	80 000	112 000	128 000	144 000	160 000
8GB	40 000	56 000	64 000	72 000	80 000
4GB	20 000	28 000	32 000	36 000	40 000
2GB	10 000	14 000	16 000	18 000	20 000
1GB	5 000	7 000	8 000	9 000	10 000
512MB	2 500	3 500	4 000	4 500	5 000
256MB	1 250	1 750	2 000	2 250	2 500

SDメモリーカードの容量	画質				
	5 標準	6	7	8	9 低画質
32GB	352 000	416 000	448 000	480 000	512 000
16GB	176 000	208 000	224 000	240 000	256 000
8GB	88 000	104 000	112 000	120 000	128 000
4GB	44 000	52 000	56 000	60 000	64 000
2GB	22 000	26 000	28 000	30 000	32 000
1GB	11 000	13 000	14 000	15 000	16 000
512MB	5 500	6 500	7 000	7 500	8 000
256MB	2 750	3 250	3 500	3 750	4 000

解像度：640×360

単位：枚

SDメモリーカードの容量	画質				
	0 最高画質	1 高画質	2	3	4
32GB	192 000	281 600	332 800	358 400	409 600
16GB	96 000	140 800	166 400	179 200	204 800
8GB	48 000	70 400	83 200	89 600	102 400
4GB	24 000	35 200	41 600	44 800	51 200
2GB	12 000	17 600	20 800	22 400	25 600
1GB	6 000	8 800	10 400	11 200	12 800
512MB	3 000	4 400	5 200	5 600	6 400
256MB	1 500	2 200	2 600	2 800	3 200

SDメモリーカードの容量	画質				
	5 標準	6	7	8	9 低画質
32GB	499 200	537 600	627 200	640 000	652 800
16GB	249 600	268 800	313 600	320 000	326 400
8GB	124 800	134 400	156 800	160 000	163 200
4GB	62 400	67 200	78 400	80 000	81 600
2GB	31 200	33 600	39 200	40 000	40 800
1GB	15 600	16 800	19 600	20 000	20 400
512MB	7 800	8 400	9 800	10 000	10 200
256MB	3 900	4 200	4 900	5 000	5 100

解像度：QVGA

単位：枚

SDメモリーカードの容量	画質				
	0 最高画質	1 高画質	2	3	4
32GB	384 000	416 000	432 000	448 000	480 000
16GB	192 000	208 000	216 000	224 000	240 000
8GB	96 000	104 000	108 000	112 000	120 000
4GB	48 000	52 000	54 000	56 000	60 000
2GB	24 000	26 000	27 000	28 000	30 000
1GB	12 000	13 000	13 500	14 000	15 000
512MB	6 000	6 500	6 750	7 000	7 500
256MB	3 000	3 250	3 375	3 500	3 750

SDメモリーカードの容量	画質				
	5 標準	6	7	8	9 低画質
32GB	512 000	576 000	608 000	640 000	672 000
16GB	256 000	288 000	304 000	320 000	336 000
8GB	128 000	144 000	152 000	160 000	168 000
4GB	64 000	72 000	76 000	80 000	84 000
2GB	32 000	36 000	38 000	40 000	42 000
1GB	16 000	18 000	19 000	20 000	21 000
512MB	8 000	9 000	9 500	10 000	10 500
256MB	4 000	4 500	4 750	5 000	5 250

解像度：320×180

単位：枚

SDメモリーカードの容量	画質				
	0 最高画質	1 高画質	2	3	4
32GB	460 800	524 800	563 200	576 000	614 400
16GB	230 400	262 400	281 600	288 000	307 200
8GB	115 200	131 200	140 800	144 000	153 600
4GB	57 600	65 600	70 400	72 000	76 800
2GB	28 800	32 800	35 200	36 000	38 400
1GB	14 400	16 400	17 600	18 000	19 200
512MB	7 200	8 200	8 800	9 000	9 600
256MB	3 600	4 100	4 400	4 500	4 800

SDメモリーカードの容量	画質				
	5 標準	6	7	8	9 低画質
32GB	729 600	755 200	793 600	844 800	857 600
16GB	364 800	377 600	396 800	422 400	428 800
8GB	182 400	188 800	198 400	211 200	214 400
4GB	91 200	94 400	99 200	105 600	107 200
2GB	45 600	47 200	49 600	52 800	53 600
1GB	22 800	23 600	24 800	26 400	26 800
512MB	11 400	11 800	12 400	13 200	13 400
256MB	5 700	5 900	6 200	6 600	6 700

2.3.4 ログリストを設定する［ログ］（DG-SW155／DG-SW155M）

基本ページの［ログ］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
ここでは、ログリストに関する設定を行います。

アラーム

アラームログリストに関する設定を行います。

[ログ保存]

アラームログを保存するかどうかをOn／Offで設定します。
On：アラームログが保存されます。
Off：アラームログが保存されません。
初期設定：On

お知らせ

- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「保存モード」の設定により、「ログ保存」の「On」、「Off」が設定されます。
- 「録画圧縮方式」が「H.264」、かつ「保存モード」が「アラーム発生時」に設定されている場合、アラームログのみが保存されます。

[画像ダウンロード先のディレクトリー名]

ログに関連付けした画像をダウンロードするPCのディレクトリー名を入力します。
例えば、Cドライブのalarmディレクトリーを指定する場合は、「C:¥alarm」と入力します。
入力可能文字数：3～128文字
入力可能文字：半角英数字、半角記号¥ : / _

手動/スケジュール保存

手動／スケジュール保存ログリストに関する設定を行います。
On／Offを選択し、アラームと同様にダウンロード先フォルダーを指定します。

お知らせ

- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「保存モード」の設定により、「ログ保存」の「On」、「Off」が設定されます。

- スケジュール保存は「録画圧縮方式」が「H.264」の場合のみ使用することができます。

FTP定期送信エラー

FTP送信エラーログリストに関する設定を行います。
On／Offを選択し、アラームと同様にダウンロード先フォルダーを指定します。

重要

- ネットワークページの［FTP定期］タブで「ファイル名」を「ファイル名を固定」に設定していると、FTP定期送信エラーログに関連した画像が保存されません。保存するためには、「ファイル名」を「ファイル名＋日時」に設定してください。(→132 ページ)

お知らせ

- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「FTP定期送信エラー」は設定できません。

2.3.4.1 アラームのログと画像の保存関係について（DG-SW155／DG-SW155M）

［ログ］タブ	［SDメモリーカード］タブ		アラームのログと画像
アラーム：ログ保存	SDメモリーカード	保存モード	
On	使用する	アラーム発生時	**ログ**：最大5000件まで保存されます。5000件を超えると、古いログから上書きされます。 **画像**：保存されます。SDメモリーカードの残容量が少なくなると、古い画像から上書きされます。
		上記以外	**ログ**：最大5000件まで保存されます。5000件を超えると、古いログから上書きされます。 **画像**：保存されません。
	使用しない	-	**ログ**：最大1000件まで保存されます。1000件を超えると、古いログから上書きされます。電源を切るとログは消去されます。 **画像**：保存されません。
Off	使用する	アラーム発生時	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されます。SDメモリーカードの残容量が少なくなると、古い画像から上書きされます。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（→49 ページ）してから表示してください。
		上記以外	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。
	使用しない	-	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。

2.3.4.2 手動／スケジュール保存のログと画像の保存関係について（DG-SW155／DG-SW155M）

［ログ］タブ	［SDメモリーカード］タブ			手動／スケジュール保存のログと画像
手動／スケジュール：ログ保存	**SDメモリーカード**	**保存モード**	**上書き**	
On	使用する	手動保存またはスケジュール保存	上書きあり	**ログ**： 最大5000件まで保存されます。5000件を超えると、古いログから上書きされます。 **画像**：保存されます。SDメモリーカードの残容量が少なくなると、古い画像から上書きされます。
			上書きなし	**ログ**：最大5000件まで保存されます。5000件を超えたログは保存されません。SDメモリーカードの残容量がなくなって画像が保存されない状態でもログは5000件まで保存されます。 **画像**： 保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが5000件に到達すると、画像は保存されなくなります。
		上記以外	-	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。
	使用しない	-	-	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。
Off	使用する	手動保存またはスケジュール保存	上書きあり	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されます。SDメモリーカードの残容量が少なくなると、古い画像から上書きされます。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（→49 ページ）してから表示してください。
			上書きなし	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（→49 ページ）してから表示してください。
		上記以外	-	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。
	使用しない	-	-	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。

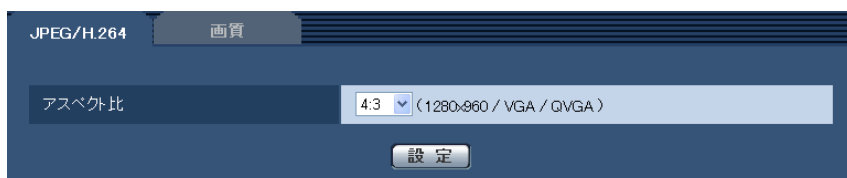
2.3.4.3 FTP定期送信エラーのログと画像の保存関係について（DG-SW155／DG-SW155M）

[ログ] タブ	[SDメモリーカード] タブ		FTP定期送信エラーのログと画像
FTP定期送信エラー：ログ保存	**SDメモリーカード**	**保存モード**	
On	使用する	FTP定期送信エラー時	**ログ**：最大5000件まで保存されます。5000件を超えたログは保存されません。SDメモリーカードの残容量がなくなって画像が保存されない状態でもログは5000件まで保存されます。 **画像**：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。
		上記以外	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。
	使用しない	-	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。
Off	使用する	FTP定期送信エラー時	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（→49 ページ）してから表示してください。
		上記以外	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。
	使用しない	-	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。

2.4 画像に関する設定を行う［カメラ］

カメラページでは、JPEG画像、H.264画像の設定や、画質に関する設定を行います。
カメラページは、［JPEG/H.264］タブ、［画質］タブで構成されています。

2.4.1 アスペクト比を設定する［JPEG/H.264］

カメラページの［JPEG/H.264］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作のしかた：34 ページ、35 ページ）

- **［アスペクト比］**
  アスペクト比を4:3／16:9のどちらかに設定します。
  初期設定：4:3

  お知らせ
  - 弊社の他のi-PROシリーズでは、特に明記されていない限り、「16:9」には対応しておりません（2011年5月現在）。
  - 画質調整機能は、「アスペクト比」を「16:9」に設定していても、アスペクト比4：3の画角を対象に動作します。逆光補正（BLC）機能のマスクエリアを設定する場合は、「アスペクト比」を「4:3」の撮像モードに切り換えて設定することをお勧めします。
  - 「VIQS」を「On」にしている場合、「アスペクト比」を「4:3」から「16:9」に変更したあとに、必ず、VIQS設定が最大指定範囲を超えていないかを確認してください。

2.4.2 JPEG画像を設定する［JPEG/H.264］

カメラページの［JPEG/H.264］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作のしかた：34 ページ、35 ページ）

JPEG

ここでは、「画像更新速度 *」、「解像度」、「画質選択」を設定します。H.264画像に関する設定については62 ページをお読みください。

ライブ画(初期表示)

ここでは、ライブ画に表示されるJPEG画像を設定します。

[画像更新速度 *]

JPEG画像を更新する速度を以下から選択します。

0.1fps／0.2fps／0.33fps／0.5fps／1fps／2fps／3fps／5fps／6fps *／10fps *／15fps *／30fps *

初期設定：5fps

お知らせ

- 「H.264配信」を「On」に設定して、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

[解像度]

ライブ画ページでJPEG画像を表示する際、最初に表示する画像の解像度を以下から選択します。

- **「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合**
  QVGA／VGA／1280×960[*1]
- **「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合**
  320×180／640×360／1280×720[*1]

初期設定：1280×960 SW155 SF135 ／VGA SF132

[画質選択]

ライブ画ページでJPEG画像を表示する際、最初に表示する画像の画質を画質１、画質２から設定します。

初期設定：画質1

画質設定

それぞれの解像度におけるJPEG画像の画質を２種類設定します。

0 最高画質／1 高画質／2／3／4／5 標準／6／7／8／9 低画質

初期設定：

画質1の場合：5 標準

画質2の場合：8

FTP定期送信、メール添付、SDメモリー録画 SW155 のJPEG画像は画質１の設定になります。

---

*1 SW155 SF135

2.4.3 H.264画像に関する設定を行う［JPEG/H.264］

カメラページの［JPEG/H.264］タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：34 ページ、35 ページ)

ここでは、H.264画像の「1クライアントあたりのビットレート *」、「解像度」、「画質」などを設定します。
JPEG画像に関する設定については61 ページをお読みください。

H.264(1)・H.264(2)

[H.264配信]

H.264画像を配信するかどうかをOn／Offで設定します。
On：H.264画像を配信します。
Off：H.264画像を配信しません。
初期設定：On

お知らせ

- 「H.264(1)」または、「H.264(2)」の「H.264配信」を「On」に設定した場合は、ライブ画ページでH.264画像とJPEG画像の両方を表示することができます。
- 「H.264(1)」および「H.264(2)」の「H.264配信」をともに「On」に設定した場合は、その他接続機器を用いてそれぞれの設定でH.264画像を閲覧できます。
- 「H.264(1)」または「H.264(2)」の「H.264配信」を「On」に設定した場合は、JPEG画像の画像更新速度が低下することがあります。

SW155 :

- SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「H.264(2)」の配信はできません。その場合、「H.264(2)」の設定は、無効になります。

[インターネットモード(over HTTP)]

H.264画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでH.264画像を配信することができます。
On：HTTPポートを使用してH.264画像を配信します。HTTPポート番号の設定については103 ページをお読みください。
Off：UDPポートを使用してH.264画像を配信します。
初期設定：Off

お知らせ

- 「On」に設定すると、配信方式は「ユニキャスト(ポート番号設定:オート)」に制限されます。
- 「On」に設定すると、H.264画像が表示されるまでに数秒かかります。
- 「On」に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数などによっては、H.264画像が表示されない場合があります。
- 「On」に設定すると、IPv4アクセスのみに制限されます。

[解像度]

H.264画像の解像度を以下から選択します。

- **「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合**
  H.264(1)：QVGA／VGA／1280×960*1
  H.264(2)：QVGA／VGA
- **「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合**
  H.264(1)：320×180／640×360／1280×720*1
  H.264(2)：320×180／640×360

初期設定：
H.264(1)：1280×960 SW155 SF135 ／VGA SF132
H.264(2)：VGA

[配信モード]

H.264画像の配信モードを以下から設定します。
固定ビットレート：H.264画像を「1クライアントあたりのビットレート *」で設定したビットレートで配信します。
フレームレート指定：H.264画像を「フレームレート *」で設定したフレームレートで配信します。
ベストエフォート配信：ネットワークの帯域に応じて、H.264画像を「1クライアントあたりのビットレート *」で設定した最大、最小ビットレートの間でビットレートを可変して配信します。
初期設定：フレームレート指定

お知らせ

- 「配信モード」を「フレームレート指定」に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。

[フレームレート *]

H.264画像のフレームレートを以下から設定します。
1fps／3fps／5fps *／7.5fps *／10fps *／15fps *／20fps *／30fps *
初期設定：30fps *

お知らせ

- 「配信モード」で「フレームレート指定」を選択したときのみ設定できます。
- 「フレームレート *」は、「1クライアントあたりのビットレート *」に制限されます。「 *」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

[1クライアントあたりのビットレート*]

1クライアントに対するH.264ビットレートを以下から選択します。
「配信モード」で「ベストエフォート配信」を選択している場合は、最大、最小を設定します。
64kbps／128kbps *／256kbps *／384kbps *／512kbps *／768kbps *／1024kbps *／1536kbps *／2048kbps *／3072kbps *／4096kbps *／8192kbps *／制限なし *
初期設定：
H.264(1)：4096kbps *
H.264(2)：1536kbps *
※8192 kbps *は1280×960または、1280×720設定時のみ SW155 SF135
※128 kbps *はQVGA、VGAまたは、320×180、640×360設定時のみ
※64 kbpsはQVGA、VGAまたは、320×180、640×360設定時のみ
※制限なし *は「配信モード」で「フレームレート指定」を設定時のみ

お知らせ

- 「8192kbps *」または「制限なし *」に設定すると、H.264画像にアクセスできるユーザー数が1人に制限されます。
- H.264ビットレートは、ネットワークページの［ネットワーク］タブにある「配信量制御(ビットレート)」に制限されます（→103 ページ）。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。
- 「H.264(1)」と「H.264(2)」の両方を「制限なし *」に設定することはできません。

[画質]

H.264画像の画質を以下から選択します。
動き優先／標準／画質優先
初期設定：標準

お知らせ

- 「配信モード」で「固定ビットレート」または「ベストエフォート配信」を選択しているときのみ設定できます。

[リフレッシュ間隔]

H.264画像をリフレッシュする間隔（Iフレーム間隔：0.2～5秒）を以下から選択します。
ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短く設定すると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新速度が低下することがあります。
0.2s／0.25s／0.33s／0.5s／1s／2s／3s／4s／5s

初期設定：1s

[配信方式]

H.264画像の配信方式を以下から選択します。

- **ユニキャスト(ポート番号設定:オート)：**
  1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。本機から画像を送信する場合、「ユニキャストポート番号」が自動的に設定されます。ネットワーク内で使用する場合など、H.264画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、「ユニキャスト(ポート番号設定:オート)」に設定することをお勧めします。
- **ユニキャスト(ポート番号設定:マニュアル)：**
  1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。カメラから画像を送信する場合、「ユニキャストポート番号」を手動で設定する必要があります。
  インターネット経由でH.264画像を配信する場合、ブロードバンドルーター（以下、ルーター）に設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください（→103 ページ）。詳しくは使用するルーターの取扱説明書をお読みください。
- **マルチキャスト：**
  1台のカメラに人数の制限なしに同時にアクセスできます。マルチキャストでH.264画像を送信する場合は、「マルチキャストアドレス」、「マルチキャストポート番号」、「マルチキャストTTL/HOPLimit」を入力します。

※最大同時アクセス数については、7 ページをお読みください。
初期設定：ユニキャスト(ポート番号設定:オート)

[ユニキャストポート番号] *2

ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。
設定可能ポート番号：1024～50000（偶数のみ設定可能）
初期設定：
H.264(1)：32004
H.264(2)：32014

[マルチキャストアドレス] *3

マルチキャストのIPアドレスを入力します。
指定したIPアドレスに画像を送信します。
IPv4設定可能範囲：224.0.0.0～239.255.255.255
IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス
初期設定：
H.264(1)：239.192.0.20
H.264(2)：239.192.0.21

お知らせ

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。

[マルチキャストポート番号] *3

マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。
設定可能ポート番号：1024～50000（偶数のみ設定可能）
初期設定：37004

[マルチキャストTTL/HOPLimit] *3

マルチキャストのTTL/HOPLimit値を入力します。
設定可能値：1～254

初期設定：16

重要

- インターネット経由でH.264画像を配信する場合は、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 複数のLANカードが入っているPCを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使用しないLANカードを無効にしてください。

---

*1 SW155 SF135

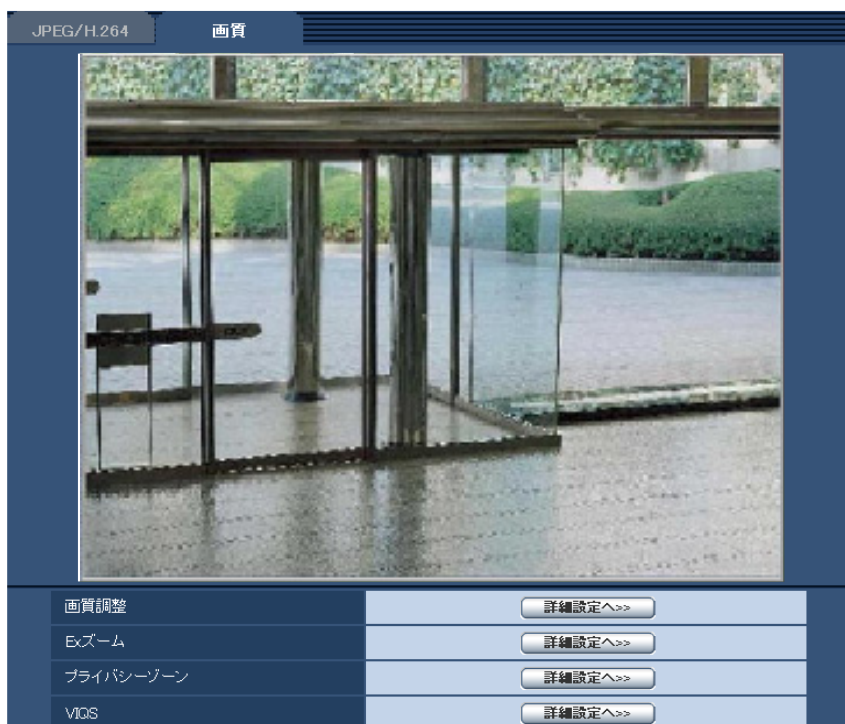
*2 「配信方式」の「ユニキャスト(ポート番号設定:マニュアル)」が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。

*3 「配信方式」の「マルチキャスト」が選択されている場合、マルチキャストIPアドレスを設定する必要があります。

2.4.4 画質調節、Exズーム（DG-SW155／DG-SW155M／DG-SF135)、プライバシーゾーン、VIQSを設定する［画質］

カメラページの［画質］タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：34 ページ、35 ページ)

各項目の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が別ウインドウで表示され、［画質］タブに表示されている画像を見ながら設定を行うことができます。

ここでは、画質調節、Exズーム SW155 SF135、プライバシーゾーン、VIQSを設定できます。

- **［画質調整］**
  ［詳細設定へ>>］ボタンをクリックすると、画質に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→68 ページ)

- **[Exズーム]** SW155 SF135
  ［詳細設定へ＞＞］ボタンをクリックすると、Exズームの設定画面が別ウインドウで表示されます。
  (→76 ページ)
- **[プライバシーゾーン]**
  ［詳細設定へ＞＞］ボタンをクリックすると、プライバシーゾーンに関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→77 ページ)
- **[VIQS]**
  ［詳細設定へ＞＞］ボタンをクリックすると、VIQSに関する設定画面が別ウインドウで表示されます。
  (→77 ページ)

2.4.4.1 画質の調整を行う（画質調整画面）

カメラページの［画質］タブで、「画質調整」の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックします。(→67 ページ)

画質の設定は別ウインドウで表示された設定画面で行います。値を変更すると、［画質］タブに表示されている画像にも、変更した内容が反映されます。

- **［スーパーダイナミック］** SW155
  スーパーダイナミック機能を働かせるかどうかをOn／Offで設定します。
  スーパーダイナミックについて詳しくは下記をお読みください。
  On：スーパーダイナミック機能を働かせます。
  Off：スーパーダイナミック機能を停止します。
  初期設定：On

お知らせ

- 照明の条件によって次のような現象が見られるときは、「スーパーダイナミック」を「Off」に設定してください。
  - 画面のちらつきや色の変化が生じる場合
  - 画面上の明るい部分にノイズが生じる場合
- 「光量制御モード」を「フリッカレス(60Hz)」、「フリッカレス(50Hz)」または「ELC(1/30s)」に設定しているときのみ設定できます。

スーパーダイナミックとは

撮影する場所の明るい部分と暗い部分の差が大きいと、カメラは明るい部分に合わせてレンズの絞りを設定してしまうため、暗い部分が見えなくなってしまいます。逆に暗い部分にレンズの絞りを合わせると、明るい部分が見えなくなってしまいます。
この明暗差の大きな被写体の明るい部分がよく見える映像と、暗い部分がよく見える映像をデジタル処理で合成し、明るい部分も暗い部分も忠実に再現する機能をスーパーダイナミックといいます。

- **［顔連動制御］** SW155
  顔連動制御設定では、人物の顔が暗くて見えにくい場合などに、顔検出機能とスーパーダイナミックを連動させて、画像の顔部分を明るく見やすく補正することができます。
  スーパーダイナミック機能を働かせるときに、顔連動制御を有効にするかどうかをOn／Offで設定します。
  On：顔連動制御を働かせます。
  Off：顔連動制御を停止します。
  初期設定：Off

  お知らせ

  - 「スーパーダイナミック」が「Off」の場合は、顔連動制御は働きません。

- **［暗部補正］**

暗部補正機能を有効にするかどうかをOn／Offで設定します。暗部補正機能を使用すると、画像の暗い部分をデジタル画像処理によってより明るくすることができます。
※「スーパーダイナミック」を「On」に設定した場合は設定できません。SW155

On：暗部補正機能を有効にします。
Off：暗部補正機能を停止します。
初期設定：Off

重要

- 「暗部補正」を「On」に設定すると暗い部分のノイズが増えることがあり、また暗い部分と明るい部分の境界付近が、他の暗い部分・明るい部分よりも暗く、または明るく表示されることがあります。

- **[逆光補正(BLC)]**
  逆光補正（BLC）機能を有効にするかどうかをOn／Offで設定します。
  ※「スーパーダイナミック」を「On」に設定した場合は設定できません。SW155
  逆光補正機能は、画像のより明るい部分をマスクエリアとして設定することで逆光を補正します。
  On：マスクエリアが自動で設定されます。
  Off：マスクエリアは自動で設定されません。マスクエリアを手動で設定する必要があります。
  初期設定：Off
- **[マスクエリア]**
  「スーパーダイナミック」SW155 と「逆光補正(BLC)」を「Off」に設定すると、画像の明るい部分にマスクをかけて、逆光を補正できます。
  マスクエリアの設定方法については、74 ページをお読みください。
- **[光量制御モード]**
  光量制御を行うモードを以下から選択します。
  フリッカレス(50Hz)／フリッカレス(60Hz)：蛍光灯によるフリッカー（ちらつき）を自動補正します。地域によって50 Hz／60 Hzを使い分けます。
  ELC(最長露光時間)：シャッター速度を最長露光時間までの範囲で可変させ、自動的に明るさ制御を行います。
  ELC(1/30s)／ ELC(3/100s)／ELC(3/120s)／ ELC(2/100s)／ELC(2/120s)／ELC(1/100s)／ELC(1/120s)／ ELC(1/250s)／ELC(1/500s)／ ELC(1/1000s)／ELC(1/2000s)／ ELC(1/4000s)／ELC(1/8000s) SF132 ／ELC(1/10000s) SW155 SF135
  初期設定：ELC(1/30s)

お知らせ

- 最長露光時間を短くすると、動きの速い被写体でもぼけにくくなります。
- 最長露光時間を短くすると、感度が落ちます。
- 最長露光時間の設定によっては、フリッカーが発生する場合があります。
  フリッカーが発生した場合、
  電源周波数が50 Hzのときは、ELC(3/100s)、ELC(2/100s)、ELC(1/100s)、
  電源周波数が60 Hzのときは、ELC(3/120s)、ELC(2/120s)、ELC(1/120s)、
  に設定すると改善されます。さらにフリッカーが残る場合はフリッカレス設定にしてください。
- フリッカレス設定においても、非常に明るい照明下ではフリッカーが発生する場合があります。また、「明るさ」ボタンで画面を暗く設定するとフリッカーが発生しやすくなります。
- フリッカレス設定、ELC（1/2000 s）以下の設定では、「明るさ」ボタンをクリックしても画面の明るさが変化しない場合があります。

- フリッカーが発生した場合は、以下の方法によりフリッカーが軽減される場合があります。
  – カメラの向きを変えて被写体の明るさを抑える
  – 「明るさ」ボタンをより明るく設定する

SW155 :

- 「スーパーダイナミック」を「On」に設定している場合、「フリッカレス(60Hz)」、「フリッカレス(50Hz)」または「ELC(1/30s)」のみ設定できます。

- **[ゲイン]**
  ゲインの調節方法を以下から選択します。
  On(High)／On(Mid)／On(Low)：被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインが上がり画面を明るくします。() 内のHigh／Mid／Lowはゲインのレベルです。
  Off：ゲインを常に固定した状態で撮影します。
  初期設定：On(High)
- **[オートスローシャッター]**
  オートスローシャッターは、センサーの蓄積時間を調整して電子感度アップを行います。
  設定できる値は以下のとおりです。
  - SW155 SF135
  Off(1/30s)／最大2/30s／最大4/30s／最大6/30s／最大10/30s／最大16/30s
  - SF132
  Off(1/30s)／最大2/30s／最大3/30s／最大4/30s／最大8/30s
  初期設定：Off(1/30s)

重要

- 「オートスローシャッター」を設定すると、フレームレートが下がります。また、画像内にノイズおよび白い点（傷）が見える場合があります。

お知らせ

- 「ゲイン」を「Off」に設定した場合や、「ELC(最長露光時間)」を「ELC(1/30s)」以外の設定にした場合は、「オートスローシャッター」が「Off(1/30s)」に設定されます。

SW155 SF135 :

- 「最大16/30s」に設定すると、16倍までの間で自動的に電子感度を上げます。[ゲイン] を「Off」に設定した場合は設定できません。

SF132 :

- 「最大8/30s」に設定すると、8倍までの間で自動的に電子感度を上げます。

- **[簡易白黒切換]**
  白黒画像とカラー画像の切り換え方法を以下から選択します。
  Off：カラー画像が選択されます。
  Auto：カメラの周囲の明るさ（照度）が約4 lx以下 SF132 ／約2 lx以下 SW155 SF135 で白黒映像に切り換えます。なお、画像が切り換わるまでに、時間がかかります。
  初期設定：Off
- **[ホワイトバランス]**
  ホワイトバランスの調節方法を以下から選択します。
  Rボリューム（赤色の調節）またはBボリューム（青色の調節）で白の色合いを調節します。
  ATW1：自動色温度追尾モードに設定します。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調節します。動作範囲は約2700 K～6000 Kです。

ATW2：ナトリウム灯下での自動色温度追尾モードに設定します。ナトリウム灯下でカメラがホワイトバランスを自動調整します。動作範囲は約2000 K〜6000 Kです。
AWC：自動ホワイトバランスコントロールモードに設定します。光源が固定されるため、光源が変化しない場所での撮影に適しています。動作範囲は約2000 K〜10000 Kです。
初期設定：ATW1

お知らせ

- 以下の条件に該当する場合は、忠実に色を再現できないことがあります。この場合は「AWC」に設定してください。
  - 大部分が濃い色の被写体
  - 抜けるような青空および夕暮れ時の太陽
  - 照度が低すぎる被写体
- 「AWC」を選択した場合は、［設定］ボタンをクリックしてください。

- **［Rボリューム］**
  画像の赤色を調節します。
  カーソルを「＋」方向に動かすと、赤色は濃くなります。カーソルを「－」方向に動かすと、赤色は薄くなります。［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
  初期設定：128
- **［Bボリューム］**
  画像の青色を調節します。
  カーソルを「＋」方向に動かすと、青色は濃くなります。カーソルを「－」方向に動かすと、青色は薄くなります。［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
  初期設定：128
- **［デジタル・ノイズ・リダクション］**
  デジタルノイズリダクション機能を使用すると、低照度時、自動的にノイズを低減します。ここでは、デジタルノイズリダクションの効果のレベルをHigh／Lowで設定します。
  High：効果大ですが、残像が多くなります。
  Low：効果小ですが、残像は少なくなります。
  初期設定：High
- **［クロマレベル］**
  クロマレベル（色の濃さ）を調節します。
  カーソルを「＋」方向に動かすと、色は全体に濃くなります。カーソルを「－」方向に動かすと、色は全体に薄くなります。［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
  初期設定：128
- **［アパーチャレベル］**
  アパーチャレベル（輪郭補正）を調節します。
  カーソルを「＋」の方向に動かすとシャープな画像になり、「－」の方向に動かすとソフトな画像になります。［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
  初期設定：16
- **［ペデスタルレベル］**
  カーソルを動かして画像の黒レベルを調節します。
  カーソルを「＋」方向に動かすと、画像は明るくなります。カーソルを「－」方向に動かすと、画像は暗くなります。［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
  初期設定：128
- **［閉じる］ボタン**
  画質調整画面を閉じます。

2.4.4.2 マスクエリアを設定する

「スーパーダイナミック」 SW155 と「逆光補正(BLC)」を「Off」に設定すると、画像の明るい部分にマスクをかけて、逆光を補正できます。

1 画質調整設定画面を表示します。(→67 ページ)

2 「マスクエリア」の［開始］ボタンをクリックします。

→ 境界線が表示され、［画質］タブ上に表示された画像が48（6×8） SW155 SF135 ／16（4×4） SF132 に分割されます。

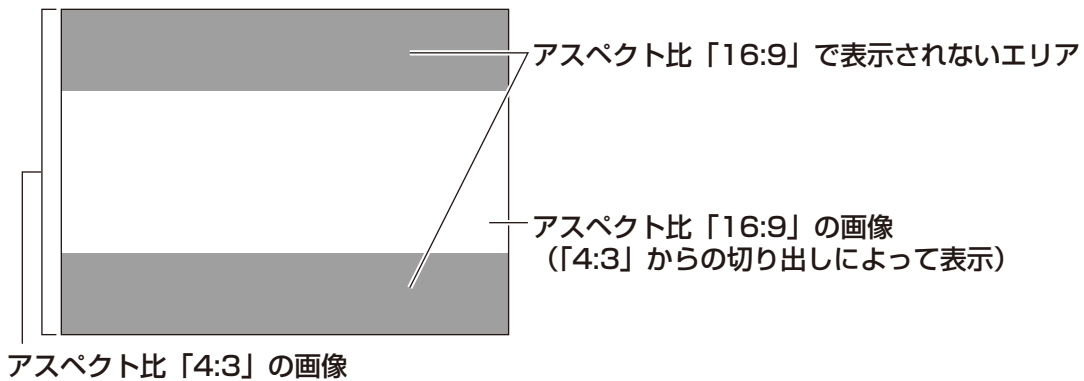
3 マスクをかける分割エリアをクリックします。

→ クリックした枠がマスクエリアに設定され、白色になります。マスクを解除するには、マスクエリアを再度クリックします。

4 マスクエリアを設定したら、［終了］ボタンをクリックします。

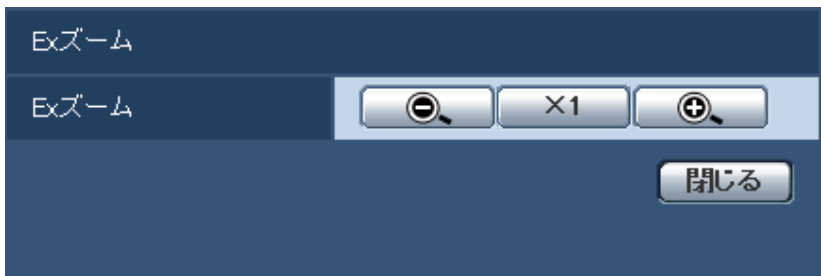
→ ［画質］タブの画像の上から枠が消えます。

重要

- JPEG／H.264のアスペクト比が「16:9」に設定されている場合、下図のように4：3のアスペクト比の画像から切り出して表示しています。そのため、アスペクト比を「16:9」に設定している場合でも、表示されていないマスクエリアの明るさの影響を受けます。一度、アスペクト比を「4:3」に設定してマスクエリアの設定を行うことをお勧めします。

お知らせ

- 設定したマスクエリアをすべて解除する場合は、［リセット］ボタンをクリックします。

2.4.4.3 Exズームを使って画角を調節する（DG-SW155／DG-SW155M／DG-SF135）

カメラページの［画質］タブの「Exズーム」の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックします。（→67 ページ）
Exズームを使って、表示される画像の画角を調節します。

［縮小ボタン］：ズーム（倍率）を「広角」方向に調節します。
［×1］：ズーム（倍率）を1.0倍にします。
［拡大ボタン］：ズーム（倍率）を「望遠」方向に調節します。

重要

- マスクエリア（→74 ページ）、プライバシーゾーン（→77 ページ）、動作検知エリア（→85 ページ）の設定をした状態でExズームの設定を行うと位置がずれます。そのため、Exズームの設定をしたあとで、各エリアの設定をしてください。

2.4.4.4 プライバシーゾーンを設定する（プライバシーゾーン設定画面）

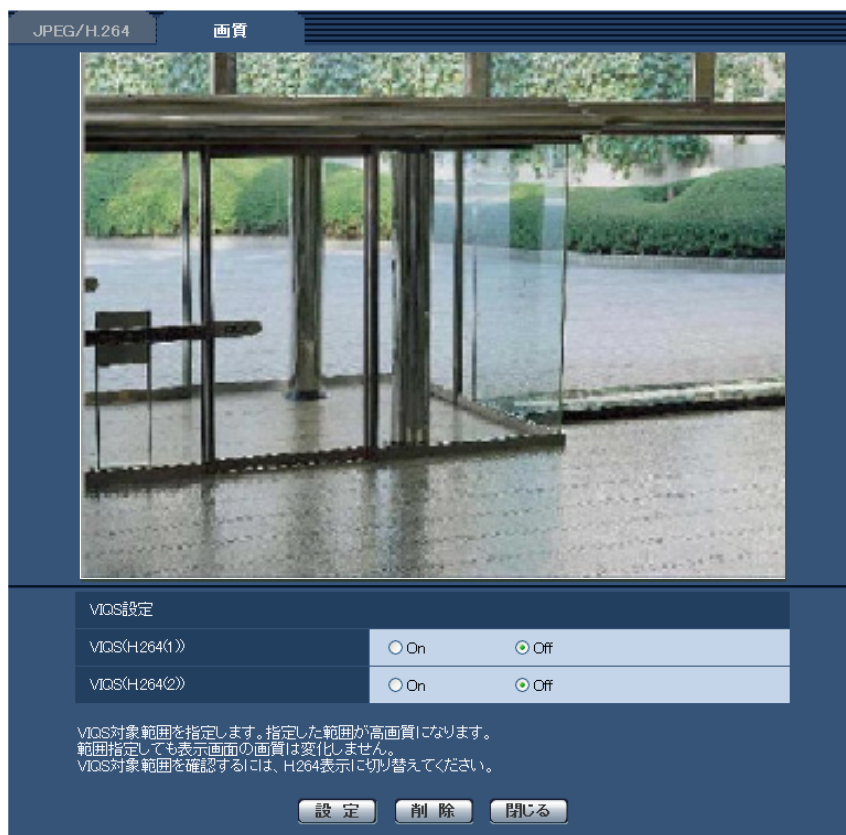
カメラページの［画質］タブの「プライバシーゾーン」の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックします。
(→67 ページ)
撮影場所（画像）の中に表示したくない部分がある場合、その部分をプライバシーゾーンとして表示しないように設定できます。プライバシーゾーンは2か所まで設定できます。

- **［エリア］**
  設定したい範囲をマウスでドラッグすると、プライバシーゾーンとして設定されます。各ゾーンは重なって設定することもできます。ゾーンは作成順にプライバシーゾーン1と2に設定できます。
- **［表示形式］**
  プライバシーゾーンの表示形式を以下から選択します。
  塗潰し：グレーで表示されます。
  Off：表示しません。
  初期設定：Off

  お知らせ
  - プライバシーゾーンは、隠す対象よりも広めに設定してください。
- **［閉じる］ボタン**
  プライバシーゾーン設定画面を閉じます。

2.4.4.5 VIQSを設定する

カメラページの［画質］タブの「VIQS」の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックします。(→67 ページ)
VIQSとはVariable Image Quality Specified areaの略で、指定したエリアの画質を変更することができる機能です。
撮影場所（画像）の中で指定した範囲の画質を高画質にして、見やすくすることができます。
指定した範囲以外の画質は低画質になり、画像データサイズを抑えることもできます。

VIQSはH.264画像のみが対象です。
VIQS設定後の画像は、ライブ画ページでH.264画像を表示して確認してください。

- **[VIQS(H.264(1))]**
  H.264(1)の配信画像でVIQS機能を有効にするかどうかをOn／Offで設定します。
  初期値：Off
- **[VIQS(H.264(2))]**
  H.264(2)の配信画像でVIQS機能を有効にするかどうかをOn／Offで設定します。
  初期値：Off

重要

- VIQS設定をOnにしたあとに、JPEG／H.264のアスペクト比を「4:3」から「16:9」に変更した場合、最大指定範囲を超える場合がありますので、必ず、再度、VIQS設定を確認してください。

お知らせ

- VIQSエリアの設定手順については、78 ページを参照ください。

2.4.4.6 VIQSエリアを設定する

VIQSエリアを以下の手順で設定します。

1 画像上でマウスをドラッグし、エリアを指定します。
→ 指定した場所のエリアが白い枠で表示されます。

お知らせ

- 選択できるエリアの大きさには制限があります。

2 ［VIQS(H.264(1))］、または、［VIQS(H.264(2))］の配信画像を有効にするかどうかをOn／Offで選択します。

3 ［設定］ボタンをクリックします。

→ 設定内容が本機に反映されます。なお、設定エリアを削除する場合は、［削除］ボタンをクリックします。

重要

- ［設定］ボタンをクリックしないと設定内容が確定されません。
- VIQS設定後の画像は、ライブ画ページでH.264画像を表示して確認してください。

2.5 マルチスクリーンを設定する［マルチスクリーン］

マルチスクリーンページでは、マルチスクリーンで表示させるカメラを設定します。(→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ)

- **[IPアドレス]**
  マルチスクリーンで表示するカメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。4台を1グループとして、最大4グループ（16台）まで登録することができます。
  表示したいカメラのHTTPポート番号を変更している場合は、以下のように入力してください。
  入力例：
  IPv4アドレスの入力例：`http://192.168.0.10:8080`
  IPv6アドレスの入力例：`http://[2001:db8:0:0:0:0:0:1]:8080`
  入力可能文字数： 1～128文字
  HTTPSで接続する場合は、以下のように入力します。
  入力例：`https://192.168.0.10/`

重要

- HTTPSで接続する場合は、表示するカメラのセキュリティ証明書をインストールしてください。(→119 ページ)

お知らせ

- ホスト名を設定する場合は、マルチスクリーンを表示するPCのDNS設定が必要です。(→104 ページ)

- **[カメラタイトル]**
  カメラのタイトルを入力します。入力したカメラのタイトルがマルチスクリーン画面に表示されます。
  入力可能文字数：0～20文字
  入力不可文字：半角記号" &

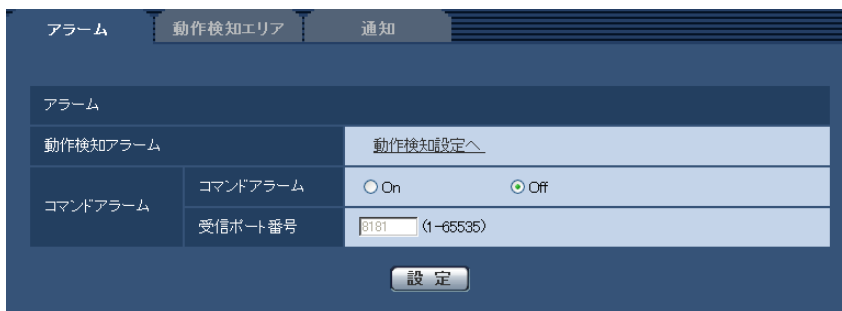
お知らせ

- 16画のマルチスクリーンを選択した場合、カメラタイトルが途中までしか表示されないことがあります。
- 「アスペクト比」を「16:9」に設定していても、マルチスクリーンの表示は「4:3」になります。

2.6 アラーム設定を行う［アラーム］

アラームページでは、アラーム動作やアラーム画像、アラームを検出するエリアの設定やアラーム通知に関する設定を行います。
アラームページは、［アラーム］タブ、［動作検知エリア］タブ、［通知］タブで構成されています。

2.6.1 アラーム動作に関する設定を行う［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
ここでは、アラームを検出したときの動作に関する設定を行います。アラーム画像に関する設定については、82 ページをお読みください。

アラーム

- **［動作検知アラーム］**
  「動作検知設定へ」をクリックすると、アラームページの［動作検知エリア］タブが表示されます。
- **［コマンドアラーム］**
  コマンドアラームの入力を受け付けるかどうかをOn／Offで設定します。
  コマンドアラームとは、他のカメラからの独自アラーム通知を受信する機能です。「On」に設定すると、複数のカメラで連動してアラーム動作を行うことができます。
  初期設定：Off
- **［受信ポート番号］**
  コマンドアラームを受信するポート番号を設定します。
  設定可能範囲：1～65535
  初期設定：8181
  以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
  20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、59000～61000

2.6.2 アラーム画像に関する設定を行う［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
ここでは、FTPサーバーへ送信するアラーム画像に関する設定を行います。アラーム画像は、FTPサーバーへ送信されます。アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、FTPサーバーの設定が必要です。
（→100 ページ）

重要

- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。

SW155：

- ［SDメモリーカード］タブで「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合、アラームを検出しても画像をFTPサーバーへ送信することはできません。（→42 ページ）

アラーム画像

- **［FTP設定へ］**
  クリックするとサーバーページの［FTP］タブが表示されます。（→100 ページ）
- **［アラーム画像送信］**
  アラームを検出したとき、FTPサーバーへ画像を送信するかどうかをOn／Offで設定します。
  初期設定：Off
- **［ディレクトリー名］**
  画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。
  例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のALARMディレクトリーを指定する場合は、「/ALARM」と入力します。
  入力可能文字数：1～256文字
- **［ファイル名］**
  FTPサーバーへ画像を送信するときのファイル名を入力します。実際に保存されるときのファイル名は、以下のようになります。
  ファイル名：入力したファイル名＋日時（年月日時分秒）＋連続番号
  入力可能文字数：1～32文字
- **［ポストアラーム］**
  - **画像更新速度**
    アラーム画像を送信するときの送信間隔を以下から選択します。
    0.1fps／0.2fps／0.33fps／0.5fps／1fps
    初期設定：1fps
  - **画像枚数**
    送信する画像の枚数を以下から選択します。
    1枚／2枚／3枚／4枚／5枚／6枚／7枚／8枚／9枚／10枚／20枚／30枚／50枚／100枚／200枚／300枚／500枚／1000枚／2000枚／3000枚
    初期設定：100枚
  - **録画時間**
    設定した「画像更新速度」で、設定した「画像枚数」を保存するときにかかる時間が表示されます。

- **[解像度]**
  FTPサーバーへ送信するときの画像やアラームメールに添付する画像の解像度を以下から選択します。
  - **「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合**
    QVGA／VGA／1280×960*1
  - **「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合**
    320×180／640×360／1280×720*1

  初期設定：VGA
- **[アラーム時の画質制御]**
  アラーム発生時に画質1（→61 ページ）の画質を変更するかどうかをOn／Offで設定します。
  On：アラーム発生時に「アラーム時の画質」で設定した内容で配信します。
  Off：アラーム発生時に画質を変更しません。
  初期設定：Off
- **[アラーム時の画質]**
  アラーム発生時の画質を設定します。画質は、以下から選択します。
  0 最高画質／1 高画質／2／3／4／5 標準／6／7／8／9 低画質
  初期設定：5 標準

---

*1 SW155 SF135

2.6.3 動画録画に関する設定を行う［アラーム］（DG-SW155／DG-SW155M）

アラームページの［アラーム］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
ここでは、アラームを検出したときにSDメモリーカードへ動画録画（H.264データ）をする場合の動画の保存容量を設定します。動画録画するには、SDメモリーカードの設定、動画データに関する設定が必要です。（→42 ページ）

H.264 動画録画(SDメモリーカード)

- **[プレアラーム]**
  アラーム発生前の録画を行うかどうかを選択します。「使用する」に設定した場合、1 MB分のデータが保存されます。
  使用する／使用しない
  初期設定：使用しない
- **[ポストアラーム時間]**
  アラーム発生後に、SDメモリーカードに保存する時間を設定します。
  10s／20s／30s／40s／50s／60s／120s／180s／240s／300s
  初期設定：30s
  ※ポストアラーム時間で設定した時間より、実際の録画時間は長くなる場合があります。

- **［1回のアラームで使用する容量(目安)］**
  1アラーム分の動画録画で使用するSDメモリーカード容量を表示します（本表示はあくまで目安となります。実際の使用容量とは異なる場合があります）。

  重要

  - 動画録画するためには、［SDメモリーカード］タブで「SDメモリーカード」を「使用する」に設定する必要があります。また、「録画圧縮方式」を「H.264」に設定する必要があります。（→42 ページ）

2.6.4 動作検知の設定を行う［動作検知エリア］

アラームページの［動作検知エリア］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
ここでは、モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検知させるときのエリアを設定します。
エリアは4か所まで設定できます。設定したエリア内で物体の動きをとらえると、アラーム動作を行います。

重要

- モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検出したときに、確認用として［アラーム発生通知］ボタンを表示（→9 ページ）します。
- コマンドアラームを受け付けた場合にも、［アラーム発生通知］ボタンが表示されます。
- 基本ページの［基本］タブで「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定（→39 ページ）している場合でも、ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。
- モーションディテクター機能は、盗難、火災などを防止するための機能ではありません。万一発生した事故または損害に対する責任は一切、負いかねます。

- **[エリア]**
  画像内で動作検知エリアを選択すると、エリア1から順に設定されます。
- **[状態]**
  動作検知を行うかどうかを有効／無効で設定します。
  有効：動作検知を行います。
  無効：動作検知を行いません。
  初期設定：無効
- **[検出面積]**
  動作検知エリア内で被写体の動きを検知する面積を、スライダーバーで設定します。設定値が小さいほど、小さな被写体の動きでも検知します。現在の設定値（1〜10）はスライダーバーの右に表示されます。
  初期設定：1
- **[検出感度]**
  エリア内の動きを検出するときの感度を、スライダーバーで設定します。各エリアごとに個別に設定できます。設定値が大きいほど、動きを感知しやすくなります。
  現在の設定値（1（低い）〜15（高い））はスライダーバーの下に表示されます。
  初期設定：8

- ［削除］ボタン
  削除したいエリアのボタンをクリックすると、エリア枠を削除します。
- ［照明検出抑止］
  照明の明るさなどの変化による動作検知を行わないように設定するかどうかをOn／Offで設定します。
  初期設定：Off

  重要
  - 照明の明るさなどの変化が小さい場合、抑止できない場合があります。
  - 照明検出抑止を「On」に設定し、画面全体に動きがある被写体を検知した場合、動作検知を行わないことがあります。

動作検知情報付加

- ［情報付加］
  画像に動作検知情報を付加して、重畳した画像データを送信するかどうかをOn／Offで設定します。
  動作検知情報は、一部の弊社製ネットワークディスクレコーダーの検索機能で活用することができます。
  機能・設定の詳細については、接続する機器の取扱説明書をお読みください。
  初期設定：Off

2.6.5 動作検知エリアを設定する［動作検知エリア］

動作検知エリアを設定します。

重要
- 設定画面で設定を変更中は、動作検知アラームを検出しないことがあります。

1 画像上でマウスをドラッグし、エリアを指定します。

→ 指定した場所がエリア「1(白)」に設定され、枠が表示されます。エリアはエリア番号の1番から順に設定されます。エリア番号の横の色は、対応する枠の色を表しています。また、エリアに設定する枠色の「状態」が「有効」になります。

2 「検出面積」「検出感度」をスライダーバーで設定します。「検出面積」「検出感度」については、85 ページをお読みください。
表示されているエリアと検出感度での動き検出状況が「検出面積」に表示されます。必要に応じてエリアや「検出面積」「検出感度」を変更します。

3 設定が終了したら、[設定] ボタンをクリックします。

重要

- [設定] ボタンをクリックしないと設定内容が確定されません。

4 動作検知エリアを無効にする場合は、該当するエリアの「状態」を「無効」に変更し、[設定] ボタンをクリックします。

→ 無効になった枠色が点線になります。無効に設定すると、エリア内に変化があってもアラームは発生しません。

5 動作検知エリアを削除する場合は、削除するエリアの [削除] ボタンをクリックします。

→ 削除したエリアの枠が消去されます。

6 ［設定］ボタンをクリックします。

→ 設定内容が本機に反映されます。

2.6.6 メール通知に関する設定を行う［通知］

アラームページの［通知］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
ここでは、アラームメールに関する設定を行います。メール通知を行うには、メールサーバーの設定が必要です。（→99 ページ）

メール通知

- **［メール設定へ］**
  クリックすると、サーバーページの［メール］タブが表示されます。（→99 ページ）
- **［メール通知］**
  以下の場合にメール通知を行うかどうかをOn／Offで設定します。
  - アラーム発生時（メール通知先「アラーム」欄）

  SW155 :
  - SDメモリーカード残容量通知時（メール通知先「診断」欄）
  - SDメモリーカードの空き容量不足時（メール通知先「診断」欄）
  - SDメモリーカードの認識エラー時（メール通知先「診断」欄）

  初期設定：Off
- **［画像添付］**
  アラーム検出によるメール送信時に画像を添付するかどうかをOn／Offで設定します。
  初期設定：Off

  お知らせ
  - ［アラーム］タブの「解像度」（→82 ページ）で設定した解像度の画像を添付して送信します。

メール通知先

- **［通知先1］～［通知先4］**
  通知先のメールアドレスを設定します。通知先は4件まで設定できます。
  「アラーム」欄：チェックを入れると、アラーム発生時、メール通知します。
  「診断」欄 SW155 ：チェックを入れると、SDメモリーカード残容量通知時、SDメモリーカードの空き容量不足時、SDメモリーカードの認識エラー時にメール通知します。
  「通知先メールアドレス」欄：通知先のメールアドレスを入力します。
  入力可能文字数：3～128文字
  設定したメールアドレスを削除したいときは、削除したいメールアドレスの［削除］ボタンをクリックします。
- **［メール件名］**
  アラームメールの件名を入力します。
  入力可能文字数：0～50文字
- **［メール本文］**
  アラームメールの本文を入力します。
  入力可能文字数：0～200文字

お知らせ

SW155 ：

- SDメモリーカードの空き容量がなくなったときは「SDメモリーカードがFULLです。」、SDメモリーカードの認識エラーが発生したときは、「SDメモリーカードが認識できません。」というメール本文で送信されます。

2.6.7 独自アラーム通知に関する設定を行う［通知］

アラームページの［通知］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
ここでは、独自アラーム通知に関する設定を行います。

独自アラーム通知

- **[独自アラーム通知]**
  以下の場合に独自アラーム通知を行うかどうかをOn／Offで設定します。
  - アラーム発生時（独自アラーム通知先「アラーム」欄）
  - 本機の点検時期通知時（独自アラーム通知先「診断」欄）

  SW155 :
  - SDメモリーカード残容量通知時（独自アラーム通知先「診断」欄）
  - SDメモリーカードの空き容量不足時（独自アラーム通知先「診断」欄）
  - SDメモリーカードの認識エラー時（独自アラーム通知先「診断」欄）

  初期設定：Off

  お知らせ
  - 独自アラームの通知は、「通知先1」から順に通知されます（「アラーム」欄または「診断」欄にチェックした通知先のみ）。

- **[通知先ポート番号]**
  独自アラーム通知先の受信ポート番号を設定します。
  設定可能範囲：1～65535
  初期設定：1818
  以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
  20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、59000～61000
- **[リトライ回数]**
  独自アラーム通知ができなかった場合の再試行回数を設定します。
  設定可能範囲：0～30
  初期設定：2

独自アラーム通知先

- **[通知先1]～[通知先8]**
  独自アラーム通知先のIPアドレスを設定します。ホスト名での指定はできません。通知先は8件まで設定できます。
  「アラーム」欄：チェックを入れると、アラーム発生時、通知します。
  「診断」欄：
  SW155
  チェックを入れると、SDメモリーカードの残容量通知、SDメモリーカードの空き容量不足、SDメモリーカード認識エラー、本機の点検時期を通知します。
  「通知先IPアドレス」欄：通知先のIPアドレスを入力します。
  設定した通知先を削除したいときは、削除したい通知先の［削除］ボタンをクリックします。

  重要
  - 通知先が正しく設定されていることを確認してください。通知先が存在しない場合、独自アラーム通知が遅延することがあります。

2.7 画像認識の設定［画像認識］

画像認識ページでは、XML通知の設定、顔検出に関する情報の通知先の設定、顔検出に関する設定を行います。
画像認識ページは、［XML通知］タブ、［顔検出］タブで構成されています。

2.7.1 XML通知を設定する［XML通知］

画像認識ページの［XML通知］タブをクリックします。
ここでは、XML通知に関する設定を行います。XML通知とは、顔検出情報をXML形式でサーバーなどに通知する機能です。

XML通知

- **［XML通知］**
  XMLによる顔検出に関する情報を通知するどうかをOn／Offで設定します。
  初期設定：Off
- **［通知間隔］**
  通知間隔を1s／2s のどちらかに設定します。
  初期設定：1s

2.7.2 顔検出情報の通知先を設定する［XML通知］

画像認識ページの［XML通知］タブをクリックします。

ここでは、顔検出情報の通知先を設定します。

顔検出情報XML通知先設定

- **[通知先アドレス]**
  顔検出情報のXML通知先のIPアドレスまたはホスト名を設定します。
  入力可能文字数：1〜128文字
- **[通知先ポート番号]**
  顔検出情報のXML通知先のポート番号を設定します。
  以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
  20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、59000〜61000
- **[通知先パス名]**
  顔検出情報のXML通知先のディレクトリーを設定します。
- **[ユーザー名]**
  ユーザー名を入力します。
  入力可能文字数：0〜32文字
  初期設定：空欄
- **[パスワード]**
  パスワードを入力します。
  入力可能文字数：0〜32文字
  初期設定：空欄

2.7.3 顔検出の設定をする［顔検出］

画像認識ページの［顔検出］タブをクリックします。

ここでは、顔検出の検出枠の表示に関する設定と、顔検出の情報を画像に付加するかどうかの設定を行います。

重要

- 顔検出機能は、画像内の顔の検出を保証するものではありません。撮像条件によっては、顔を検出しない場合があります。

顔検出

- **［顔検出］**
  顔検出機能を動作させるかどうかを設定します。
  On：顔検出枠の情報を付加すると同時に、本ページの画像にテスト用の検出枠を表示します。
  Off：顔検出枠の情報を付加しません。本ページの画像には、検出枠が表示されません。
  初期設定：Off
- **［検出情報XML通知］**
  顔検出に関する情報の通知先を設定します。
  「XML通知へ」をクリックすると、［XML通知］タブが表示されます。（→92 ページ）

2.8 認証を設定する［ユーザー管理］

ユーザー管理ページでは、PCや携帯電話・携帯端末から本機にアクセスできるユーザーやPC（IPアドレス）を制限する認証登録を行います。
ユーザー管理ページは、［ユーザー認証］タブ、［ホスト認証］タブ、［システム］タブで構成されています。

2.8.1 ユーザー認証を設定する［ユーザー認証］

ユーザー管理ページの［ユーザー認証］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
ここでは、PCや携帯電話・携帯端末から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。
最大18ユーザーまで登録できます。

お知らせ

- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

- **［ユーザー認証］**
  ユーザー認証をするかどうかをOn／Offで設定します。
  初期設定：Off
- **［認証方式］**
  ユーザー認証で利用する認証方式を設定します。
  Digest or Basic：ダイジェスト認証またはベーシック認証を使用します。
  Digest：ダイジェスト認証を使用します。
  Basic：ベーシック認証を使用します。
  初期設定：Digest or Basic

  お知らせ

  - 弊社の他のi-PROシリーズやネットワークディスクレコーダーなどでは、特に明記されていない限り、ダイジェスト認証には対応しておりません（2011年5月現在）。
- **［ユーザー名］**
  ユーザー名を入力します。
  入力可能文字数：1～32文字

初期設定：空欄

- **［パスワード］／［パスワード確認］**
  パスワードを入力します。
  入力可能文字数：4～32文字
  初期設定：空欄

  お知らせ
  - 登録済みのユーザー名を入力し、［登録］ボタンをクリックすると、ユーザー情報が上書きされます。

- **［アクセスレベル］**
  ユーザーのアクセスレベルを以下から設定します。
  1.管理者：本機のすべての操作を行うことができます。
  2.カメラ制御：画像表示、本機の操作が行えます。本機の設定はできません。
  3.ライブ画表示：ライブ画表示のみ行えます。本機の操作、設定はできません。
  初期設定：3.ライブ画表示
- **［ユーザー確認］**
  「ユーザー確認」の［▼］をクリックすると、登録されているユーザーを確認できます。
  登録ユーザーは「登録したユーザー名［アクセスレベル］」で表示されます。（例：admin [1]）
  右の［削除］ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。

2.8.2 ホスト認証を設定する［ホスト認証］

ユーザー管理ページの［ホスト認証］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
ここでは、本機にアクセスできるPC（IPアドレス）を制限するホスト認証設定を行います。

- **［ホスト認証］**
  ホスト認証をするかどうかをOn／Offで設定します。
  初期設定：Off
- **［IPアドレス］**
  本機へのアクセスを許可するPCのIPアドレスを入力します。ホスト名をIPアドレスとして入力することはできません。

  お知らせ
  - 「IPアドレス／サブネットのマスク長」を入力すると、サブネットごとにアクセスできるPCを制限できます。

例えば、「192.168.0.1/24」と入力し、アクセスレベルで「2.カメラ制御」を選択した場合は、「192.168.0.0」～「192.168.0.255」のPCが「2.カメラ制御」のアクセスレベルで本機へアクセスできます。

- 登録済みのIPアドレスを入力し、［登録］ボタンをクリックすると、ホスト情報が上書きされます。

- **［アクセスレベル］**
  ホストのアクセスレベルを以下から選択します。
  1.管理者／2.カメラ制御／3.ライブ画表示
  アクセスレベルについては96 ページをお読みください。
  初期設定：3.ライブ画表示
- **［ホスト確認］**
  「ホスト確認」の［▼］をクリックすると、登録されているホストのIPアドレスを確認できます。
  ホストは「登録したIPアドレス［アクセスレベル］」で表示されます。（例：192.168.0.21 [1]）
  右の［削除］ボタンをクリックすると、選択したホスト（IPアドレス）を削除できます。

2.8.3 優先ストリームを設定する［システム］

ユーザー管理ページの［システム］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
ここでは、複数のユーザーが同時にアクセスした場合でも、画質や画像更新速度を下げることなく、画像を配信できる優先ストリームの設定を行います。

優先ストリーム

- **［優先ストリーム］**
  優先ストリーム配信を使用するかどうかをOn／Offで設定します。
  初期設定：Off

  お知らせ

  - 「優先ストリーム」を「On」に設定した場合、アクセス可能なユーザー数が制限される場合があります。

- **［送信先IPアドレス(1)］**
  1つ目の送信先のIPアドレスを入力します。
- **［送信先IPアドレス(2)］**
  2つ目の送信先のIPアドレスを入力します。
- **［ストリーム種別］**

JPEG／H.264(1)／H.264(2)のいずれかを選択します。
JPEG：JPEG画像が配信されます。
H.264(1)：H.264(1)画像が配信されます。
H.264(2)：H.264(2)画像が配信されます。
初期設定：JPEG

お知らせ

- 「H.264」の「配信モード」で「ベストエフォート配信」を選択している場合、他のユーザーの接続状態により最大、最小ビットレートの間でビットレートを可変して配信します。

SW155：

- SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「H.264(2)」の配信はできません。その場合、「H.264(2)」は無効になります。

- **[画像更新速度 *]**
画像の更新速度を以下から選択します。
「ストリーム種別」で「JPEG」を選択した場合のみ有効です。
0.1fps／0.2fps／0.33fps／0.5fps／1fps／2fps／3fps／5fps／6fps *／10fps *／15fps *／30fps *
初期設定：1fps

お知らせ

- 「H.264配信」を「On」に設定して、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

- **[解像度]**
画像の解像度を以下から選択します。
  - **「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合**
  QVGA／VGA／1280×960[*1]
  - **「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合**
  320×180／640×360／1280×720[*1]

「ストリーム種別」で「JPEG」を選択した場合のみ有効です。
初期設定：1280×960 SW155 SF135／VGA SF132

[*1] SW155 SF135

2.9 サーバーの設定をする［サーバー］

サーバーページでは、メールサーバーとFTPサーバー、NTPサーバーの設定を行います。
サーバーページは、［メール］タブ、［FTP］タブ、［NTP］タブで構成されています。

2.9.1 メールサーバーを設定する［メール］

サーバーページの［メール］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
ここでは、アラームメールを送信するためのメールサーバーの設定を行います。

重要

- 電子メールを受信する端末が文字コードUTF-8に対応していない場合、正常に受信することができません。

- **［SMTPサーバーアドレス］**
  電子メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
  入力可能文字数：1～128文字
- **［SMTPポート番号］**
  メールを送信するポート番号を入力します。
  設定可能ポート番号：1～65535
  初期設定：25
  以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
  20、21、23、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、59000～61000
- **［POPサーバーアドレス］**
  「認証方法」で「POP before SMTP」を選択した場合は、POPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
  入力可能文字数：1～128文字

  重要

  - 「SMTPサーバーアドレス」「POPサーバーアドレス」のホスト名を入力するには、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。（→103 ページ）

- **［認証－認証方法］**
  メールを送信するときの認証方法を以下から選択します。

なし：認証しません
POP before SMTP：電子メールを送信する前に、メールを受信するPOPサーバーの認証を行います。
SMTP：SMTPサーバーの認証を行います。
初期設定：なし

お知らせ

- 電子メールを送信するための認証方法が不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- **[認証－ユーザー名]**
  サーバーにアクセスするユーザー名を入力します。
  入力可能文字数：0～32文字
- **[認証－パスワード]**
  サーバーにアクセスするパスワードを入力します。
  入力可能文字数：0～32文字
- **[送信者メールアドレス]**
  送信元のメールアドレスを入力します。
  入力したメールアドレスは、受信メールの「From（差出人）」欄に表示されます。
  入力可能文字数：3～128文字

2.9.2 FTPサーバーを設定する［FTP］

サーバーページの［FTP］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
ここでは、アラーム画像を送信するFTPサーバーの設定を行います。

- **[FTPサーバーアドレス]**
  画像を送信するFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
  入力可能文字数：1～128文字

重要

- 「FTPサーバーアドレス」のホスト名を入力する場合は、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。（→103 ページ）

- **[ユーザー名]**
  FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。
  入力可能文字数：1～32文字
- **[パスワード]**
  FTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。
  入力可能文字数：0～32文字

- **[コントロールポート番号]**
  FTPサーバーのコントロールポート番号を入力します。
  設定可能ポート番号：1～65535
  初期設定：21
  以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
  20、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、59000～61000
- **[モード]**
  FTPの通信モードをパッシブモード／アクティブモードから選択します。
  通常は「パッシブモード」を選択します。「パッシブモード」で接続できない場合は、「アクティブモード」に切り換えてください。
  初期設定：パッシブモード

2.9.3 NTPサーバーを設定する［NTP］

サーバーページの［NTP］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
ここでは、NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する設定を行います。

重要

- システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合は、NTPサーバーを使用してください。

- **[時刻調整]**
  時刻調整の方法を以下から選択します。選択された方法で調整された時刻は、本機の標準時間として使用されます。
  マニュアルセッティング：基本ページの［基本］タブで設定された時刻が、本機の標準時間として使用されます。
  NTP サーバーに同期：NTPサーバーとの同期で自動調整された時刻が、本機の標準時間として使用されます。
  初期設定：マニュアルセッティング
- **[NTPサーバーアドレス取得方法]**
  「時刻調整」で「NTPサーバーに同期」を選択した場合は、NTPサーバーアドレスの取得方法を選択します。
  Auto：DHCPサーバーからNTPサーバーアドレスを取得します。
  Manual：NTPサーバーアドレスを「NTPサーバーアドレス」に入力して設定します。
  初期設定：Manual

重要

- 「NTPサーバーアドレス」をDHCPサーバーから取得する場合は、ネットワークページの［ネットワーク］タブで「接続モード」をDHCPあるいは自動設定に設定する必要があります。(→103 ページ)

- **[NTPサーバーアドレス]**
  「NTPサーバーアドレス取得方法」で「Manual」を選択した場合は、NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
  入力可能文字数：1～128文字
  初期設定：なし（空白）

重要

- 「NTPサーバーアドレス」のホスト名を入力するには、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。(→103 ページ)

- **[ポート番号]**
  NTPサーバーのポート番号を入力します。
  設定可能ポート番号：1～65535
  初期設定：123
  以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
  20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、161、162、443、554、995、10669、10670、59000～61000
- **[時刻更新間隔]**
  NTPサーバーから時刻を取得する間隔（1～24時間で1時間単位）を選択します。
  初期設定：1h
- **[タイムゾーン]**
  使用するカメラの地域に応じたタイムゾーンを選択します。
  初期設定：(GMT+09:00)大阪、札幌、東京

2.10 ネットワークの設定［ネットワーク］

ネットワークページでは、ネットワーク設定およびDDNS（Dynamic DNS）、SNMP（Simple Network Management Protocol）に関する設定を行います。
ネットワークページは、［ネットワーク］、［DDNS］、［SNMP］、［FTP定期］の4つのタブで構成されています。

2.10.1 ネットワークを設定する［ネットワーク］

ネットワークページの［ネットワーク］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
以下の情報は、ネットワークの設定を行うために必要です。
ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- HTTPポート
- DNS用プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス（DNSを使用する場合）

IPv4ネットワーク

IPv4ネットワーク

IPアドレスの設定方法を選択します。

固定IP：IPアドレスを「IPアドレス(IPv4)」に入力して設定します。

DHCP：DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。

自動設定(AutoIP)：DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。DHCPサーバーが見つからない場合は、自動でIPアドレスを設定します。

DHCP機能を使用しないPCと他のネットワークカメラが同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
初期設定：固定IP

お知らせ

- 自動設定（AutoIP）で、DHCPサーバーからIPアドレスを取得できない場合は、169.254.1.0～169.254.254.255の間で同一ネットワーク内で使用されていないIPアドレスを検索してIPアドレスを設定します。

[IPアドレス(IPv4)]

DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。PCや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。
初期設定：192.168.0.10

お知らせ

- DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

[サブネットマスク]

DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。
初期設定：255.255.255.0

[デフォルトゲートウェイ]

DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。
初期設定：192.168.0.1

お知らせ

- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

[DNS]

DNSサーバーのアドレスを自動（「Auto」）で取得するか、手動で入力する（「Manual」）かを設定します。
「Manual」に設定した場合、DNSの設定を行う必要があります。
DHCP機能を使用する場合は、「Auto」に設定すると、自動的にDNSサーバーアドレスを取得できます。
設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。
初期設定：Manual

[プライマリーサーバーアドレス]、[セカンダリーサーバーアドレス]

「DNS」を「Manual」で使用する場合、DNSサーバーのIPアドレスを入力します。
DNSサーバーのIPアドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

IPv6ネットワーク

[手動設定]

IPv6アドレスを手動で設定するかどうかをOn／Offで設定します。
On：手動でIPv6アドレスを入力します。
Off：IPv6アドレスの手動入力ができません。
初期設定：Off

[IPアドレス(IPv6)]

「手動設定」を「On」に設定した場合、IPv6アドレスを手動で入力する必要があります。

他の機器と重複しないよう入力してください。

お知らせ

- 手動設定したIPアドレスでルーターを越えて接続する場合には、IPv6互換のルーターを使用し、IPv6アドレスの自動設定機能を有効にしてください。また、IPv6互換のルーターから付与されるプレフィックス情報を含むIPv6アドレスを設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。

[DHCPv6]

IPv6のDHCP機能を使用するかどうかをOn／Offで設定します。
DHCP機能を使用しないPCと他のネットワークカメラが同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
初期設定：Off

[DNSプライマリーサーバーアドレス]、[DNSセカンダリーサーバーアドレス]

DNSサーバーのIPv6アドレスを入力します。DNSサーバーのIPv6アドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

IPv6/v4共通

[HTTPポート番号]

ポート番号を個別に割り当てます。
設定可能ポート番号：1～65535
初期設定：80
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、59000～61000

[通信速度]

データの通信速度を以下から選択します。通常は、初期設定の「Auto」のまま使用することをお勧めします。
Auto：通信速度が自動設定されます。
100 M-Full：100 Mbps 全二重
100 M-Half：100 Mbps 半二重
10 M-Full：10 Mbps 全二重
10 M-Half：10 Mbps 半二重
初期設定：Auto

[RTPパケット 最大送信サイズ]

RTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信するRTPパケットサイズを制限するかどうかを設定します。通常は、「制限なし(1500byte)」のまま使用することをお勧めします。
使用する通信回線のパケットサイズが制限されている場合は、「制限あり(1280byte)」を選択してください。通信回線の最大パケットサイズについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
初期設定：制限なし(1500byte)

[HTTPの最大セグメントサイズ]

HTTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信する最大セグメントサイズ（MSS）を制限するかどうかを設定します。通常は、「制限なし(1460byte)」のまま使用することをお勧めします。
使用する通信回線の最大セグメントサイズ（MSS）が制限されている場合は、「制限あり(1024byte)」を選択してください。通信回線の最大セグメントサイズ（MSS）については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

初期設定：制限なし(1460byte)

UPnP

本機は、UPnP（Universal Plug and Play）に対応しています。UPnP機能を使用すると、以下の設定を自動で行うことができます。

– ルーターのポートフォワーディング機能を設定すること。（ただし、UPnP対応のルーターが必要です。）この設定はインターネットや携帯電話・携帯端末からカメラにアクセスする場合に便利です。
– カメラへのショートカットをPCの［マイネットワーク］フォルダー（Windows VistaとWindows 7の場合は、［ネットワーク］フォルダー）に作り、カメラのIPアドレスが変わってもそのショートカットが自動で更新されること。

[自動ポートフォワーディング]

ルーターのポートフォワーディング機能を使用するかどうかをOn／Offで設定します。
自動ポートフォワーディング機能を使用するには、使用するルーターがUPnP対応で、UPnP機能が有効になっていなければなりません。
初期設定：Off

お知らせ

- 自動ポートフォワーディングによりポート番号が変更されることがあります。変更された場合は、PCやレコーダー等に登録されているカメラのポート番号を変更する必要があります。
- UPnPの機能は、カメラをIPv4ネットワークに接続する場合に使用できます。IPv6には対応していません。
- 自動ポートフォワーディングが正しく設定されたか確認するには、メンテナンスページの［ステータス］タブをクリックし、［UPnP］のステータスが［有効］になっていることを確認します。(→141 ページ)
  ［有効］が表示されていない場合は、故障かな!?の「インターネットからカメラにアクセスできない」をお読みください。(→148 ページ)

[カメラへのショートカット]

カメラへのショートカットをPCの［マイネットワーク］フォルダー（Windows VistaとWindows 7の場合は、［ネットワーク］フォルダー）に作るかどうかをOn／Offで設定します。カメラのショートカットを作る場合に、［On］を選択してください。
カメラへのショートカット機能を使用するには、あらかじめPCでUPnP機能を有効に設定してください。
初期設定：Off

お知らせ

- Windowsの［マイネットワーク］フォルダー（Windows VistaとWindows 7の場合は、［ネットワーク］フォルダー）にカメラへのショートカットを表示させるには、Windowsコンポーネントを追加する必要があります。以下を参照して、UPnPを有効にしてください。
  Windows XPの場合
  ［スタート］→（［設定］）→［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］→［Windowsコンポーネントの追加と削除］→［ネットワークサービス］を選択する→［詳細］→［インターネットゲートウェイデバイスの検出とクライアントの制御］と［UPnPユーザーインターフェース］にチェックを付ける→［OK］→［次へ］→完了
  Windows Vistaの場合

［スタート］→［コントロールパネル］→［ネットワークとインターネット］→［ネットワークと共有センター］→［共有と探索］の［ネットワーク探索］の項目を広げる→［ネットワーク探索を有効にする］を選択する→［変更の保存］をクリックする→完了

Windows 7の場合

［スタート］→［コントロールパネル］→［ネットワークとインターネット］→［ネットワークと共有センター］→［共有の詳細設定の変更］の［ネットワーク探索］の［ネットワーク探索を有効にする］を選択する→［変更の保存］をクリックする→完了

HTTPS

HTTPS機能を使用することで、カメラへのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。
HTTPSの設定方法については、110 ページをお読みください。

[CRT鍵生成]

HTTPSで使用するCRT鍵（SSL暗号化キー）を生成します。
CRT鍵の生成は、［実行］ボタンをクリックすると表示される「CRT鍵生成ダイアログ」で行います。

[自己証明書－生成]

HTTPSで使用するセキュリティ証明書を本機自身で生成します。（自己証明書）
自己証明書（セキュリティ証明書）の生成は、［実行］ボタンをクリックすると表示される、「自己証明書生成ダイアログ」で行います。

[自己証明書－情報]

自己証明書（セキュリティ証明書）の情報が表示されます。
［確認］ボタンをクリックすると、生成した自己証明書（セキュリティ証明書）の登録内容が、「自己証明書確認ダイアログ」に表示されます。
［削除］ボタンをクリックすると、生成した自己証明書（セキュリティ証明書）を削除します。

[CA証明書－署名リクエスト(CSR)生成]

HTTPSで使用するセキュリティ証明書として、認証機関（CA：Certificate Authority）によって発行されたセキュリティ証明書を使用する場合に、認証機関に申請するための署名リクエスト（CSR：Certificate Signing Request）を生成します。
署名リクエスト（CSR）の生成は、［実行］ボタンをクリックすると表示される、「署名リクエスト(CSR)生成ダイアログ」で行います。

[CA証明書－サーバー証明書インストール]

証明機関から発行されたサーバー証明書（セキュリティ証明書）のインストールおよびインストールされたサーバー証明書（セキュリティ証明書）の情報表示を行います。
［参照］ボタンをクリックすると表示される「ファイルを開くダイアログ」で、認証機関から発行されたサーバー証明書（セキュリティ証明書）のファイルを選択し、［実行］ボタンをクリックするとサーバー証明書（セキュリティ証明書）のインストールが実行されます。
サーバー証明書（セキュリティ証明書）がインストールされている場合は、インストールしたサーバー証明書のファイル名を表示します。

[CA証明書－情報]

サーバー証明書（セキュリティ証明書）の情報が表示されます。
［確認］ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書（セキュリティ証明書）の登録内容が、「サーバー証明書確認ダイアログ」に表示されます。サーバー証明書（セキュリティ証明書）をインストールしていない場合は、生成した署名リクエスト（CSR）の内容が表示されます。

［削除］ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書（セキュリティ証明書）を削除します。

重要

- 有効なサーバー証明書（セキュリティ証明書）を削除する場合は、PC、記録メディアなどにサーバー証明書（セキュリティ証明書）のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、サーバー証明書（セキュリティ証明書）が必要になります。

[接続方法]

本機への接続方法を設定します。
HTTP：HTTP接続のみ可能になります。
HTTPS：HTTPS接続のみ可能になります。
初期設定：HTTP

[HTTPSポート番号]

HTTPSで使用するポート番号を設定します。
設定可能ポート番号：1〜65535
初期設定：443

お知らせ

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。
- 自己証明書を使用する場合の注意
  HTTPSでカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書（セキュリティ証明書）をPCにインストールしてください。（→119 ページ）
- サーバー証明書を使用する場合の注意
  あらかじめご使用のブラウザーに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスしたときに、画像が乱れることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

[カメラへのFTPアクセス]

カメラへのFTPアクセスを許可するかどうかを許可／禁止で選択します。
初期設定：禁止

[配信量制御(ビットレート)]

データの配信量を以下から選択します。
制限なし／64kbps／128kbps／256kbps／384kbps／512kbps／768kbps／1024kbps／2048kbps／4096kbps／8192kbps
初期設定：制限なし

お知らせ

- JPEG画像のライブ画像配信とFTP定期送信を同時に動作させるには、「128kbps」以上のビットレートを選択してください。
- 「配信量制御(ビットレート)」を低く設定した場合、使用環境によっては、スナップショットボタンが動作しない場合があります。

その場合は、［JPEG／H.264］タブの「JPEG」－「解像度」を「QVGA」にするか、または「JPEG」－「画質」を低く設定してください。

［IP簡単設定有効期間］

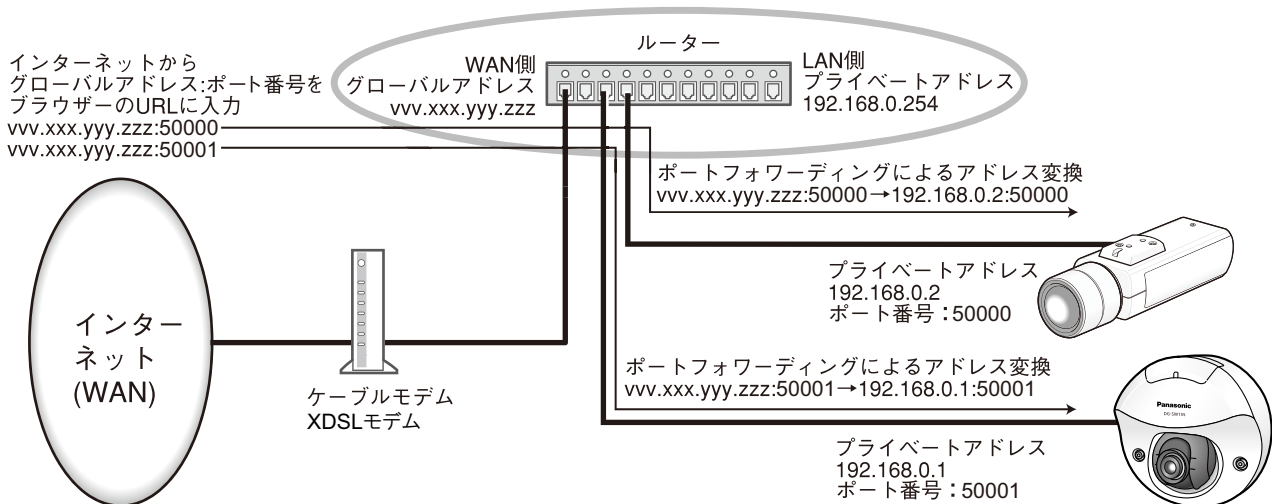
IP簡単設定ソフトウェアからのネットワーク設定の操作を有効にする時間をカメラを起動してから20分間／無制限のどちらかに設定します。

20分間：IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ表示・設定操作をカメラ起動後20分間のみ有効にします。

無制限：IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ表示・設定操作が常時有効になります。

初期設定：20分間

お知らせ

- 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
  ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、「静的IPマスカレード」や「ネットワークアドレス変換（NAT）」などがあります。この機能はルーターに設定します。
  ルーターにカメラを接続してインターネット経由でカメラとアクセスするには、ネットワークカメラごとに個別のHTTPポート番号を設定し、さらにルーターのポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。

2.10.2 HTTPSの設定を行う

ネットワークページの［ネットワーク］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）

ここでは、カメラへのアクセスを暗号化し、通信の安全性を高めるためのHTTPSを設定します。

HTTPSの設定は次の手順で行います。

① CRT鍵（SSL暗号化キー）の生成（→112 ページ）

② 自己証明書の生成（→113 ページ）

③ 署名リクエスト（CSR）の生成（→115 ページ）

④ サーバー証明書のインストール（→116 ページ）

⑤ 接続方法の設定（→117 ページ）

お知らせ

- サーバー証明書を使用する場合、認証機関への申請～サーバー証明書の発行は、お客様と認証機関の間で行っていただく必要があります。
- 自己証明書あるいはサーバー証明書はいずれか一方を使用します。本機では、自己証明書の生成とサーバー証明書のインストールがともに行われた場合は、サーバー証明書を優先して使用します。

2.10.2.1 CRT鍵（SSL暗号化キー）の生成のしかた

重要

- 自己証明書、サーバー証明書が有効な場合は、CRT鍵の生成を行うことはできません。
- サーバー証明書を使用する場合は、認証機関によって使用できる鍵長が異なります。あらかじめ使用できる鍵長を確認してください。
- CRT鍵の生成は、1024 bitの場合で1分程度、2048 bitの場合は2分程度かかります。CRT鍵の生成が完了するまで、ブラウザーを操作しないでください。CRT鍵生成中は、画面の表示速度や通信速度が低下することがあります。

1 ［CRT鍵生成］の［実行］ボタンをクリックします。

→「CRT鍵生成ダイアログ」が表示されます。

2 ［CRT鍵生成－RSA鍵長］で、生成するCRT鍵の長さを1024bit／2048bitから選択します。

お知らせ

- サーバー証明書を使用する場合、RSA鍵長は申請する認証機関から要求される内容に従ってください。

3 ［実行］ボタンをクリックします。

→ CRT鍵の生成が始まります。
CRT鍵の生成が終了すると、［現在のCRT鍵］に生成したCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時が表示されます。

お知らせ

- 生成したCRT鍵を変更（更新）したい場合は、STEP1～3の操作を行います。CRT鍵と自己証明書、サーバー証明書は一組で有効になるため、CRT鍵を変更した場合は、あらためて自己証明書の生成あるいはサーバー証明書の申請を行う必要があります。

- CRT鍵を更新した場合、それまでのCRT鍵を1つ分履歴管理しています。「CRT鍵生成ダイアログ」の［現在のCRT鍵］で［履歴］ボタンをクリックすると、「過去のCRT鍵ダイアログ」が表示され、鍵長と生成が完了した日時を確認することができます。
「過去のCRT鍵ダイアログ」で、［適用］ボタンをクリックすると、過去のCRT鍵を現在のCRT鍵と入れ替えることができます。

2.10.2.2 自己証明書（セキュリティ証明書）の生成のしかた

重要

- CRT鍵が生成されていない場合、自己証明書の生成を行うことはできません。

1 ［自己証明書－生成］の［実行］ボタンをクリックします。
→「自己証明書－生成ダイアログ」が表示されます。

2 生成する証明書の情報を入力します。

項目	説明	入力可能文字数
［ホスト名］	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
［国名］	国別記号を入力します。（省略可能）	2文字：国名コード （日本の場合：JP）
［都道府県名］	都道府県名を入力します。（省略可能）	128文字
［市区町村名］	市区町村名を入力します。（省略可能）	128文字

項目	説明	入力可能文字数
[組織名]	組織名を入力します。(省略可能)	64文字
[部署名]	部署名を入力します。(省略可能)	64文字
[CRT鍵]	現在のCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	

お知らせ

- [ホスト名]、[都道府県名]、[市区町村名]、[組織名]、[部署名] で入力可能な文字は、0〜9(半角)、A〜Z(半角)、a〜z(半角)、半角記号 -. _ , + / ( )です。
- カメラをインターネットに公開している場合、[ホスト名] にはインターネットからアクセスするアドレスまたはホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスすると、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスするごとにセキュリティ警告画面が表示されます。
- [ホスト名] にIPv6アドレスを入力する場合は、アドレスを [ ] で囲んでください。
  例：**[2001:db8::10]**

3 入力が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。
→ 自己証明書が生成されます。

お知らせ

- 生成した自己証明書の情報は、[自己証明書－情報] に表示されます。
  自己証明書(セキュリティ証明書)の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
未生成	自己証明書が生成されていない場合
無効：CA証明書インストール済み	自己証明書が生成済みで、サーバー証明書もインストール済みの場合 • この場合、サーバー証明書が有効になります。
[自己証明書のホスト名]	自己証明書が生成済みで、有効な場合

- [確認] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書(セキュリティ証明書)の登録内容が、「自己証明書－確認」ダイアログに表示されます。

- ［削除］ボタンをクリックすると、生成した自己証明書（セキュリティ証明書）を削除します。
- 「接続方法」で「HTTPS」が選択されている場合は、自己証明書（セキュリティ証明書）の削除を行うことはできません。

2.10.2.3 署名リクエスト（CSR）の生成のしかた

重要

- CRT鍵が生成されていない場合、署名リクエスト（CSR）の生成を行うことはできません。
- 署名リクエスト（CSR）を生成する場合、ウェブブラウザーのインターネットオプションであらかじめ以下の設定を行ってください。メニューバーの「ツール」－「インターネットオプション」－「セキュリティ」タブで、
  - カメラを「信頼済みサイト」に登録する。
  - 「レベルのカスタマイズ」で「ダウンロード」－「ファイルのダウンロード」を「有効にする」に設定する。
  - 「レベルのカスタマイズ」で「ダウンロード」－「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」を「有効にする」に設定する。

1 ［CA証明書－署名リクエスト(CSR)生成］の［実行］ボタンをクリックします。

→「CA証明書－署名リクエスト(CSR)生成」ダイアログが表示されます。

2 生成する証明書の情報を入力します。

項目	説明	入力可能文字数
［ホスト名］	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
［国名］	国別記号を入力します。	2文字：国名コード
［都道府県名］	都道府県名を入力します。	128文字
［市区町村名］	市区町村名を入力します。	128文字
［組織名］	組織名を入力します。	64文字
［部署名］	部署名を入力します。	64文字

項目	説明	入力可能文字数
[CRT鍵]	現在のCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	

お知らせ

- サーバー証明書を使用する場合、入力する情報は、申請する認証機関から要求される内容に従ってください。

3 入力が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。
→「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

4「名前を付けて保存」ダイアログで、署名リクエスト（CSR）にファイル名を付け、PCに保存します。
→ 保存した署名リクエスト（CSR）を使用して認証機関に申請します。

重要

- 生成した署名リクエスト（CSR）とCRT鍵の組に対して、サーバー証明書が発行されます。認証機関に申請後、CRT鍵を生成／更新すると、発行されるサーバー証明書が使用できなくなります。

お知らせ

- 本機で生成する署名リクエスト（CSR）は、PEM形式です。

2.10.2.4 サーバー証明書のインストールのしかた

重要

- 署名リクエスト（CSR）が生成されていない場合、サーバー証明書（セキュリティ証明書）のインストールを行うことはできません。
- サーバー証明書のインストールには認証機関から発行されたサーバー証明書が必要です。

1 [CA証明書－サーバー証明書インストール] の [参照] ボタンをクリックします。
→「ファイルを開くダイアログ」が表示されます。

2 サーバー証明書ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックし、[実行] ボタンをクリックします。
→ サーバー証明書がインストールされます。

お知らせ

- インストールしたサーバー証明書に登録されているホスト名が、[CA証明書－情報] に表示されます。また、サーバー証明書の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
無効	サーバー証明書がインストールされていない場合
[サーバー証明書のホスト名]	サーバー証明書がインストール済みで、有効な場合
有効期限切れ	サーバー証明書の有効期限が切れた場合

- ［確認］ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書（セキュリティ証明書）の内容が、「CA証明書－確認」ダイアログに表示されます。（部署名欄のみアスタリスクが表示されます。）

- ［削除］ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書（セキュリティ証明書）を削除します。
- 「接続方法」で「HTTPS」が選択されている場合は、サーバー証明書（セキュリティ証明書）の削除を行うことはできません。
- サーバー証明書を更新する場合は、STEP1～STEP2の操作を行います。

重要

- 有効なサーバー証明書（セキュリティ証明書）を削除する場合は、PC、記録メディアなどにサーバー証明書（セキュリティ証明書）のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、サーバー証明書（セキュリティ証明書）が必要になります。
- サーバー証明書の有効期限が切れると、HTTPS機能を使用することができなくなります。この場合、再起動すると、接続方法がHTTPに変更されます。サーバー証明書の有効期限が切れる前に、サーバー証明書の更新を行ってください。
- サーバー証明書の有効期限は、認証機関から発行されたサーバー証明書ファイルをダブルクリックすると確認することができます。

2.10.2.5 接続方法の設定

1 ［接続方法］で、カメラへのアクセス方法を設定します。
HTTP：HTTP接続のみ可能になります。
HTTPS：HTTPS接続のみ可能になります。

2 ［HTTPSポート］に、HTTPSで使用するポート番号を設定します。
設定可能ポート番号：1～65535
初期設定：443
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、554、995、10669、10670、59000～61000

3 ［設定］ボタンをクリックします。
→ カメラが再起動し、HTTPSでのカメラへのアクセスが有効になります。

（→PCから画像を見る：7 ページ、携帯電話から画像を見る：14 ページ、携帯端末から画像を見る：16 ページ）

お知らせ

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。
- 自己証明書を使用する場合の注意
  HTTPSでカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書（セキュリティ証明書）をPCにインストールしてください。（→119 ページ）
- サーバー証明書を使用する場合の注意
  あらかじめご使用のブラウザーに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスしたときに、画像が乱れることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

2.10.3 HTTPSでカメラにアクセスする

1 PCでウェブブラウザーを起動します。

2 カメラのIPアドレスを、ウェブブラウザーの［アドレス］ボックスに入力します。
入力例：`https://192.168.0.10/`

重要

- HTTPSポートが番号が「443」から変更されている場合は、「https://カメラのIPアドレス：ポート番号」を［アドレス］ボックスに入力してください。
  例：**`https://192.168.0.11:61443`**
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、ウェブブラウザー（メニューバーの「ツール」－「インターネットオプション」）からプロキシサーバーの設定を行ってください。

3 ［Enter］キーを押します。

→ ライブ画ページが表示されます。
セキュリティ警告画面が表示されたら、セキュリティ証明書をインストールします。（→119 ページ～124 ページ）
「ユーザー認証」を「On」に設定した場合、ライブ画ページが表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

重要

- HTTPSを使用すると、画面表示や画像表示が遅くなり、画像更新間隔（フレームレート）も遅くなることがあります。

2.10.3.1 セキュリティ証明書をインストールする

HTTPSを使用してカメラにアクセスするときに、アクセスするカメラのセキュリティ証明書がPCにインストールされていない場合に、セキュリティの警告画面が表示されます。この警告画面を表示しないようにするには、以下の手順に従ってセキュリティ証明書をインストールする必要があります。インストールしない場合は、アクセスするごとにセキュリティの警告画面が表示されます。

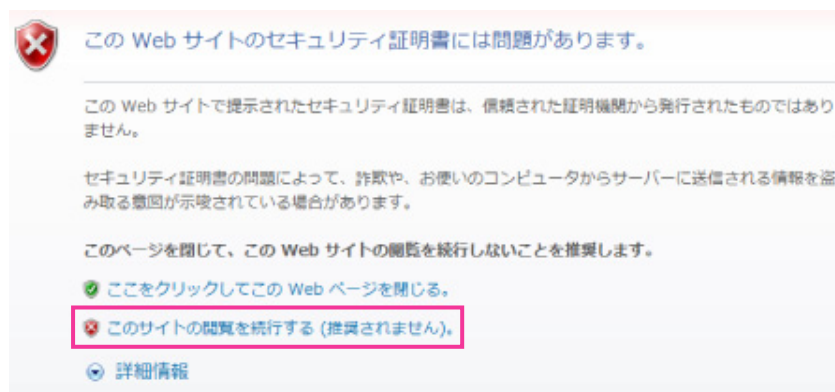
お知らせ

- ［ホスト名］に設定している内容でセキュリティ証明書がPCにインストールされます。そのため、［ホスト名］に設定している内容をカメラにアクセスするためのアドレス／ホスト名に合わせる必要があります。異なる場合は、アクセスするごとにセキュリティの警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書をインストールしても、カメラのアドレス／ホスト名を変更した場合は、セキュリティの警告画面が表示されます。再度、セキュリティ証明書をインストールしてください。
- インターネットに公開している場合、［ホスト名］には、インターネットからアクセスするアドレス／ホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスした場合、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスするごとにセキュリティ警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書が正しくインストールされると、カメラにアクセスしたブラウザーの［アドレス］ボックスに鍵のアイコンが表示されます。（Internet Explorer 7.0、Internet Explorer 8.0、Internet Explorer 9.0の場合）

Internet Explorer 7（日本語版）、Internet Explorer 8（日本語版）、Internet Explorer 9（日本語版）の場合

Windows XP Internet Explorer 7、Windows XP Internet Explorer 8 の場合、少し画面が異なりますのでご注意ください。

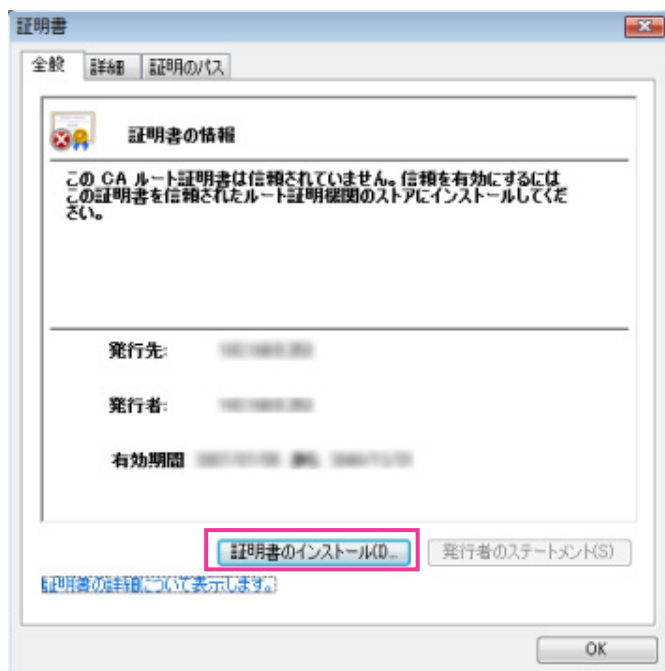
1 HTTPSでカメラにアクセスします。

2 セキュリティ警告画面が表示されたら、「このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）。」をクリックします。

→ ユーザー名とパスワードを入力後、ライブ画ページが表示されます。

お知らせ

- カメラ以外の機器／サイトにアクセスし、上記の画面が表示された場合は、セキュリティ上の問題がある可能性がありますので、よくご確認ください。

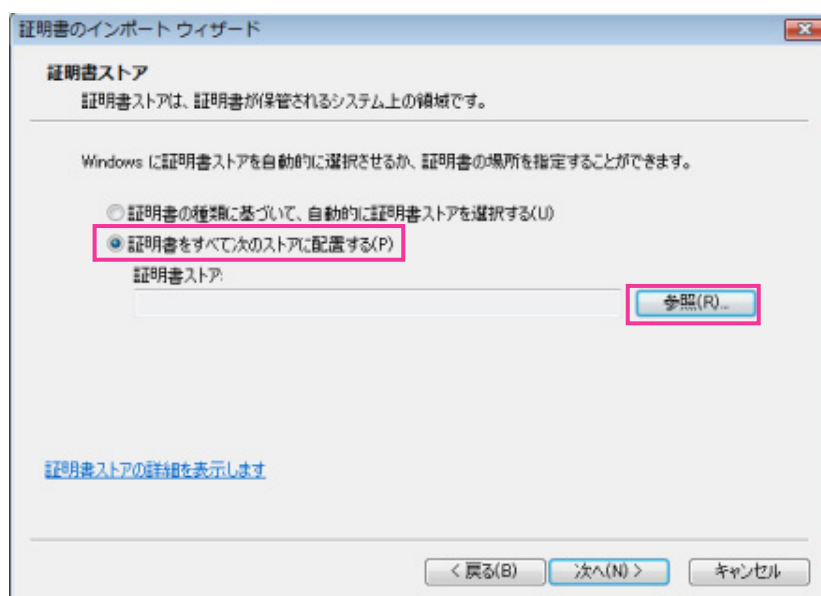
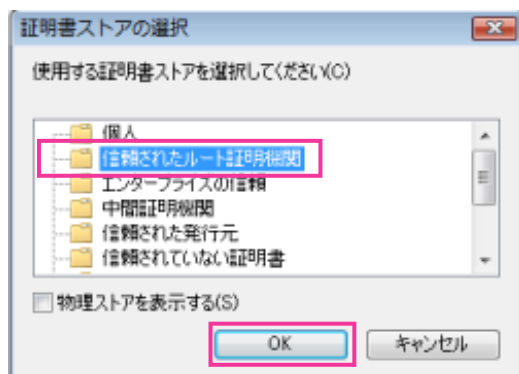
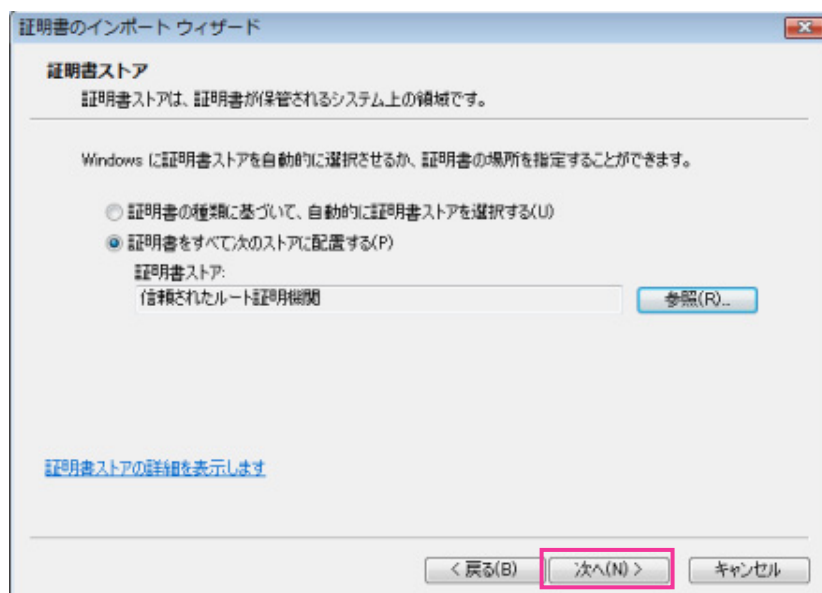
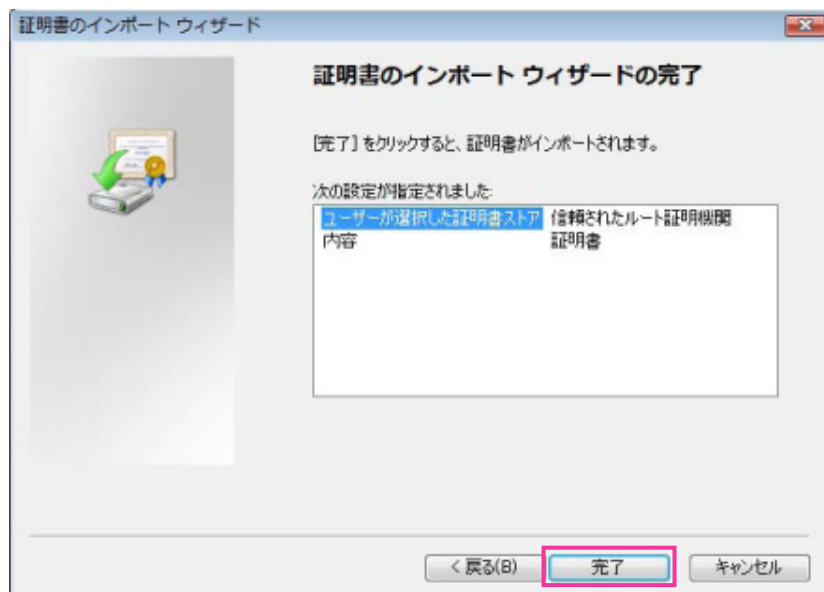
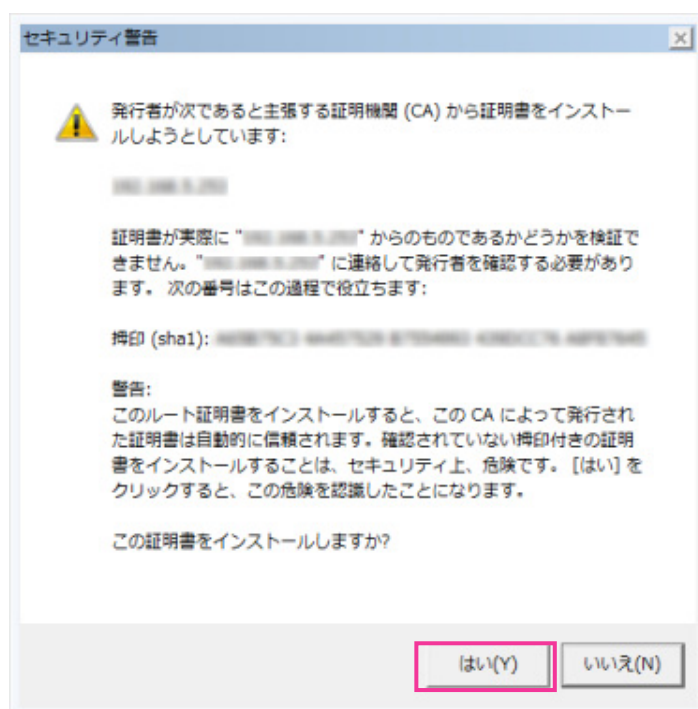
3 URL上の「証明書のエラー」をクリックし、「証明書の表示」をクリックします。

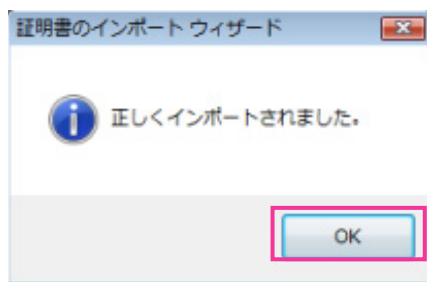
4 「証明書のインストール(I)...」をクリックします。

お知らせ

- 「証明書のインストール(I)...」が表示されない場合は、一度Internet Explorerを閉じて、「管理者として実行(A)...」を選択し起動してください。

［スタート］ → ［プログラム］ → ［Internet Explorer］を右クリック→「管理者として実行(A)...」をクリックします。

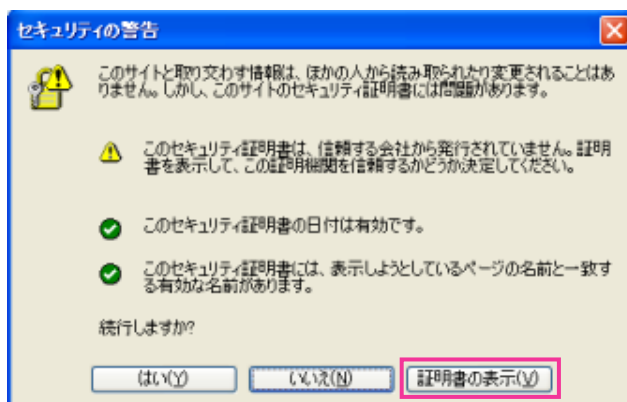
5 証明書のインポートウィザードに表示される「次へ」をクリックします。

6 「証明書をすべて次のストアに配置する(P)」を選択し、「参照(R)...」をクリックします。

7 「信頼されたルートの証明機関」を選択し、「OK」をクリックします。

8 「次へ」をクリックします。

9 「完了」をクリックします。

10「はい」をクリックします。

→ インポートが終了すると、「正しくインポートされました。」の画面が表示されます。

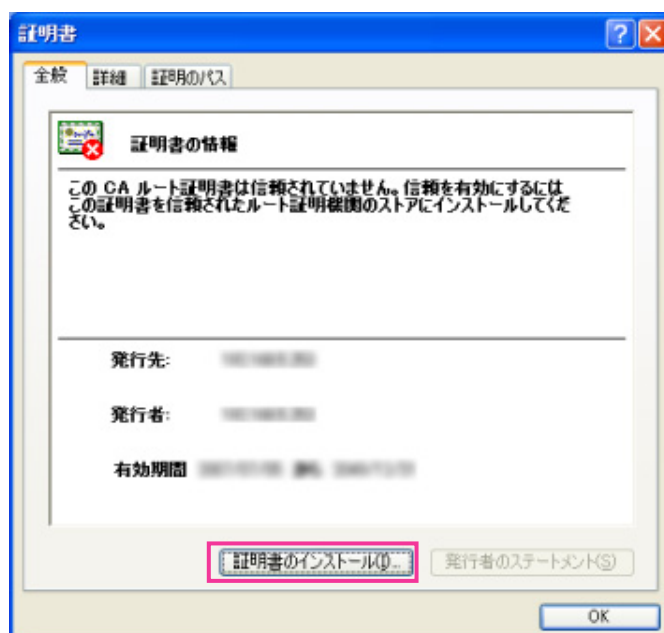
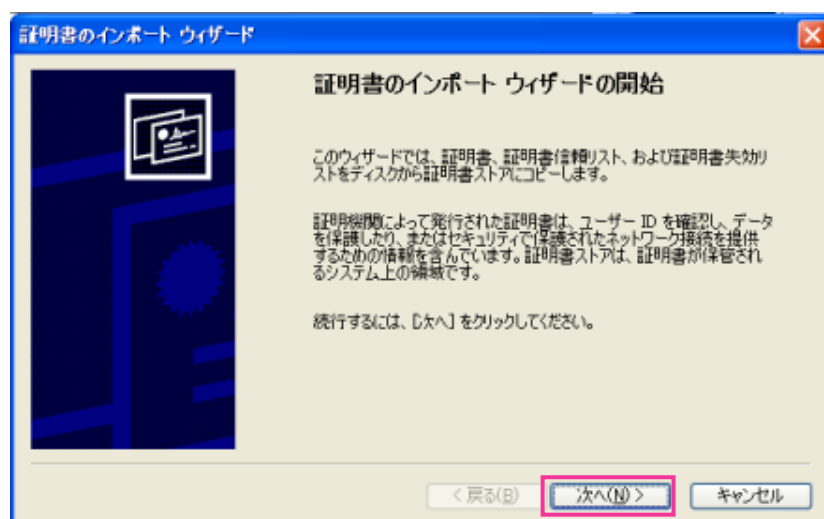
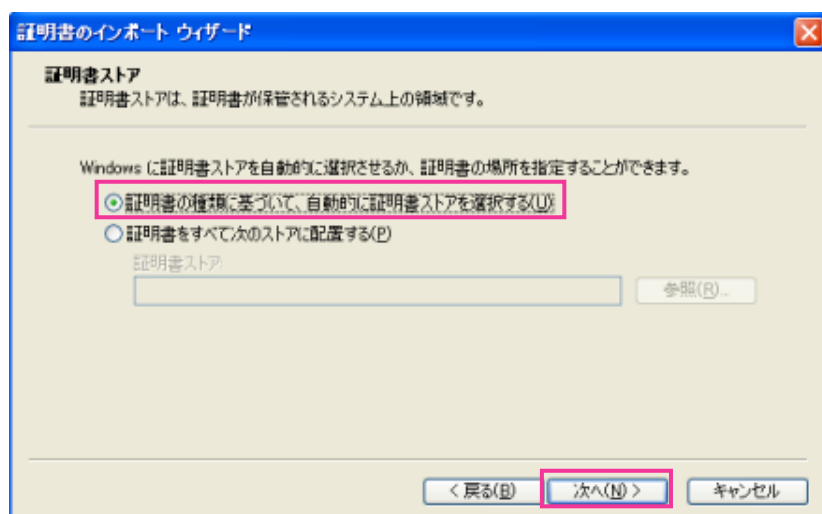
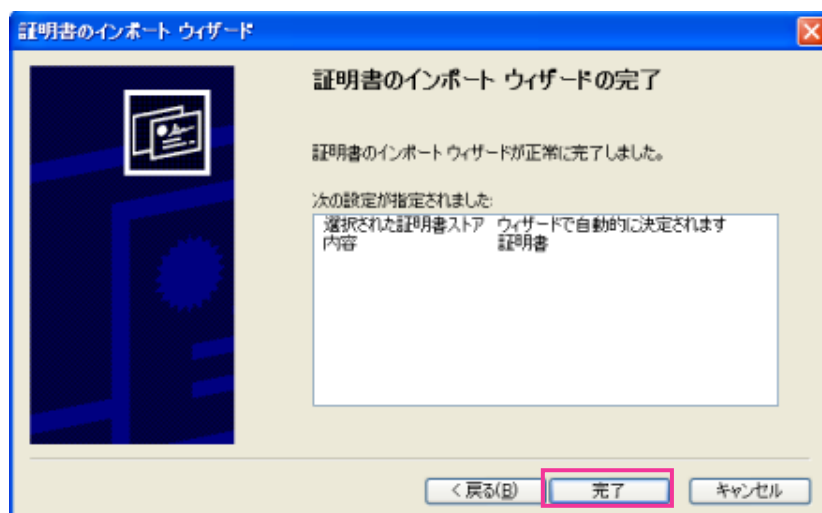
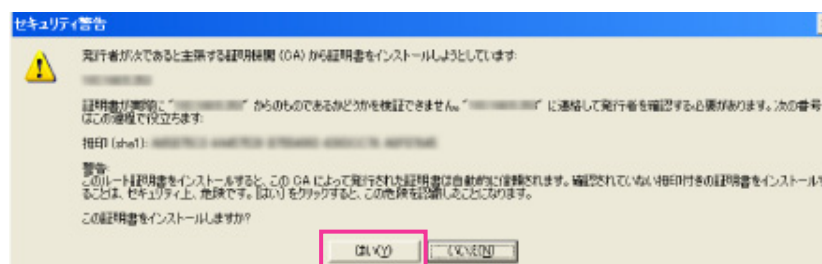
11「OK」をクリックします。

→ 証明書をインポートしたあとブラウザーを閉じて、再接続すると、「証明書エラー」は表示されなくなります。

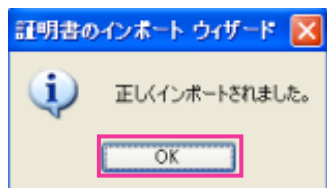
OS：Windows XPウェブブラウザー：Internet Explorer 6（日本語版）の場合

1 HTTPSでカメラにアクセスします。

2 「証明書の表示(V)」をクリックします。

お知らせ

- カメラ以外の機器／サイトにアクセスし、上記の画面が表示された場合は、セキュリティ上の問題がある可能性がありますので、よくご確認ください。

3 「証明書のインストール(I)...」をクリックします。

4 証明書のインポートウィザードで表示される手順に従い「次へ」をクリックしていきます。

5 「完了」をクリックします。

6 セキュリティ警告画面が表示されるので、「はい」をクリックします。

→ インポートが終了すると、「正しくインポートされました。」の画面が表示されます。

7 「OK」をクリックします。

→ 証明書をインポートしたあとブラウザーを閉じて、再接続すると、「証明書エラー」は表示されなくなります。

2.10.4 DDNSを設定する［DDNS］

ネットワークページの［DDNS］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
インターネット経由で本機にアクセスするには、DDNS機能を設定する必要があります。
本機でDDNS機能を使用する場合、以下のいずれかのDDNSサービスが利用できます。

- 「みえますねっと」サービス
- ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）

重要

- DDNSサービスを利用する前に、ルーターにポートフォワーディング設定をする必要があります。
- ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）について
  「みえますねっと」サービス以外のDDNSサービスに関する動作保証は一切行っていません。したがって、「みえますねっと」サービス以外のDDNSサービスの利用により、カメラをお使いの環境に何らかの障害や損害が発生したとしても、責任を負いかねます。
  「みえますねっと」サービス以外のDDNSサービスの選定・設定に関しては、当該サービスの提供事業者にお問い合わせください。

お知らせ

- 「みえますねっと」サービス（有料）は、当社がお勧めするDDNSサービスです。「みえますねっと」サービスについては、「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://www.miemasu.net/）を参照してください。

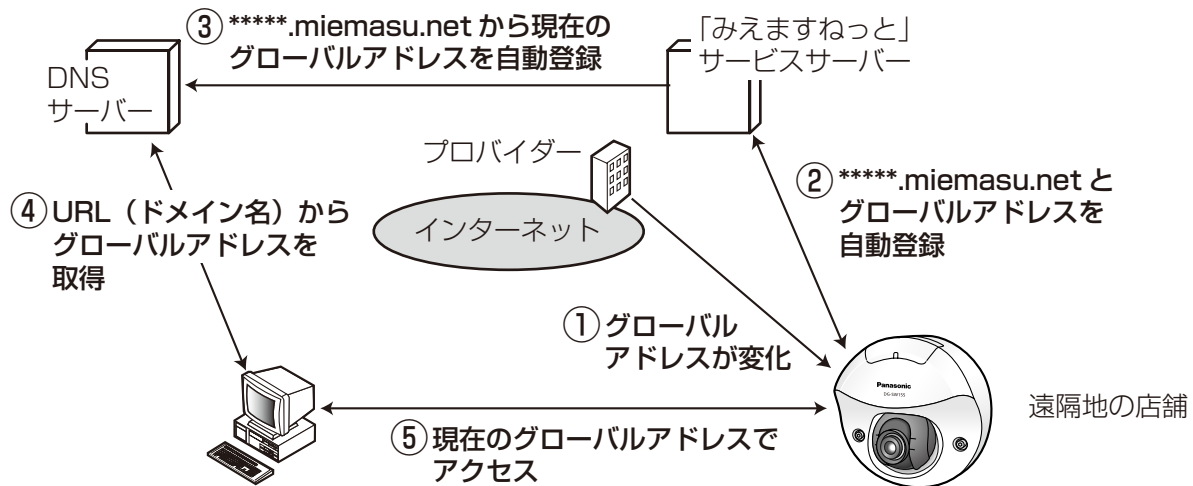
DDNSサービスについて（IPv4／IPv6）

DDNSサービスを利用することによって、インターネット経由でカメラ画像を見ることができます。
DDNSサービスは、動的（ダイナミック）に変化するグローバルアドレスとドメイン名を対応づけるサービスです。当社がお勧めするDDNSサービスの「みえますねっと」サービス（有料。IPv6に対応していますが、IPv4／IPv6両方の接続環境が必要です。）、または「ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）」を設定できます。
多くのプロバイダーが提供するサービスはグローバルアドレスが固定ではなく変化するため、時間が経過すると以前のグローバルアドレスでカメラにアクセスできなくなる場合があります。グローバルアドレスが固定されない環境のカメラに、インターネットからアクセスするには、以下のいずれかのサービスが必要です。

- DDNSサービス（「みえますねっと」サービスなど）
  グローバルアドレスが変化しても、登録した固定のドメイン名（例：`*****.miemasu.net`）でアクセスできるサービスです。IPv6接続を利用する場合もドメイン名サービスに加入する必要があります。

「みえますねっと」サービスの詳細情報については、「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://panasonic.co.jp/pns/miemasunet/mnet/）を参照してください。

- 固定IPアドレスサービス（ご契約プロバイダーのサービスなど）
  グローバルアドレスが変化しない（固定）サービスです。

DDNSサービスの仕組み（「みえますねっと」サービスの場合）

① 契約しているプロバイダーがグローバルアドレスをルーター（またはカメラ）に割り当てます。このときに割り当てられるグローバルアドレスは、固定ではなく変化するアドレスになります。

② 「みえますねっと」サービスに加入していただいた場合は、カメラには固有の「ドメイン名」（例：`*****.miemasu.net`）が割り当てられます。カメラが、自動的に「みえますねっと」サービスサーバーにルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスを通知することで（「みえますねっと」サービスサーバーが）、カメラのドメイン名とルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスを管理します。

③ 「みえますねっと」サービスサーバーは、ルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスとドメイン名をDNSサーバーに登録します。

④ インターネット経由でカメラにアクセスする際、ウェブブラウザーにドメイン名を含むURLを入力することで、DNSサーバーが、登録されているルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスを割り出します。

⑤ 割り出したグローバルアドレスでルーター（またはカメラ）へアクセスし、画像をモニタリングできます。

お知らせ

- 使用しているIPアドレスが固定かどうかについては、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- プロバイダーによっては、ローカルアドレスが割り振られる場合があります。その場合は、DDNSサービスは利用できませんので、契約しているプロバイダーにご確認ください。

- **[DDNS]**
  DDNSを使用するかどうか、使用するDDNSサービスを選択します。

Off：DDNSを使用しません
みえますねっと：「みえますねっと」サービスを使用します。
ダイナミックDNS Update（DHCP連携なし）：ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）をDHCP連携なしで使用します。
ダイナミックDNS Update（DHCP連携）：ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）をDHCP連携で使用します。
初期設定：Off

お知らせ

- ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）を使用する場合、DHCP連携なし／DHCP連携の選択は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2.10.4.1 みえますねっとを使用する場合

- **[カメラURL]**
  「みえますねっと」サービスに登録された、カメラのURLが表示されます。
  初回設定時、[設定］ボタンをクリックすると、仮URLが表示されます。
- **[「みえますねっと」サービスへのリンク]**
  表示されているURLをクリックすると「みえますねっと」サービスの登録画面が新しいウインドウで開きます。
  「みえますねっと」サービスの登録画面で、サービスの登録を行います。
- **[アクセス間隔]**
  「みえますねっと」サービスサーバーに対してIPアドレスとホスト名を確認する間隔を以下から選択します。
  10min／20min／30min／40min／50min／1h
  初期設定：1h

「みえますねっと」サービスの登録手順

1 [DDNS]で[みえますねっと]を選択し、[設定]ボタンをクリックします。
→ [「みえますねっと」サービスへのリンク］にURLが表示されます。
[「みえますねっと」サービスへのリンク］にURLが表示されない場合は、カメラのネットワークの設定が正しいかを確認してください。また、カメラがインターネットに接続されているか確認し、再度、[設定]ボタンをクリックしてください。

2 [「みえますねっと」サービスへのリンク] に表示されているURLをクリックします。

→「みえますねっと」サービスの登録画面が新しいウインドウで開きます。
「みえますねっと」サービスの登録画面が表示されない場合は、PCがインターネットに接続されているか確認し、ブラウザーの更新ボタンをクリックしてください。

3 「みえますねっと」サービスの登録画面に従って、「みえますねっと」サービスの登録を行います。

→「みえますねっと」サービスの登録画面に［サービスの開始］画面が表示されたら、登録画面を閉じてください。
登録時に設定したカメラURLを使ってカメラにアクセスできます。ただし、カメラと同じネットワーク（LAN）に接続されているPCからは、このURLではアクセスできません。

お知らせ

- 「みえますねっと」サービスへの登録が完了すると、［カメラURL］に登録されたURLが表示されます。（登録されたカメラのURLが有効になるまで、最大で30分くらいかかる場合があります。）
- 「みえますねっと」サービスをあとで解除する場合は、「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://www.miemasu.net/）にアクセスして解約してください。
- みえますねっと設定画面またはステータス画面の「みえますねっと」のカメラURLに、「期限切れです」と表示されたときは、「みえますねっと」サービス登録後にカメラを再起動してください。再起動後、メンテナンス画面の［ステータス］－［みえますねっと］のカメラURLに、登録したURLが表示されていることを確認してください。
- [「みえますねっと」サービスへのリンク] の横に表示されているURLにアクセスして、「みえますねっと」サービスへの登録情報を確認できます。URLが表示されない場合は、PCがインターネットに接続されていることを確認して、［設定］ボタンをクリックしてください。
- ルーターのグローバルアドレスが変わり、アクセスできないことが多く発生する場合は、［アクセス間隔］を小さい値に設定してください。

「みえますねっと」サービスの登録を確認する

カメラが「みえますねっと」サービスに登録されたか確認することができます。（→141 ページ）

2.10.4.2 ダイナミックDNS Update（DHCP連携なし）を使用する場合

- **［ホスト名］**
  ダイナミックDNS Updateサービスで使用するホスト名を入力します。
  入力可能文字数：3～250文字（ホスト名）.（ドメイン名）形式で入力
  初期設定：空欄

  お知らせ
  - 使用できるホスト名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- **［アクセス間隔］**
  ダイナミックDNS UpdateサービスサーバーにIPアドレスとホスト名を確認する間隔を以下から選択します。
  10min／20min／30min／40min／50min／1h／6h／24h
  初期設定：24h

2.10.4.3 ダイナミックDNS Update（DHCP連携）を使用する場合

- **［ホスト名］**
  ダイナミックDNS Updateサービスで使用するホスト名を入力します。
  入力可能文字数：3～250文字（ホスト名）.（ドメイン名）形式で入力
  初期設定：空欄

  お知らせ
  - 使用できるホスト名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2.10.5 SNMPを設定する［SNMP］

ネットワークページの［SNMP］タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ)

ここでは、SNMP機能に関する設定を行います。SNMPマネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。SNMP機能を使用する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

- **[コミュニティー名]**
  監視の対象となるコミュニティー名を入力します。
  入力可能文字数：0～32文字
  初期設定：空欄

  重要
  - SNMP機能を使用する場合は、必ずコミュニティー名を入力してください。コミュニティー名が空欄の場合は、SNMP機能を使用できません。

- **[機器名]**
  SNMP機能を使用して本機を管理するための機器名を入力します。
  入力可能文字数：0～32文字
  初期設定：空欄
- **[機器の物理的位置]**
  本機を設置した場所を入力します。
  入力可能文字数：0～32文字
  初期設定：空欄
- **[連絡先]**
  管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。
  入力可能文字数：0～255文字
  初期設定：空欄

2.10.6 FTP定期送信を設定する［FTP定期］

ネットワークページの［FTP定期］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
ここでは、FTPサーバーへ定期的に画像を送信する場合の設定を行います。FTPサーバーへ定期的に画像を送信するには、FTPサーバーの設定が必要です（→100 ページ）。画像を送信する場合のスケジュールの設定については、134 ページをお読みください。

重要
- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。
- FTP定期送信とアラーム画像送信を同時に使用すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、FTP定期送信で設定した間隔で送信できないことがあります。

SW155：

- FTP定期送信機能を使用する場合は、「SDメモリーカード」タブで「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください。

お知らせ

SW155：

- ［SDメモリーカード］タブで「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定している場合、FTP定期送信に失敗したときに、SDメモリーカードへ自動的に画像を保存することもできます。（→22 ページ）

FTP定期送信

- **［FTP設定へ］**
  クリックするとサーバーページの［FTP］タブが表示されます。（→100 ページ）
- **［定期送信］**
  FTP定期送信を行うかどうかをOn／Offで設定します。
  「On」に設定した場合は、FTPサーバーの設定を行ってください。（→100 ページ）
  初期設定：Off
- **［ディレクトリー名］**
  送信する画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。
  例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のimgディレクトリーを指定する場合は、「**/img**」と入力します。
  入力可能文字数：1～256文字
  初期設定：空欄
- **［ファイル名］**
  送信する画像ファイル名を入力し、ファイル名形式を以下から選択します。
  ファイル名＋日時：「入力したファイル名＋送信日時（年月日時分秒）＋00」をファイル名として使用します。
  ファイル名を固定：入力したファイル名をそのまま使用します。「固定」に設定すると、常に送信したファイルに上書きされます。
  入力可能文字数：1～32文字
  初期設定：空欄

  お知らせ

  - 「ファイル名＋日時」を選択した場合、サマータイム中は「入力したファイル名＋送信日時（年月日時分秒）＋00」のあとに「s」が付加されたファイル名になります。

- **［送信間隔］**
  送信間隔を以下から選択します。

1s／2s／3s／4s／5s／6s／10s／15s／20s／30s／1min／2min／3min／4min／5min／6min／10min／15min／20min／30min／1h／1.5h／2h／3h／4h／6h／12h／24h
初期設定：1s

- **［解像度］**
  送信する画像ファイルの解像度を以下から選択します。
  - **「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合**
    QVGA／VGA／1280×960*1
  - **「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合**
    320×180／640×360／1280×720*1

  初期設定：VGA

---

*1 SW155 SF135

2.10.7 FTP定期送信スケジュールの設定を行う［FTP定期］

ネットワークページの［FTP定期］タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ)
ここでは、FTPサーバーへ定期的に画像を送信する場合のスケジュールを設定します。定期送信に関する設定については、132 ページをお読みください。

2.10.7.1 スケジュールの設定のしかた

1 「スケジュール」で、スケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。
→ 曜日が有効になります。

2 時間を指定するときは、［▼］をクリックして時間を指定します。
時間帯を指定しないときは「24h」にチェックを入れます。

3 設定が終了したら、[設定] ボタンをクリックします。
→ 画面下に設定した内容が表示されます。

2.10.7.2 スケジュールの削除のしかた

1 スケジュールを削除する曜日ボックスのチェックを外します。

2 設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。
→ 選択した曜日のスケジュールが削除されます。

2.11 スケジュールの設定を行う［スケジュール］

スケジュールページでは、動作検知許可、画像公開許可、SD録画 SW155 のスケジュールの設定を行います。スケジュールページは、［スケジュール］タブのみで構成されています。
スケジュールは、最大5個まで設定することができます。

1 「動作モード」からスケジュールの動作を選択します。
初期設定時は「Off」に設定されています。
Off：スケジュール動作を行いません。
動作検知許可：スケジュール設定されている間、動作検知を許可します。
画像公開許可：スケジュール設定されている間以外は、［ユーザー認証］タブ（→95 ページ）で設定したアクセスレベル2、3のユーザーからの画像閲覧を禁止します。
SD録画 SW155 **：**スケジュール設定された時間になると、SD録画を行います。なお、H.264のときのみ有効です。

お知らせ

- 「画像公開許可」で使用する場合は、［ユーザー認証］タブの「ユーザー認証」（→95 ページ）を「On」に、［ホスト認証］タブの「ホスト認証」（→96 ページ）を「Off」に設定してください。

SW155 ：

- 「SD録画」で使用する場合は、［SDメモリーカード］タブの［録画圧縮方式］を「H.264」にし、［保存モード］を「スケジュール保存」に設定してください。（→42 ページ）

2 「スケジュール」でスケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。

3 時間を指定するときは［▼］をクリックして時間を設定します。
時間帯を設定しないときは「24h」にチェックを入れます。

4 設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。
→ 画面下に設定した内容が表示されます。

お知らせ

- スケジュール1～スケジュール5に表示されている色は、画面下のスケジュール欄に表示される線の色を表しています。

2.12 本機のメンテナンスを行う［メンテナンス］

メンテナンスページでは、システムログの確認やソフトウェアのバージョンアップ、ステータスの確認、本機の初期化などを行います。
メンテナンスページは、［システムログ］タブ、［バージョンアップ］タブ、［ステータス］タブ、［初期化］タブで構成されています。

2.12.1 システムログを確認する［システムログ］

メンテナンスページの［システムログ］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）
SW155 ：［SDメモリーカード］タブで「SDメモリーカード」を「使用する」に設定（→42 ページ）し、SDメモリーカードが本機に取り付けられている場合は、SDメモリーカード内に最大4000件のシステムログを保存できます。
システムログは100件ずつ表示されます。
SDメモリーカードを使用した場合、カメラの電源を切ってもログは保存されます。SDメモリーカードを使用しない場合、カメラの電源を切るとログは消去されます。
「SDメモリーカード」を「使用しない」に設定した場合は、本機の内部メモリーに最大100件までシステムログを保存できます。内部メモリーで保存できるシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。
SF135 SF132 ：システムログは、本機の内部メモリーに最大100件まで保存できます。
保存できるシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。

- **［次の100件>>］** SW155
  クリックすると、表示しているシステムログ一覧の次の100件を表示されます。
- **［<<前の100件］** SW155
  クリックすると、表示しているシステムログ一覧の前の100件を表示されます。
- **［No］**
  システムログの通し番号が表示されます。
- **［発生日時］**
  ログの発生日時が表示されます。

  お知らせ

  - 「時刻表示形式」（→39 ページ）を「Off」に設定している場合、ログの発生日時は24時間形式で表示されます。

- **［内容］**
  システムログの内容が表示されます。
  各システムログの内容について詳しくは、144 ページをお読みください。

2.12.2 ソフトウェアのバージョンアップを行う［バージョンアップ］

メンテナンスページの［バージョンアップ］タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ)
ここでは、本機のソフトウェアのバージョンを確認し、ソフトウェアを最新のバージョンに更新できます。
バージョンアップ用ソフトウェアについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

[代表品番]、[MACアドレス]、[シリアル番号]、[ソフトウェアバージョン]、[IPLバージョン]、[HTMLバージョン]、[IPアドレス(IPv6)]、[プラグインソフトウェアのインストール回数]、[製造からの経過年数]
本機の各情報が表示されます。

1 お買い上げの販売店にお問い合わせのうえ、最新のソフトウェアをPCのハードディスクにダウンロードします。

重要

- 保存ディレクトリーには、スペース、全角文字は使用できません。

2 ［参照］ボタンをクリックしてダウンロードしたソフトウェアを指定します。

3 ラジオボタンをクリックして、バージョンアップ完了後にデータの初期化を行うかどうかを選択します。

お知らせ

- 初期化を行うと、設定データの復元ができませんのでご注意ください。

4 ［実行］ボタンをクリックします。
→ バージョンアップの実行とデータ初期化の確認画面が表示されます。バージョンアップ後にデータの初期化を行わない場合は、確認画面は表示されません。

重要

- バージョンアップを行ったあとは必ずインターネット一時ファイルを削除してください。（→148 ページ）
- バージョンアップは、本機と同じサブネット内にあるPCで行ってください。
- バージョンアップ用ソフトウェアを使用する場合は、お買い上げの販売店に注意事項を必ずご確認のうえ、その指示に従ってください。
- アプリケーションソフトのバージョンアップ時に使用するソフトウェアは、当社指定のimgファイルを使用してください。
  バージョンアップ時に使用するソフトウェアのファイル名は、必ず「機種名**_xxxxx.img**」（機種名は小文字で、「DG-」は不要。）にしてください。
  ※「**xxxxx**」にはソフトウェアのバージョンが入ります。
- バージョンアップ中は、本機の電源を切らないでください。
- バージョンアップ中は、バージョンアップが終了するまで一切の操作を行わないでください。
- 以下のネットワーク関連のデータは「バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行う」を選択した場合でも初期化されません。
  DHCPのOn／Off、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPポート、HTTPSポート、HTTP／HTTPS接続方法、CRT鍵、サーバー証明書、UPnP設定、通信速度、配信量制御（ビットレート）、時刻設定
- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2.12.3 ステータスを確認する［ステータス］

メンテナンスページの［ステータス］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）

ここでは、本機のステータスを確認することができます。

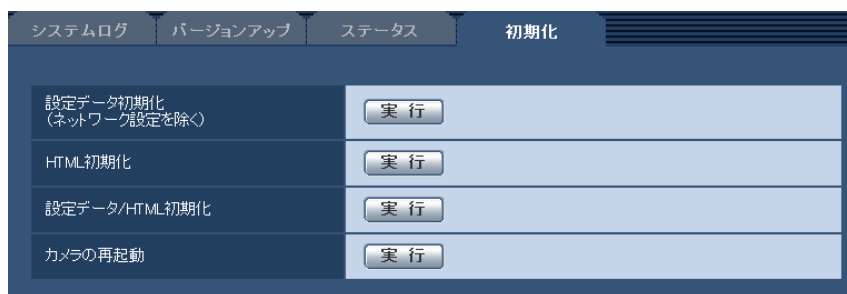
- **[みえますねっと]**
  サーバー：「みえますねっと」サービスサーバーのURLが表示されます。
  ステータス：「みえますねっと」サービスへの登録状態が表示されます。
  カメラURL：「みえますねっと」サービスに登録されたカメラのURLが表示されます。
- **[UPnP]**
  ポート番号（HTTP）、ポート番号（HTTPS）：UPnPでポートフォワーディング設定されたポート番号が表示されます。
  ステータス：ポートフォワーディングの状態が表示されます。
  ルーターのグローバルアドレス：ルーターのグローバルアドレスが表示されます。
- **[自己診断]**
  ハードウェアの自己診断結果が表示されます。

  お知らせ

  - ステータスの表示内容（みえますねっと、UPnPの各ステータス、自己診断）については、付属のCD-ROM内の「はじめにお読みください（Readmeファイル）」をお読みください。または、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.biz/security/support/info.html）を参照ください。

2.12.4 本機を初期化・再起動する［初期化］

メンテナンスページの［初期化］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：34 ページ、35 ページ）

ここでは、本機の設定データやHTMLの初期化、本機の再起動を行います。

- **[設定データ初期化(ネットワーク設定を除く)]**
  ［実行］ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化されません。
  初期化動作を行うと、約3分間操作できません。
- **[HTML初期化]**
  ［実行］ボタンをクリックすると、HTMLファイルを初期設定に戻します。
  初期化動作を行うと、約3分間操作できません。
- **[設定データ/HTML初期化]**
  ［実行］ボタンをクリックすると、本機の設定内容とHTMLファイルを初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化されません。
  初期化動作を行うと、約3分間操作できません。
- **[カメラの再起動]**
  ［実行］ボタンをクリックすると、本機を再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約2分間操作できません。

お知らせ

- ネットワークの設定内容（→103 ページ）を初期化する場合は、本機の電源を切り、本機の初期化ボタンを押しながら本機の電源を入れて、そのまま初期化ボタンを約5秒間押し続けてください。約3分後に本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。電源を入れてから約3分間は本機の電源を切らないでください。

SW155 ：

- 通知機能を使用すると、再起動後にSDメモリーカードが取り付けられていない、SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている、などのエラーが起こると、設定した「通知先メールアドレス」や独自アラーム通知先に通知することができます。（→89 ページ、90 ページ）

3 その他

3.1 システムログ表示について

SMTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
POP3サーバーエラー	認証エラー	• ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	POP3サーバー見つからず	• サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 • POP3サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
SMTPサーバーエラー	SMTP認証エラー	• ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	DNSからMailサーバーアドレス解決できず	• DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 • DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	SMTPサーバー見つからず	• サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 • SMTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	• メール機能で問題が発生しています。メール設定を再確認してください。

FTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
FTPサーバーエラー	DNSからFTPサーバーアドレス解決できず	• FTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。 • サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。
	FTPサーバー見つからず	

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	転送エラー	• FTPサーバーの設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。 • 各表示内容の設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。
	Passiveモードでのエラー	
	ログアウト失敗	
	ディレクトリー変更に失敗	
	ユーザー名パスワードエラー	
内部エラー	その他のエラー	• FTP機能で問題が発生しています。FTP設定を再確認してください。

みえますねっとに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
みえますねっとサーバーエラー	DNSからみえますねっとサーバーアドレス解決できず	• DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 • DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	サーバー応答なし	• みえますねっとサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にお問い合わせください。
	転送エラー	
内部エラー	その他のエラー	• みえますねっと機能で問題が発生しています。みえますねっとの設定を再確認してください。

ダイナミックDNS Updateに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
DDNSサーバーエラー	DNSからDDNSサーバーアドレス解決できず	• DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 • DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	サーバー応答なし	• DDNSサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にお問い合わせください。
	同名ホスト登録	• DDNSサーバーに同名のホストが登録されています。DDNS Updateの設定を再確認してください。
内部エラー	その他のエラー	• DDNS Update機能で問題が発生しています。DDNS Updateの設定を再確認してください。

NTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	• サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 • NTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。
内部エラー	その他のエラー	• NTP機能で問題が発生しています。NTP設定を再確認してください。
NTPによる時刻同期成功	時刻自動補正しました	• 時刻修正が成功しました。

HTTPSに関するログ表示

分類	表示内容	内容詳細
HTTPS	自己証明書を生成しました	• 自己証明書の生成が完了しました。
	自己証明書を削除しました	• 自己証明書を削除が完了しました。
	署名リクエストを生成しました	• 署名リクエストの生成が完了しました。
	サーバー証明書をインストールしました	• サーバー証明書のインストールが完了しました。
	サーバー証明書を削除しました	• サーバー証明書の削除が完了しました。
	過去のCRT鍵を適用しました	• CRT鍵として過去のCRT鍵を適用しました。
	CRT鍵を生成しました	• CRT鍵の生成が完了しました。

ログインに関する表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン	ユーザー名またはIPアドレス	• ユーザー認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのユーザー名を表示します。 • ホスト認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのIPアドレスを表示します。

製造年月警告に関する表示

分類	表示内容	内容詳細
製造年月警告	製造からX年経過しました。点検をおすすめします。	• 本機が製造から6年または11年以上経過した時点で表示します。安全と性能維持のために日常点検に加え、販売店での点検をお勧めします。

3.2 故障かな!?

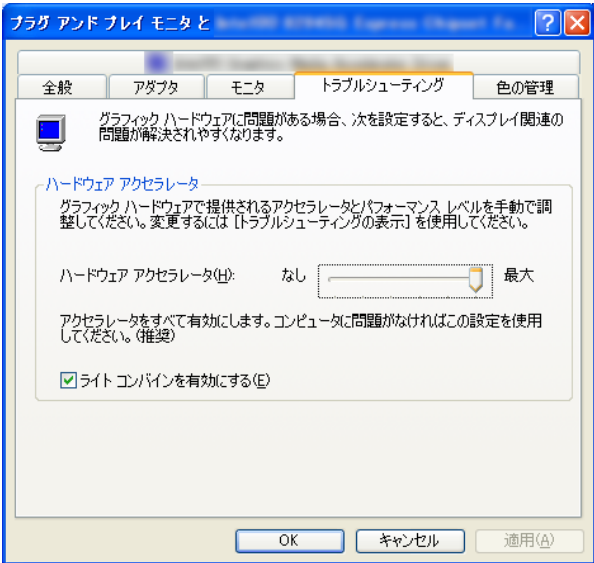
修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照
ウェブブラウザーからアクセスできない	• ネットワークコネクターにカテゴリー5以上のケーブルは接続されていますか？	取扱説明書 基本編
	• リンクランプは点灯していますか？ 点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。	取扱説明書 基本編
	• 本機の電源は入っていますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。	取扱説明書 基本編
	• 本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？	104 ページ
	• 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 Windowsのコマンドプロンプトで **> ping** 「本機に設定したIPアドレス」 で、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。 Replyが返ってこない場合は、次のいずれかの操作を行ってください。 • 本機を再起動し、20分以内にIP簡単設定ソフトウェアを使って、IPアドレスを変更する。 • 初期化ボタンにより、本機を再起動して初期化を行い、IPアドレスを「**192.168.0.10**」に戻す。 その後、本機にアクセスしてIPアドレスを再設定する（このとき、本機の設定データはすべて初期化されます）。	— 取扱説明書 基本編
	• HTTPポート番号に554を設定していませんか？ HTTPポート番号は、本機で使用する20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 110, 123, 161, 162, 443, 554, 995, 10669, 10670, 59000～61000以外のポート番号を使用してください。	106 ページ

現象	原因・対策	参照
ウェブブラウザーからアクセスできない	• 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ 設定したアドレスと設置先のネットワーク・サブネットが矛盾していませんか？ [同一サブネット内に本機とPCが接続されている場合] 本機とPCのIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか。また、ウェブブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？ 同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。 [本機とPCが異なるサブネットに接続されている場合] 本機に設定したデフォルトゲートウェイの値は間違っていませんか？	－
	• 「みえますねっと」で登録している名前（ニックネーム）と異なる名前で本機にアクセスしていませんか？ 登録されている名前でアクセスしてください。	129 ページ
	• HTTPS機能を使用中に「**http://**」でアクセスしていませんか？ HTTPSをご使用の場合は、「**https://**」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。	118 ページ

現象	原因・対策	参照
インターネットからカメラにアクセスできない	• 本機のネットワーク設定が間違っていませんか？ デフォルトゲートウェイまたはDNSサーバーアドレスを正しく設定してください。DDNSサービスを使う場合は、正しく設定されているか確認してください。 • ネットワークの設定で、［デフォルトゲートウェイ］を設定していますか？ または、正しい設定をしていますか？ IPv4の場合 ［設定］－［ネットワーク］－［IPv4ネットワーク］で［デフォルトゲートウェイ］を正しく設定してください。	103 ページ
	• ルーターにポートフォワーディングが設定されていますか？ お使いのルーターにUPnP機能がない場合に、インターネットから本機にアクセスできるようにするには、ポートフォワーディング設定が必要です。設定方法については、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。 • ルーターのUPnP機能が無効になっていませんか？ お使いのルーターの取扱説明書を参照して、UPnP機能を有効にしてください。 • ルーターに、インターネットからのアクセスを禁止するパケットフィルタリングなどを設定していませんか？ お使いのルーターを、インターネットからアクセスできるように設定してください。設定方法については、お使いのルーターの取扱説明書をお読みください。	107 ページ
	• ローカルネットワークで使用するときのIPアドレス（ローカルアドレス）でアクセスしていませんか？ インターネットで使用するときの本機のIPアドレスとしてグローバルアドレス（またはDDNSサービスで登録したURL）と、本機のポート番号でアクセスしてください。	104 ページ, 105 ページ, 127 ページ

現象	原因・対策	参照
「みえますねっと」サービスのURLでアクセスできない	• 本機（またはルーター）のグローバルアドレスが「みえますねっと」サービスサーバーに通知されていますか？ 「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://www.miemasu.net/）から「登録者専用ページ」にログインして、登録されたカメラの情報を確認してください。IPアドレス欄にグローバルアドレスが表示されていない場合は、本機にアクセスして、［設定］－［ネットワーク］－［DDNS］で「みえますねっと」サービスの登録を完了してください。また、本機の［設定］－［メンテナンス］－［ステータス］の、［みえますねっと］のステータスとシステムログを確認してください。	129 ページ, 141 ページ
認証画面が連続して表示される	• ユーザー名やパスワードが変更されていませんか？ 本機にアクセス中に、別のウェブブラウザーでログイン中のユーザーのユーザー名やパスワードを変更すると、画面を切り換えたりするたびに、認証画面が表示されます。ウェブブラウザーを閉じて、本機にアクセスし直してください。	–
画面表示に時間がかかる	• HTTPSモードでアクセスしていませんか？ HTTPSでは、復号処理のため、表示が遅くなります。	–
	• 同じローカルネットワークの本機をプロキシ経由でアクセスしていませんか？ プロキシを経由しないようにブラウザーの設定を行ってください。	–
	• 複数のユーザーが同時にカメラ画像を参照していませんか？ 複数のユーザーが同時にカメラ画像を参照すると、画面表示に時間がかかったり、カメラ画像の更新速度が遅くなる場合があります。	–

現象	原因・対策	参照
携帯電話からカメラにアクセスできない	• URLが間違っている。または、URLの最後に「**/mobile**」が未入力になっていませんか？ URLが正しく入力されているか確認してください。携帯電話から本機にアクセスする場合は、PCからアクセスするときに使用するURLの最後に「**/mobile**」と入力する必要があります。	14 ページ
	• 携帯電話のHTTPSのSSL暗号化方式が本機と異なっていませんか？ 本機のHTTPSの「接続方法」を「HTTP」に設定して、再度アクセスしてください。	108 ページ
	• HTTPS機能を使用中に「**http://**」でアクセスしていませんか？ HTTPSをご使用の場合は、「**https://**」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。	118 ページ
	• ソフトバンクモバイルの携帯電話について ソフトバンクモバイルの携帯電話では、ポート番号80以外からのアクセスは禁止していますので、ポート番号80に設定したカメラに対してのみご利用になれます。	–
携帯端末からカメラにアクセスできない	• URLが間違っている。または、URLの最後に「**/cam**」が未入力になっていませんか？ URLが正しく入力されているか確認してください。携帯端末から本機にアクセスする場合は、PCからアクセスするときに使用するURLの最後に「**/cam**」と入力する必要があります。	16 ページ
	• 携帯端末のHTTPSのSSL暗号化方式が本機と異なっていませんか？ 本機のHTTPSの「接続方法」を「HTTP」に設定して、再度アクセスしてください。	108 ページ
	• HTTPS機能を使用中に「**http://**」でアクセスしていませんか？ HTTPSをご使用の場合は、「**https://**」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。	118 ページ

現象	原因・対策	参照
「みえますねっと」サービスに利用者登録する際、エラーが表示される（エラー例：「エラーが発生しました。cookieが利用できないか、あるいは有効期限が切れました。cookieの利用できるブラウザー、設定で再度接続してください。」）	• ウェブブラウザーのセキュリティ設定が、cookieを受け付けない設定になっていませんか？ お使いのウェブブラウザー（Internet Explorer）の設定を確認してください。Internet Explorerの［ツール］－［インターネットオプション...］－［プライバシー］タブでcookieの設定ができます。	－
「みえますねっと」サービスの登録で失敗する	• 登録したEメールアドレスが間違っている可能性がありませんか？ 「みえますねっと」サービスのウェブサイトのリンクを記載したEメールが送られてこないときは、登録したEメールアドレスが間違っている可能性があります。「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://www.miemasu.net/）を参照して、Eメールアドレスを正しく登録し直してください。	－
SDメモリーカードの画像取得ができない SW155	• ネットワーク設定ページの「カメラへのFTPアクセス」が「許可」に設定されていますか？ 「カメラへのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。	108 ページ
	• パスワードを間違って入力していませんか？ ウェブブラウザーを再起動してからパスワードを入力し直してください。	49 ページ
	• SDメモリーカードに接続できなくなることがあります。ウェブブラウザーを再起動してから、再度画像取得を実行してください。	－

現象	原因・対策	参照
画像が表示されない	• 表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。	3 ページ
	• DirectXのバージョンは9.0c以上ですか？ 以下の手順でDirectXのバージョンを確認してください。 **1.** PCのスタートメニューから［ファイルを指定して実行］を選択する。 **2.** 「dxdiag」と入力し、［OK］ボタンをクリックする。 バージョンが9.0cよりも低い場合は、Microsoft社のホームページから最新のDirectXを入手してください。	–
	• お使いの携帯電話が320×240ドットまたは、640×480ドットの解像度に対応していない。または、携帯電話が表示できる画像データのサイズを超えていませんか？ 携帯電話で表示できる画像データサイズの制限については、お使いの携帯電話の取扱説明書をお読みください。	–
画像が表示されない、または、古い画像や古いログが表示される	• インターネット一時ファイルの設定において、「保存している新しいバージョンの確認」が「ページを表示するごとに確認する」に設定されていない場合、ライブ画ページの画像が表示されないことがあります。 以下の手順を行ってください。 **1.** Internet Explorerで［ツール］－［インターネットオプション］を選択する。 **2.** **Internet Explorer 7.0、Internet Explorer 8.0、Internet Explorer 9.0の場合：** 「閲覧の履歴」の［設定］ボタンをクリックし、「保存しているページの新しいバージョンの確認」で「Webサイトを表示するたびに確認する」を選択する。 **Internet Explorer 6.0の場合：** 「インターネット一時ファイル」の［設定］ボタンをクリックし、「保存しているページの新しいバージョンの確認」で「ページを表示するごとに確認する」を選択する。	–
画像がぼやける	• フォーカスは正しく調整されていますか？ フォーカス調整を確認してください。	取扱説明書 基本編

現象	原因・対策	参照
画像が更新されない	• ウェブブラウザーやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生したりする場合があります。	取扱説明書 基本編
	• ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。PCのキーボードの［F5］キーを押すなどして、画像の取得要求を行ってください。	−
カメラ画像が出ない（暗い）	• 「明るさ」が暗くなるように設定されていませんか？明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。	9 ページ
画像が白っぽい	• 「明るさ」が明るくなるように設定されていませんか？明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。	9 ページ
画像がちらつく	• ちらつきが気になる場合は、「光量制御モード」を「フリッカレス(60Hz)」または「フリッカレス(50Hz)」に設定してください。	68 ページ
SDメモリーカードに画像が保存されない SDメモリーカードへの書き込み／読み込みなどに失敗する SW155	• SDメモリーカードは正しく取り付けられていますか？正しく取り付けられているか、確認してください。	取扱説明書 基本編
	• SDメモリーカードはフォーマットされていますか？SDメモリーカードをフォーマットしてください。	47 ページ
	• SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか？ 「LOCK」になっている場合は、［SDメモリーカード］タブの「容量表示」に「**********KB/**********KB」と表示されます	−
	• ［SDメモリーカード］タブの「容量表示」に「--------KB/--------KB」と表示されていませんか？ SDメモリーカードをフォーマットしてください。	47 ページ
	• メール通知や独自アラームの「診断」機能を使用している場合、認識エラーを受信していませんか？ SDメモリーカードをフォーマットしてください。	47 ページ, 89 ページ, 90 ページ
	• SDメモリーカードが故障していませんか？ SDメモリーカードは書き換え回数に限度がある部品です。書き換え頻度が多い場合は、寿命が考えられますので、SDメモリーカードを交換してください。	−
ライブ画ページで［アラーム発生通知］ボタン、SD保存状態表示がリアルタイムに表示されない SW155	• 表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされているか確認してください。	3 ページ
	• 状態通知間隔が「リアルタイム」になっていますか？	39 ページ

現象	原因・対策	参照
ライブ画ページの画像が表示されない	• PCのキーボードの［F5］キーを押すか、［ライブ画］ボタンをクリックしてください。	9 ページ
PCの［マイネットワーク］にカメラのショートカットアイコンが表示されない	• UPnPのWindowsコンポーネントが追加されていますか？ お使いのPCに、UPnPのWindowsコンポーネントを追加してください。	107 ページ
ログリストのダウンロードができない SW155	• ファイルのダウンロードが無効になっていませんか？ Internet Explorerの「セキュリティの設定」画面（［インターネットオプション］－［セキュリティ］）にて「ファイルのダウンロード」と「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」（Internet Explorer 9.0を除く）を有効にしてください。	－
画像がうまく更新されない、表示されない	• 以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。 **1.** Internet Explorerで［ツール］－［インターネットオプション］を選択する。 **2.** 「インターネット一時ファイル」の［ファイルの削除］ボタンをクリックする。	－
	• ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。	－
各種ランプが点灯しない	• 設定メニュー［基本］でランプ表示設定が「消灯」に設定されていませんか？ ランプ表示設定を「点灯」に設定してください。	39 ページ
H.264画像が表示されない	• 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 3」がインストールされている環境で表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」を削除した場合、H.264画像の表示が行われなくなります。 その場合、「Network Camera View 3」を削除後、「Network Camera View 4S」のインストールを行ってください。	3 ページ

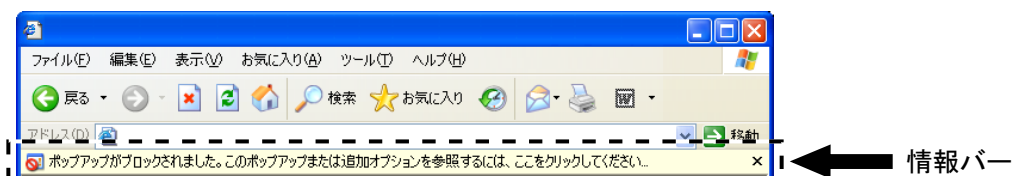
現象	原因・対策	参照
複数のウェブブラウザーを起動してH.264画像を表示したとき、1つのウェブブラウザーに複数のカメラ画像が切り換わり表示される	• PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。 本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。 本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。 ここでは、Windows XP を例に説明します。 **1.** デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。 **2.** 画面のプロパティ画面で［設定］タブをクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。 **3.** ［トラブルシューティング］タブをクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」のパフォーマンスレベルを調節し、「なし」にしてください。	–

情報バーにメッセージが表示される

Internet Explorer 9.0の場合：

「情報バー」とは、Internet Explorerの下方に表示されるメッセージバーのことです。

Internet Explorer 6.0、Internet Explorer 7.0、Internet Explorer 8.0の場合：

「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。

お使いのPCのOSによっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えたりセキュリティ低下をおよぼしたりすることはありません。

現象	原因・対策	参照
下記メッセージの情報バーが表示される。「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...」(Internet Explorer 6.0、Internet Explorer 7.0、Internet Explorer 8.0)	• 情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。	–
下記メッセージの情報バーが表示される。「このWebサイトは、'Panasonic System Networks Co.,Ltd.'からの'WebVideo Mod - ule'アドオンを実行しようとしています。」(Internet Explorer 9.0)	• 「許可(A)」を選択してください。	–

現象	原因・対策	参照
下記メッセージの情報バーが表示される。 「このサイトには、次のActiveXコントロールが必要な可能性があります:'Panasonic System Networks Co.,Ltd.からの'nwcv4Sset - up.exeインストールするには、ここをクリックしてください…」（Internet Explorer 6.0、Internet Explorer 7.0、Internet Explorer 8.0）	• 情報バーをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール(C)…」を選択してください。 セキュリティの警告画面が表示されますので、［インストールする(I)］ボタンをクリックしてください。	–
下記メッセージの情報バーが表示される。 「このWebサイトは、'Panasonic System Networks Co.,Ltd.'からの'nwcv4Sset - up.exe'アドオンをインストールしようとしています。」（Internet Explorer 9.0）	• 「インストール(I)」を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、［インストールする(I)］ボタンをクリックしてください。	–
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	• Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、［インターネット］を選択します。［レベルのカスタマイズ］ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウインドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。	–
画像が表示用の枠と一致していない	• 画像のDPI設定が120 DPIに設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 画面のプロパティ画面で［設定］タブをクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックしてDPI設定を変更してください。	–

3.3 Bドライブのディレクトリー構造について（DG-SW155／DG-SW155M）